

EPSON

SC-V1050

ユーザーズガイド

本機の使い方全般を説明しています。

商標

Apple、Mac、macOS、Safari は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Adobe、Reader、Illustrator、Photoshop は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

Intel および Intel Core は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Google Chrome、YouTube は Google LLC の商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®、Wi-Fi Protected Access® (WPA) は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™、WPA3™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。

AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- ・運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方	5	終了方法 27	
マークの意味	5	EPSON Software Updater の使い方 (Windowsのみ)	27
安全に関するマーク 5		更新されたか確認してアップデート 27	
一般情報に関する表示 5		アップデートの通知を受け取る 28	
掲載画面	5	Web Config の使い方	28
掲載イラスト	5	機能概要 28	
OS の表記	5	起動方法 28	
Windows 5		終了方法 29	
Mac OS 5		ソフトウェアの削除	29
マニュアルの構成	5	Windows 29	
動画マニュアルの見方	6	Mac OS 29	
PDF マニュアルの見方	6	管理者パスワードに関するご注意	29
初期パスワードの確認方法 30		パスワードの変更方法 30	
ご使用の前に	7	ネットワークの接続方法の変更	31
各部の名称と働き	7	有線 LAN に変更する	31
正面・背面 7		無線 LAN に変更する	31
内部 9		無線で直接接続する (Wi-Fi Direct)	32
操作パネル 11		ネットワーク接続状態を確認する	32
画面の見方と操作	12	エラーレポートと対処方法 32	
操作パネル使用時のご注意 12		E-1 33	
画面の見方 12		E-2, E-3, E-7 33	
操作方法 16		E-5 33	
使用・保管時のご注意	17	E-6 34	
設置に適した台・場所 17		E-8 34	
使用時のご注意 17		E-9 34	
使用しないときのご注意 19		E-10 34	
インクパック取り扱い上のご注意 19		E-11 34	
ホワイトインク取り扱い上のご注意 20		E-12 34	
メディア取り扱い上のご注意 20		E-13 35	
使用可能なメディア	21	バーニッシュインクを使用した印刷の紹介	36
テーブル仕様	22	テクスチャー印刷	36
ソフトウェアの紹介	24	点字印刷	36
提供ソフトウェア (Windows) 24			
提供ソフトウェア (Mac OS) 25			
Epson Edge Print PRO の使い方 (Windowsのみ)	26	基本の印刷	37
起動方法 26		印刷までの作業の流れ	37
終了方法 26			
Epson Edge Dashboard の使い方	26		
起動方法 26			
本機の登録 26			

業務開始前の点検	38
画像・イラストファイルの作成	39
データの作り方	39
テクスチャーファイルを使用する	41
メディア高さ設定の種類と概要	52
自動設定の概要	52
手動設定の概要	52
メディアのセット	53
メディアセット時のご注意	53
メディアをテーブルにセットする	54
シート状のメディアが反っているときの固定方法	57
セットしたメディアの設定（適切なメディア高さに設定する）	58
印刷の開始と中止	60
開始	60
中止	60
メディアの取り外し	60
メンテナンス	61
メンテナンスの種類と実施時期	61
清掃箇所と実施時期	61
消耗品の箇所と交換時期	62
その他のメンテナンス	62
準備するもの	63
作業時のご注意	63
清掃	65
クリーニング液の使い方	65
プリントヘッド周辺の清掃	65
テーブルの清掃	66
UVランプカバーの清掃	67
本機内部の清掃	68
消耗品の交換	69
インクパックの交換	69
ワイヤーユニットの交換	70
エアフィルターの交換	71
その他のメンテナンス	72
インクパックの定期かくはん	72
ノズルの目詰まりチェック	73
プリントヘッドのクリーニング	74
使用済み消耗品の処分	75
回収	75
廃棄	75
使用済みインク充填キットの廃棄	75
使用済みワイヤーユニットの廃棄	77
使用済みエアフィルターの廃棄	78

操作パネルのメニュー	80
設定メニュー一覧	80
設定メニューの説明	84
本体設定メニュー	84
メディア設定メニュー	89
プリンターのお手入れメニュー	90
消耗品情報メニュー	92
情報確認メニュー	92
困ったときは	93
メッセージが表示されたとき	93
メンテナスコール/プリンターエラーが発生したときは	94
トラブルシューティング	95
印刷できない（プリンターが動かない）	95
プリンターは動くが印刷されない	96
印刷品質/印刷結果のトラブル	96
その他	100
お問い合わせいただく前に	102
エプソンのウェブサイトの Q&A	102
ファームウェアのバージョンアップ	102
トラブルが解消されないときは	102
付録	103
消耗品とオプション	103
UV Transfer Film（エプソン製専用メディア）	103
インクパック	103
その他	103
移動・輸送時	105
移動・輸送時のご注意	105
移動の準備	105
移動後の本機の設定	106
輸送の方法	107
システム条件	108
Epson Edge Dashboard	108
Epson Edge Print PRO	109
Web Config	109
仕様一覧	110
サービス・サポートのご案内	112
各種サービス・サポートについて	112
保守サービスのご案内	112
お問い合わせ先	114
製品に関する諸注意と適合規格	115

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

- 本書に掲載している画面は実際の画面と若干異なることがあります。
- 本書に掲載されている Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。

掲載イラスト

本書では、特に記載がない限り SC-V1050 のイラストを掲載しています。

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なることがあります。ご了承ください。

OS の表記

Windows

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、OS X Mavericks を「Mac OS X 10.9.x」と表記しています。また、Mac OS X 10.9.5 以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー（Mac OS）などでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (本書)	本機の使い方を説明しています。
Epson Video Manuals (動画)	メンテナンスの方法などを動画でご覧になれます。
点字印刷ガイド	本機で点字を印刷する方法を説明しています。
UV Transfer Film 取扱説明書	エプソン製 UV Transfer Film の使い方を説明しています。

動画マニュアルの見方

動画マニュアルは YouTube にアップしています。
オンラインマニュアルのトップページから [Epson Video Manuals (動画)] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。

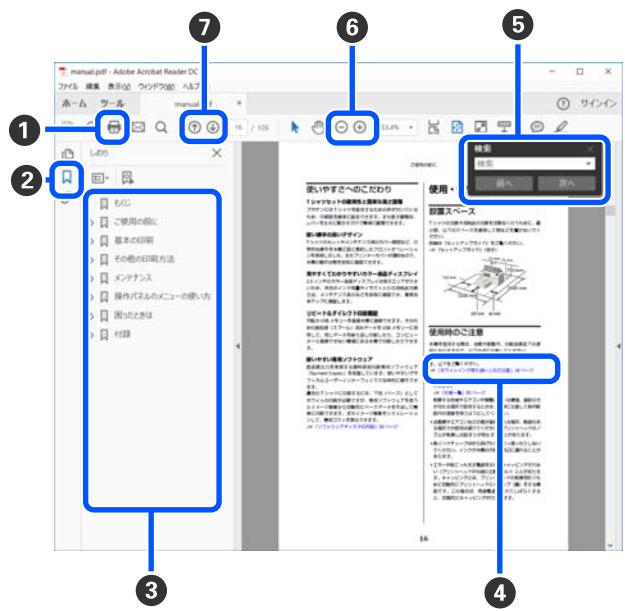
[動画マニュアル](#)

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



PDF マニュアルの見方

Adobe Acrobat Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

Alt キーを押したまま ← キーを押します。

Mac OS の場合

command キーを押したまま ← キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac OS の場合

[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは + をクリックすると拡大します。 - をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーキーズーム] を選択します。
ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS の場合

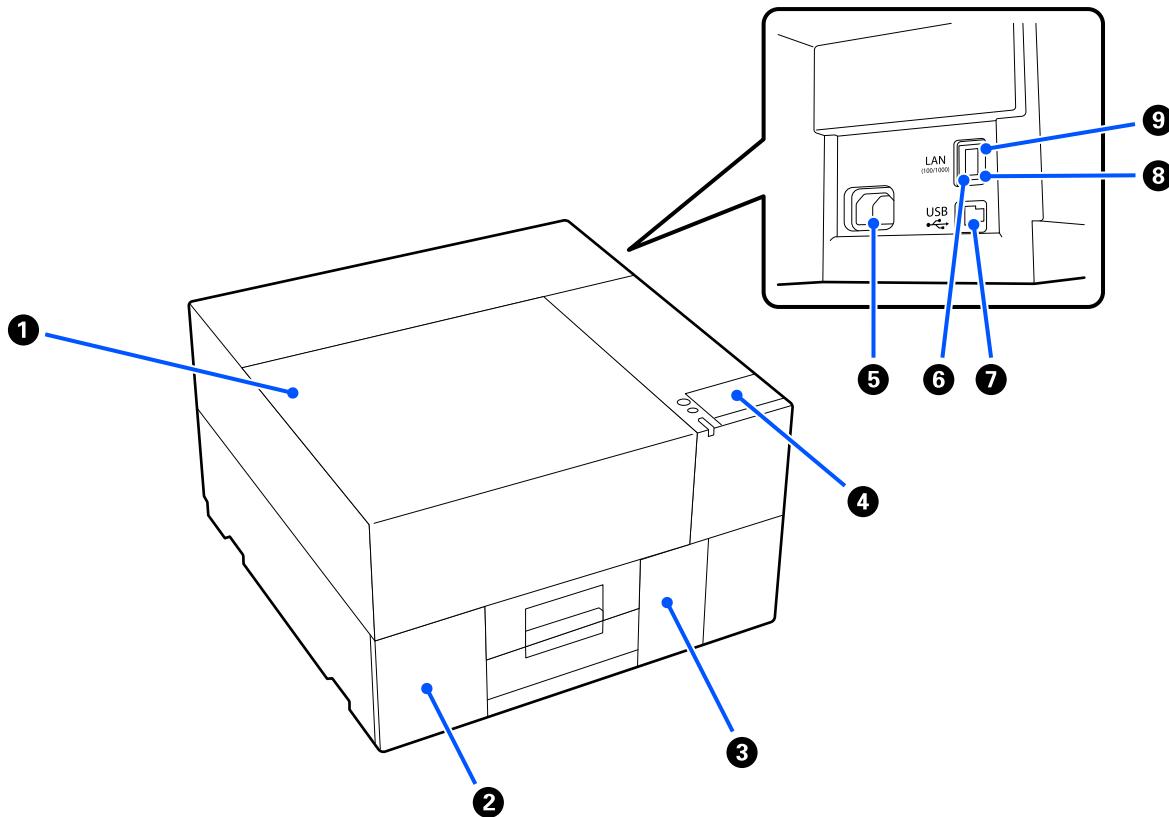
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

ご使用の前に

各部の名称と働き

正面・背面



① プリンターカバー

メディアをセットするときや消耗品の交換・清掃時に開けます。

通常は必ず閉めた状態でお使いください。

② インクパックカバー

インクパックのかくはんや交換時に開けます。

☞ 「インクパックの定期かくはん」 72 ページ

☞ 「インクパックの交換」 69 ページ

③ メンテナンスカバー

ワイヤーユニット交換時に開けます。

☞ 「ワイヤーユニットの交換」 70 ページ

④ 操作パネル

☞ 「操作パネル」 11 ページ

⑤ 電源コネクター

本機に付属の電源コードを差し込みます。

⑥ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。

ご使用の前に

⑦ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑨ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

緑色 : 1000Base-T

⑧ データランプ

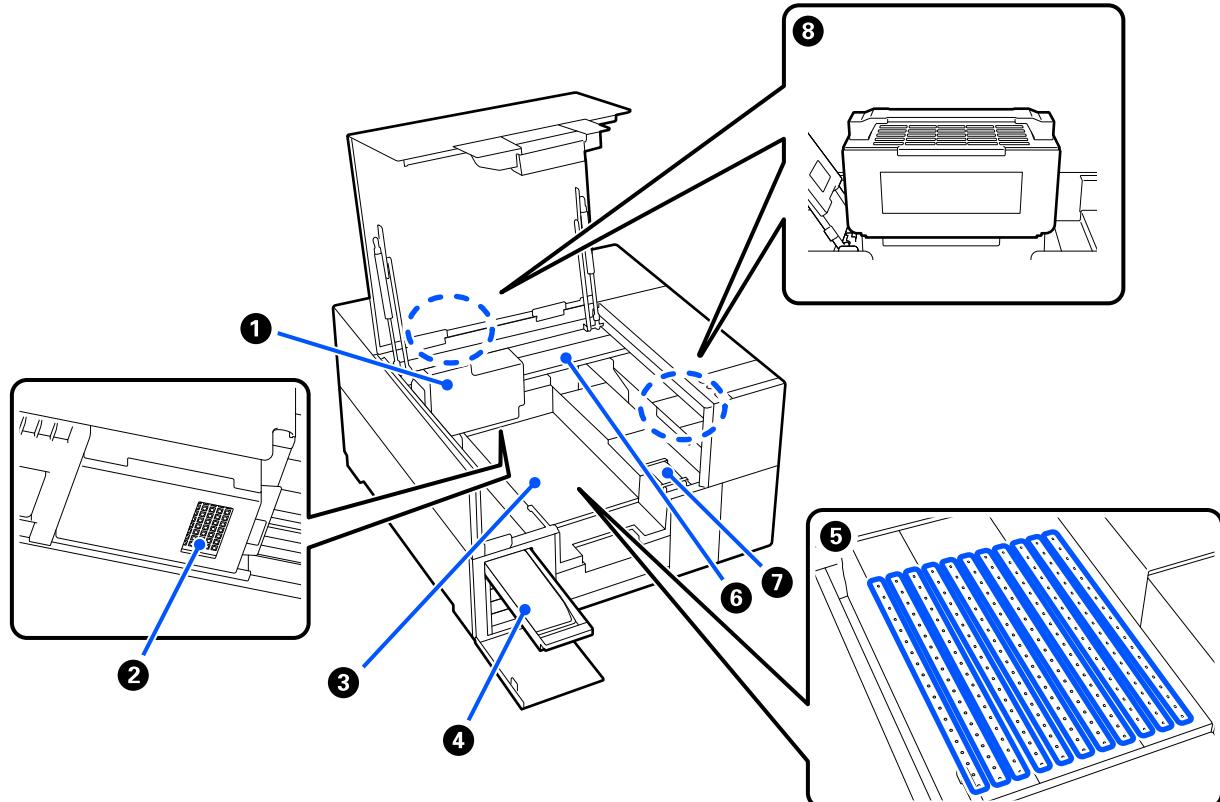
ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : 接続状態です。データ受信中です。

内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。



① プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。

プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。

【プリントヘッドのクリーニング】をしても印刷面が汚れるときは、清掃してください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 65 ページ

② UV ランプ

印刷中に UV 光を照射し、インクを硬化させます。ランプ表面の UV ランプカバーにインクが付着するとインクが硬化されにくくなるので、1カ月に 1 回、付属のスクレーパーを使用して清掃してください。

☞ 「UV ランプカバーの清掃」 67 ページ

③ テーブル

メディアをセットします。

[☞ 「メディアをテーブルにセットする」 54 ページ](#)

④ インクパックトレイ

ラベルで示すインクパックを装着して本機にセットします。

全てのインクパックトレイを本機にセットしてください。

⑤ 吸着穴

吸着穴から空気を吸い込みメディアを吸着します。

吸着するときは吸着穴を全て覆っている必要があります。

⑥ ガントリー

プリントヘッドを本機の奥側から手前側に移動させます。

！重要

ガントリーの天板部分に荷重をかけないでください。
天板が曲がったり破損したりすると正常に印刷ができなくなります。

⑦ ワイパーエュニット

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。ワイパーエュニットは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

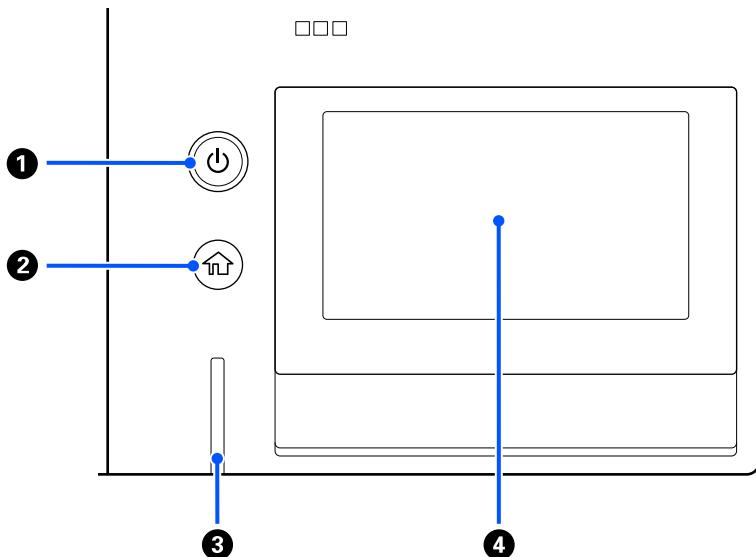
[☞ 「ワイパーエュニットの交換」 70 ページ](#)

⑧ エアフィルター

UV インクから出る臭いを脱臭します。エアフィルターは消耗品です。臭いが気になるようになったら交換してください。交換の目安は 6 カ月です。エアフィルターは手前側と奥側にあります。2 つとも交換してください。

[☞ 「エアフィルターの交換」 71 ページ](#)

操作パネル



① 【○】ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

ボタンの外周がランプになっており、本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 電源が入っています。

点滅 : データ受信中または本機の電源を切るなどの処理中です。

消灯 : 電源が入っていません。

② ◎ ボタン（ホーム）

メニュー表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。

③ アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯か点滅かは、エラーの内容によって異なります。
エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

④ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示するタッチパネルです。画面に表示されたメニュー項目や選択肢を指で軽く押して（タップして）選択したり、押したまま指を動かして画面をスクロールしたりできます。

[☞ 「画面の見方と操作」 12 ページ](#)

画面の見方と操作

操作パネル使用時のご注意

- ・パネルは指でタッチしてください。指で触れたときのみ動作します。
- ・指以外で操作したとき、濡れた指や手袋をした手で操作したとき、パネル上に保護シートやシールが貼られた状態で操作したときは、動作しないことがあります。
- ・ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- ・パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることができます。
- ・急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- ・画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがあります。故障ではありません。
- ・メンテナンス時、インクで画面が汚れるおそれがあるため、インクが付着したままの手袋で画面を操作しないでください。
画面が汚れたときは水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭いてください。

画面の見方

ホーム画面、印刷ジョブ受信時、印刷中の3つの状態を説明します。

ホーム画面

本機の状態を確認したり、設定を行ったりできます。



① **☰ (メニュー)**

設定メニューが表示されます。

[「操作パネルのメニュー」 80 ページ](#)

② 状態表示エリア

本機の状態や消耗品の交換時期などのお知らせが表示されます。本エリアには最新のお知らせのみが表示されます。エラーや警告が複数件発生しているときには、⑨の  (プリンター状態) を押すと全てのお知らせを確認できます。

③ メディア情報

現在選択中のメディア設定番号と名称が表示されます。本エリアを押すと登録メディア管理で登録したメディアを選択できます。

④ 消耗品の状態

インクパック、ワイヤーユニットの状態が次のように表示されます。本エリアを押すと、消耗品の型番などを確認できる詳細画面が表示されます。



インクパックの状態

インクの残量の目安が表示されます。残量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットはインク色の略号です。略号とインク色の対応は以下の通りです。

BK : ブラック

Y : イエロー

M : マゼンタ

C : シアン

WH : ホワイト

Vr : バーニッシュ

インクパックの状態に応じてアイコンが表示されます。アイコンの意味は以下の通りです。

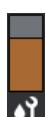


: インクが残り少ないため、新しいインクパックの準備が必要です。



: インクのかくはん時期です。インクパックをかくはんしてください。

☞ 「インクパックの定期かくはん」 72 ページ



ワイヤーユニットの状態

ワイヤーユニットの残量の目安が表示されます。ワイヤーユニットの残量が少くなるとバーが低くなります。



: アイコンが表示されたら新しいワイヤーユニットの準備が必要です。

⑤ 時刻

現在の時刻が表示されます。

⑥ 保守クリーニングの実施時期予告

保守クリーニングまでの残り時間が表示されます。

保守クリーニングは以下の 2 種類があります。

・定期かくはん: ホワイトインクの沈降回復をするためのクリーニングです

・硬化予防: ノズル硬化の予防をするためのクリーニングです

本エリアを押すと、事前にクリーニングを実施できる画面が表示されます。保守クリーニングの実施時期が迫っているときは、事前にクリーニングを実施すると作業が中断されず効果的です。

⑦ メディアギャップ

メディアとプリントヘッドの間隔が表示されます。

本エリアを押すと、[メディアギャップ] の設定画面が表示されます。メディアギャップは 1.2 mm での使用をお勧めします。メディアギャップが広くなるとプリントヘッドのノズルの目詰まり、機内汚れの原因になります。

☞ 「手動設定の操作 (新規にメディア高さを設定する)」 58 ページ

⑧ メディア高さ

現在選択中のメディアの高さが表示されます。

本エリアを押すと、メディアの高さを【自動】で取得するか、【手動】で入力するかを設定できます。【自動】のときは、印刷時にメディアの高さを自動で測定します。

[「メディア高さ設定の種類と概要」52 ページ](#)

⑨  (プリンター状態)

消耗品の残量が少ないなどのお知らせがあるときは、のようにアイコンの右上にが表示されます。本ボタンを押して表示される画面で【メッセージ一覧】を押すと、対処が必要なお知らせの一覧画面が表示されます。一覧画面で各項目を押すと、対処方法や詳細情報を確認できます。内容に応じて対処したものは、一覧から消去されます。

⑩  (マニュアルへのリンク)

オンラインマニュアルに直接アクセス可能な QR コードが表示されます。

⑪  (画面消灯)

このボタンを押すと操作パネルの画面が消灯します。スリープ移行時間設定で設定した時間よりも早く画面を消灯させたいときに押します。

スリープモードより消費電力は高くなりますが、復帰は早く、待機時よりは消費電力が抑えられます。

以下の動作を行うと、画面が点灯します。

- ・操作パネルの画面をタッチする
- ・ (ホーム) ボタンを押す
- ・印刷データを受信する

⑫  (プリンターのお手入れ)

画面にプリンターのお手入れメニューが表示され、プリントヘッドのメンテナンスや消耗品の交換などが行えます。

⑬  (ネットワーク接続状態・ネットワーク設定)

ネットワークの接続状態を以下の通りアイコンで示します。本エリアを押すと、ネットワークの接続状態の切り替えができます。

[「ネットワークの接続方法の変更」31 ページ](#)



: 有線 LAN 非接続、有線 LAN/無線 LAN 未設定



: 有線 LAN 接続中



: 無線 LAN (Wi-Fi) が無効に設定されている



: SSID 検索中、IP アドレス未設定、電波強度が 0 または悪い



: 無線 LAN (Wi-Fi) 接続中

線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。



: Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続無効



: Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続有効

⑭  /  (メディアの吸着)

印刷時にメディアがテーブルから離れないよう空気で吸引します。薄いメディアをテーブルにセットしたときに使用します。

吸着の状態によってアイコンが以下のように切り替わります。

 : 吸着オンの状態。この状態のときに押すと、吸着がオフになります。

 : 吸着オフの状態。この状態のときに押すと、吸着がオンになります。

[「メディアをテーブルにセットする」54 ページ](#)

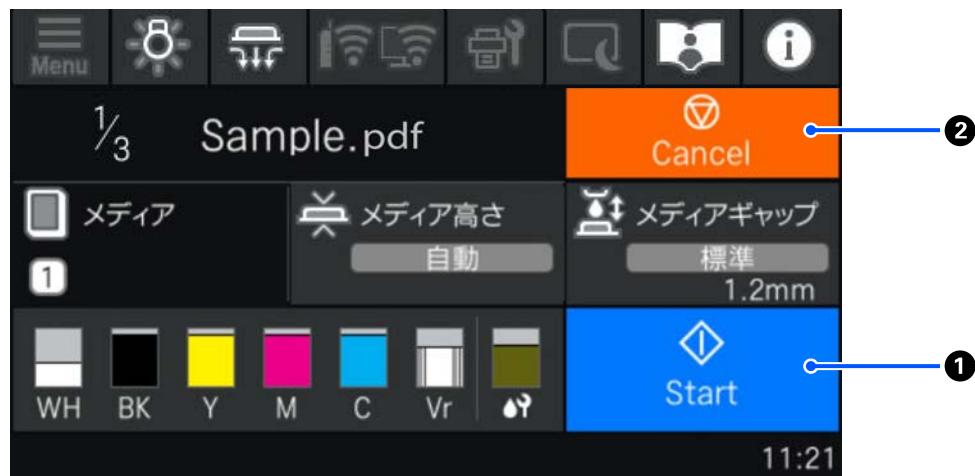
⑮  (内部照明)

ご使用の前に

内部照明の点灯、消灯を切り替えます。内部照明がついているときに、このボタンを押すと消灯します。消えているときに押すと点灯します。本機の動作状態によっては点灯操作をしても点灯しないことがあります。

印刷ジョブ受信時

本機に印刷ジョブが送信されると、以下の画面が表示されます。他の画面と異なる部分のみ説明します。



① ▶ (スタート) (Start)

本エリアを押すと印刷が開始されます。

② ✖ (キャンセル) (Cancel)

本エリアを押すとジョブキャンセル確認画面が表示されます。[はい]を選択して[OK]を押すと処理中の印刷をキャンセルできます。

印刷中

印刷を開始すると、以下の画面に切り替わります。他の画面と異なる部分のみ説明します。



① 状態表示エリア

- ・プログレスバー：エリアの左端から右端に向かって徐々に色が変わり、印刷の進捗状態が表示されます。多層印刷のときは、1層ごとに印刷の進捗状態が表示されます。
- ・層数の表示：「現在印刷中の層番号」／「印刷ジョブの総層数」を表示しますので、作業の見通しが立てやすくなります。
プリントヘッドやUVランプの照射の仕様などにより、「印刷ジョブの総層数」がEpson Edge Print PROの設定と一致しない場合があります。
- ・ファイル名：最大2行表示されます。

② 設定/状態確認エリア

現在印刷中のジョブと本機の設定内容が表示されます。印刷中に設定変更はできません。

③ II (ポーズ)

印刷ジョブ受信時の画面に表示されるIIと同じ働きをします。

操作方法

ホーム画面・ジョブ受信時・印刷中の画面では、グレーのタイル状のエリアが操作エリアです。押すと画面が遷移したり設定値が変わったりします。黒地のエリアは表示エリアです。押しても反応しません。



操作エリアは、押して操作します。以下のようにスクロールバーが表示されているときは指を上下に動かして（スライド）画面をスクロールできます。スクロールはスクロールバー上下のアイコンを押して行うこともできます。



メッセージの画面などに【操作方法を見る】ボタンがあるときは、このボタンを押して操作手順のガイドを確認できます。



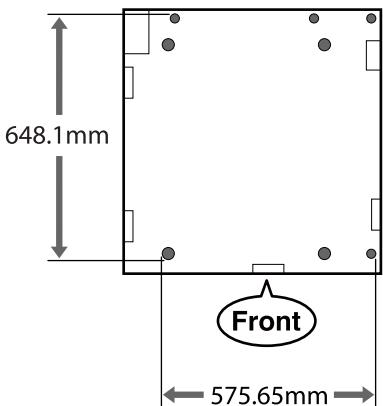
使用・保管時のご注意

設置に適した台・場所

設置に適した台

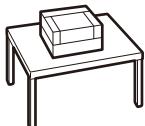
本機に使用する台は以下の条件を満たすものを使用してください。

- 本機の底面にあるゴム足の間隔より大きいもの

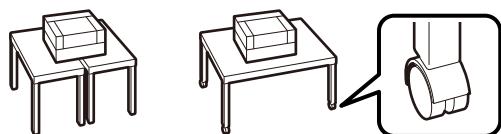


- 高さ 600~800 mm、奥行き 700 mm 以上
- 100 kg 以上の荷重に耐えてぐらつかないもの

OK



NO



- 天板に凹凸やゆがみのない水平なもの
設置時は天板と本機の間にものを置かず、天板がたわんでいないことを確認してください。

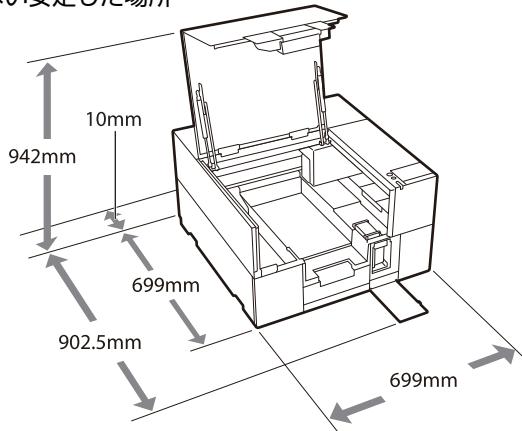
天板に凹凸、不要なもの、たわみがあると、以下のように本機の不具合の原因となるおそれがあります。

- 底面の通風口が塞がれ正常に通風されない。
- ゴム足以外の箇所に荷重がかかりプリンターカバーが正常に閉まらない、またはプリンターカバーの開閉が正常に検出されない。

設置に適した場所

本機は、以下のような場所に設置してください。

- 図のようなスペースが確保できる水平で振動が伝わらない安定した場所



- 専用の電源コンセントが確保できる場所

- 換気設備のある場所（推奨）

本機は換気設備のある場所で使用してください。

UV インクから独特な臭気のある揮発成分が発生するためです。使用状況によっては揮発成分に UV インクの成分が含まれている可能性があります。

- 温度・湿度など使用に適した環境条件は仕様一覧をご覧ください。

☞ 「仕様一覧」 110 ページ

使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

ホワイトインクは本項目以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

☞ 「ホワイトインク取り扱い上のご注意」 20 ページ

- 本機で使用する UV インクは太陽光や蛍光灯の光によって硬化します。直射日光が当たる場所で使用しないでください。プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生することがあります。

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。

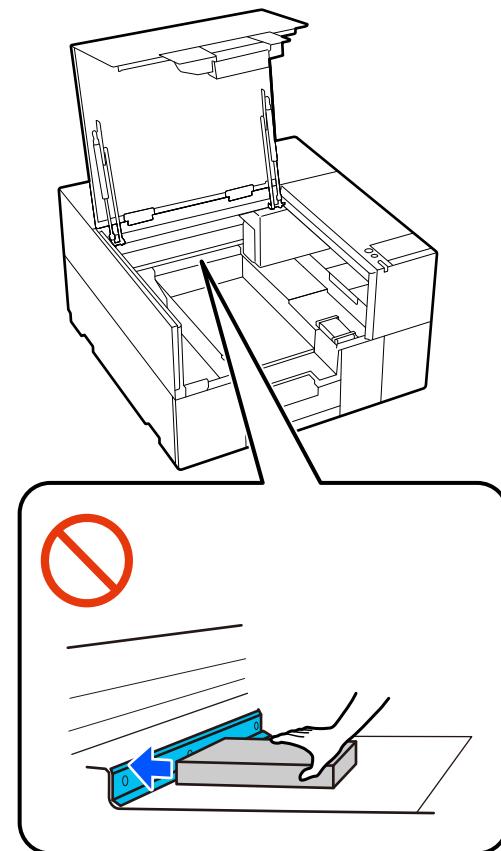
☞ 「仕様一覧」 110 ページ

乾燥する地域やエアコンが稼働している環境で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。

- エラーが起こったまま電源を切るとプリントヘッドのノズルの目詰まりが発生することがあります。この場合は、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にメンテナンスが実施されます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。インクやワイヤーユニットが消費されたり、プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生したりすることがあります。プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生するときは、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にメンテナンスが実施されます。
- メンテナンス中のまま、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。インクやワイヤーユニットが消費されたり、プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生したりすることがあります。プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生するときは、再度電源を入れてください。しばらくすると、自動的にメンテナンスが実施されます。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもプリントヘッドのクリーニングなどのメンテナンス動作でインクやワイヤーユニットが消費されます。
- 本機が動作中はインクパックを抜かないでください。故障の原因になります。
- 使用頻度や推奨時期に応じて清掃や消耗品交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因になります。
☞ 「メンテナンス」 61 ページ
- 本機は電源を入れると、プリントヘッドを良好な状態に保つためメンテナンスをします。そのため頻繁に電源を切ったり入れたりすると、その都度メンテナンス動作によりインクやワイヤーユニットを消費することがあります。
- UV インクの特性で、メディアやメディアを固定する治具の表面の凹凸などにより反射がしやすい状態のときは、表面状態の影響によりノズルの目詰まりが発生することがあります。
印刷開始前にノズルが目詰まりしていないか確認してください。また、メタリックメディアや鏡などに印刷しないでください。
- メディアを複数並べて印刷するときはメディア間の隙間を埋めてください。
メディア間に隙間があると、ノズルの目詰まりが発生することがあります。
治具を使用するときの注意点は以下をご覧ください。
☞ 「メディアセット時のご注意」 53 ページ
- 本機のテーブルの耐荷重は以下です。

- 3kg (治具含む)
耐荷重を越えたメディアをセットしないでください。また荷重を均等にするため以下の点に注意してください。
 - 局所的に荷重をかけないでください
 - 印刷時以外は治具をセットしたままにしないでください
- 本機は精密機器のため、衝撃や無理な力を加えないようにしてください。また、カバーの中やインクパックの挿入口など、本機の内部にむやみに手を入れないでください。
- メディアや治具をセットする際に、センサーに強い衝撃を与えないでください。センサーが壊れことがあります。



- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。
印刷中にプリンターカバーを開けると、メディアや治具の上にプリントヘッドがあることがあります。そのときに、メディアや治具を無理やり取り外すと、プリントヘッドが壊れるおそれがあります。
印刷中にメディアや治具を取り外したいときは、プリンターカバーを開けて画面の [印刷中止] を押し、画面の指示に従ってメディアや治具を取り外してください。
インクを硬化せずに印刷を中止しているため、メディアや治具を取り外す際は、インクに触れないように注意してください。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

ホワイトインクは本項目以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

[「ホワイトインク取り扱い上のご注意」20 ページ](#)

- ・本機は 2 週間に 1 度は電源を入れてください。

印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動で保守クリーニングが行われます。保守クリーニングを行うことで、プリントヘッドの目詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。保守クリーニングが終了するまで電源を切らないでください。

- ・本機を 2 週間から 1 カ月使用しないときは、電源を入れた状態で保管してください。

保管の際はノズルの目詰まりを発生させないために、以下の 2 つの条件を満たしてください。

- ・保管時に推奨温度・湿度に維持できる

推奨温度・湿度 [「仕様一覧」110 ページ](#)

- ・人が近くにいて、メッセージが表示されたらインクのかくはんや消耗品の交換ができる

保管中はプリントヘッドの故障を防ぐために、定期的にクリーニングが実施されます。そのため、画面にインクパックやワイバーユニットの交換を促すメッセージが表示されたら、交換をしてください。

保管中も交換用のインクパック、ワイバーユニットをご準備ください。また、保管中も画面にインクかくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、インクパックをかくはんしてください。

- ・本機を上記の状態で保管できないときや長期間（1 カ月以上）使用しないときは、長期保管前メンテナンスが必要です。お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

[「お問い合わせ先」114 ページ](#)

- ・本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

[「ノズルの目詰まりチェック」73 ページ](#)

- ・プリントヘッドが右奥にあることを確認してから本機を保管してください。プリントヘッドが右奥にないときは、本機の電源を入れ、プリントヘッドが右奥に移動したことを確認したら再度切ってください。

- ・ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。

また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。

プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。

インクパック取り扱い上のご注意

ご使用前に製品安全データシートをお読みください。

製品安全データシートは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

インクパックは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

ホワイトインクは本項目以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

[「ホワイトインク取り扱い上のご注意」20 ページ](#)

- ・購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクパックをお早めにご準備ください。

- ・インクパックを本機から取り外した状態で直射日光や蛍光灯の光が当たる場所で放置しないでください。インクパックは必ず開封したときの箱の中に入れるか、遮光袋に入れて冷暗所で保管してください。

- ・開封していないインクパックは直射日光を避けて常温で保管してください。

- ・インクパックは良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早い方の期日までに使い切ることをお勧めします。

- ・個装箱に印刷された推奨使用期限

- ・インクパックトレイに装着した日から 1 年

- ・インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。

- ・インクパックの IC チップには触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

- ・全てのインクパックトレイにインクパックを装着して本機にセットしていないと印刷できません。

- ・インクパックを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクパックを全てのインクパックトレイに装着したままにしてください。

- ・インクパックは、ICチップで残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- ・使用途中で取り外したインクパックは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓をする必要はありません。
- ・取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、インク供給孔部に触らないようご注意ください。
取り出したインクパックトレイに衝撃を与えないでください。インク供給孔部からインクが飛び散るおそれがあります。
- ・本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。
- ・インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- ・インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ・インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパックから液が漏れることができます。
- ・本機に装着したインクパック（WHを除く）は2週間に1度、取り出してよく振ってください。
WHは、毎日の印刷業務開始前に取り出してよく振ってください。
Vrは、振る必要はありません。

振り方 [☞「インクパックの定期かくはん」72ページ](#)

ホワイトインク取り扱い上のご注意

ホワイトインクはインクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。沈降したまま使用すると印刷品質が低下したり、本機に不具合が生じたりすることがあります。良好にお使いいただくために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- ・装着したインクパックは、始業時および24時間（メッセージ表示時）に1度、取り出してよく振ってください。
[☞「インクパックの定期かくはん」72ページ](#)
- ・インクチューブ内のインク成分の沈降により印刷品質が低下することがあります。白が元の白さより薄くなったり、白がムラになる印刷結果になるときは、以下をご覧ください。
[☞「白が元の白さより薄くなった/白がムラになる」100ページ](#)

- ・インクパック保管時は、平置き（平らに寝かせた状態）にしてください。縦長方向に立てた状態で保管すると、ご使用前にかくはんをしても成分の沈降を解消できないことがあります。

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

取り扱い上のご注意

- ・帶電しやすいメディアは除電してから印刷してください。
- ・表面に汚れがないことを確認して、印刷してください。
- ・メディアの材質により、本機で印刷ができないメディアがあります。本番前に本番と同じメディアで必ず試し印刷をして、事前に印刷品質を確認してから使用してください。
- ・シート状のメディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- ・メディアを濡らさないでください。
- ・高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- ・反りやすいメディアを保管するときは、メディアよりも小さい平面の上に置いておくとメディアの反りを軽減することができます。また、反ったメディアをテープルにセットすると、吸着が正しくできないことがあります。
- ・シート状のメディアは部屋の温度や湿度によるメディアの伸縮があるため、開封直後のメディアを使用しないでください。開封後は、メディアを本機の近くに30分間以上放置してから、本機にセットしてください。
- ・反ったメディアを使用しないでください。プリントヘッドとメディアが接触し、ノズルの目詰まりの原因となります。
反ったメディアはメディアの端部が浮かないようにマスキングテープなどで貼り付けて、使用してください。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 硬化したインクの耐擦性や柔軟性、メディアとインクの密着性は、印刷したメディアや印刷データによって異なります。
印刷した結果をお客様自身で確認して取り扱いに注意してください。
- 印刷面を強くこすったり引っかいたりすると、印刷面に傷が付くことがあります。
バニッシュインクを最表面に印刷すると印刷面の傷つきやすさを改善することができます。
- 以下のときは、印刷面に傷がつくおそれがあるため、合紙などを使って印刷面の保護をしてください。
 - 印刷物を重ねて放置する
 - 包装して輸送する合紙などは事前に印刷面に傷がつかないことを確認してから使用してください。
- メディアによっては硬化が不十分なときがあります。
そのときは、Epson Edge Print PRO で印刷後に [層数と重ね順の設定] で [単層 (UV ランプ追加照射のみ)] を設定すると印刷せずに追加で UV ランプ照射ができます。詳細は Epson Edge Print PRO のマニュアルをご覧ください。

使用可能なメディア

本機のテーブルにセットできるメディアは以下の通りです。

最大メディア厚	70 mm
最大メディア質量	3 kg (治具含む)
最大メディアサイズ	210×297 mm

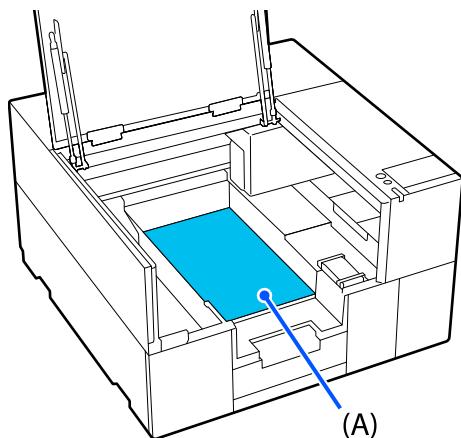
メディアの種類によっては、印刷に不向きなメディアがあるため以下もご覧ください。

 [「メディアセット時のご注意」53 ページ](#)

テーブルの仕様は次項をご覧ください。

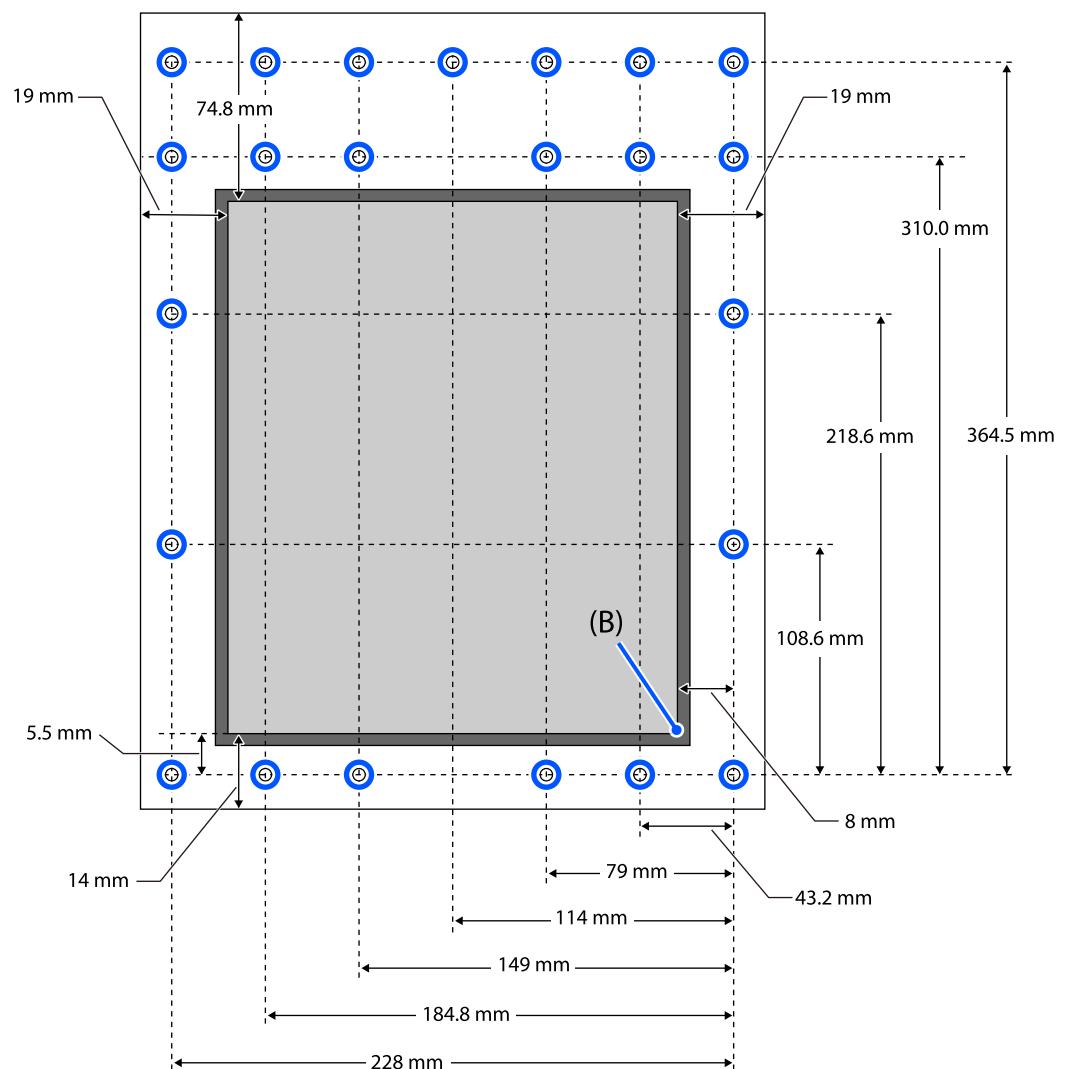
テーブル仕様

本機のテーブル (A) にメディアや治具をセットするときは、以下をご確認ください。



下図はテーブルの表面のイメージ図です。テーブルのサイズと印刷領域は下表の通りです。

テーブルサイズ	387.8 × 250 mm
最大印刷可能領域	212 × 299 mm



- (B) は原点を示しています。
 -  は印刷可能領域を示しています。
 -  は溝を示しています。
 - 印刷可能領域外には印刷できませんが、治具をセットできます。上図の  の箇所には穴が開いており、治具などの設置時に使用できます。上図の点線は穴の中心を結んでいます。穴の直径は $\Phi 6$ 、穴の深さは 4.2 mm です。

参考

テーブルの図面をオンラインマニュアルのトップページからダウンロードできます。図面は dxf ファイルと pdf ファイルを用意しています。お使いのソフトウェアが対応しているファイルを使用してください。図面を CAD アプリケーションソフトに読み込んで使用すると、テーブルの寸法がそのまま反映されるため、治具の図面を作成するときに便利です。

ソフトウェアの紹介

本機のソフトウェアは Windows と Mac OS で提供方法や内容が異なります。

☞ 「提供ソフトウェア（Windows）」24 ページ

☞ 「提供ソフトウェア（Mac OS）」25 ページ

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、Windows 用にエプソン製ソフトウェア RIP 「Epson Edge Print PRO」が付属しています。

エプソンのウェブサイトでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。

<https://www.epson.jp>

提供ソフトウェア（Windows）

本機を有効に使うためのソフトウェアを製品に付属の以下の光ディスクや epson.sn (ウェブサイト) で提供しています。本機内蔵のソフトウェアもあります。

Epson Edge Print PRO（製品付属の光ディスクで提供）

Epson Edge Print PRO は、わかりやすい操作で容易に使えるソフトウェア RIP です。

Epson Edge Print PRO は、基本ソフトウェアをインストールしたコンピューターにインストールしてください。インストールは、Epson Edge Print PRO のパッケージ内のシートに明示された URL にアクセスして行ってください。

Epson Edge Print PRO をインストールすると、以下の 2 つのアプリケーションも同時にインストールされます。

- Epson 通信ドライバー: Epson Edge Print PRO と本機を接続する際に必要です。
- Epson Edge Dashboard: エプソンが提供するメディア種類ごとの印刷設定ファイル (EMX ファイル) を取り込むなど、Epson Edge Print PRO の機能を補完します。

Epson Edge Print PRO の詳細は以下をご覧ください。

☞ 「Epson Edge Print PRO の使い方（Windows のみ）」26 ページ

epson.sn で提供しているソフトウェア

基本ソフトウェアは epson.sn (ウェブサイト) で提供しています。<https://epson.sn> からインストールしてください。各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

ソフトウェア名称	概要
EPSON Software Updater	インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルをアップデートできます。
Epson 通信ドライバー	Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print PRO 使用時または、市販 RIP を使用してコンピューターと本機を接続するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

ソフトウェア名称	概要
Epson Edge Dashboard	<p>インストール後は常駐ソフトとして働きます。エプソンプリンターに対して以下の管理が行えます。</p> <ul style="list-style-type: none">・プリンターフームウェアの更新情報の通知とアップデートが行えます。・epson.sn からインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報が届きます（更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます）。・市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。・Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。 <p>「Epson Edge Dashboard の使い方」26 ページ</p>

Web Config （本機内蔵）

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。

ネットワークセキュリティーの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。

[「Web Config の使い方」28 ページ](#)

提供ソフトウェア（Mac OS）

付属の光ディスクは Windows 専用です。Mac OS 用には以下の 2 種類のソフトウェアを提供しています。

Epson Edge Dashboard （エプソンのウェブサイトで提供）

インストール後は常駐ソフトとして働きます。以下の機能があります。

- ・プリンターフームウェアの更新情報の通知とアップデートが行えます。
- ・市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。
- ・Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。

[「Epson Edge Dashboard の使い方」26 ページ](#)

Web Config （本機内蔵）

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。

ネットワークセキュリティーの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。

[「Web Config の使い方」28 ページ](#)

Epson Edge Print PRO の使い方（Windowsのみ）

起動方法

以下のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックする。
- Windows のスタートボタン - [すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson Edge Print] の順にクリックする。

使い方の詳細は、Epson Edge Print PRO のヘルプをご覧ください。

終了方法

画面左上の [ファイル] から [終了] を選択します。

Epson Edge Dashboard の使い方

参考

ソフトウェアは、隨時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新の詳細情報は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

- 次の方法で起動します。

Windows

デスクトップのタスクバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



Mac OS

デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- Epson Edge Dashboard が起動します。

本機の登録

Epson Edge Dashboard は登録したプリンターに対して監視・管理やメディア設定のコピーができます。

Windows では、本機が自動登録されるので、Epson Edge Dashboard を起動後すぐに監視・管理を行えます。自動登録されないときは、以下の条件で本機を使用しているか確認して手動で登録してください。

- 本機に付属の通信ドライバーがコンピューターにインストールされている
- コンピューターと本機が接続されている
- 本機が使用できる状態になっている

Mac OS は自動登録されません。Epson Edge Dashboard を初めて起動したときはプリンターの登録画面が表示されるので手動で登録してください。

手動登録の手順

- プリンタリストに表示されているプリンターを確認します。

Windows

目的のプリンターがプリンタリストにあることを確認します。必要に応じて [追加検索] をクリックしてください。クリックすると、登録可能なプリンターを検索してプリンタリストに追加します。

Mac OS

- コンピューターとプリンターを USB で接続しているとき
[追加検索] をクリックするとプリンターがリストアップされます。
- コンピューターとプリンターをネットワークで接続しているとき

[検索オプション] をクリックしてネットワーク上のプリンターの IP アドレスを入力し、 をクリックします。その後、[追加検索] をクリックすると目的のプリンターがリストアップされます。

2 登録するプリンターの [プリンター名] の横に を付けます。

3 [適用] をクリックします。

プリンターリストへの変更が確定します。

参考

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

3 お使いのプリンターを選択し、 をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。



4 アップデートするソフトウェアを選んで、インストールボタンをクリックするとインストールが開始されます。



画面の指示に従って操作してください。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

EPSON Software Updater の使い方 (Windowsのみ)

更新されたか確認してアップデート

1 以下の状態になっていることを確認します。

- ・コンピューターがインターネットに接続されています。
- ・本機とコンピューターが通信できている。

2 EPSON Software Updater を起動します。

Windows 8.1

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1 以外

スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

！重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのウェブサイトで最新版のソフトウェアを確認してください。

<https://www.epson.jp>

管理者が実行できること

管理者としてログオンすると、本機のネットワーク設定や、本機単体ではできない SSL/TLS 通信、IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X などの高度なセキュリティー設定ができます。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターやスマートデバイスのブラウザーで起動します。

- 1 **EPSON Software Updater** を起動します。

参考
IP アドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。レポートは、ホーム画面から以下の順に押して印刷します。
[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [ステータスシート印刷]

- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターやスマートデバイスで **Web ブラウザー** を起動します。

- 3 **Web ブラウザー** のアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、**[Enter]** または **[Return]** キーを押します。

書式：

IPv4 : http://本機の IP アドレス/

IPv6 : http://[本機の IP アドレス]/

例：

IPv4 : http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

管理者としてログオンするときは、次手順に進んでください。

- 4 画面右上の **[ログオン]** をクリックし、**[ユーザー名]** と **[現在のパスワード]** を入力して **[確認]** をクリックします。

初めてログオンするときは、ユーザー名は空欄のまま、管理者パスワードに初期パスワードを入力して **OK** をクリックしてください。

☞ [「初期パスワードの確認方法」30 ページ](#)

アップデートの通知を受け取る

- 1 **EPSON Software Updater** を起動します。

- 2 **[確認の間隔設定]** をクリックします。

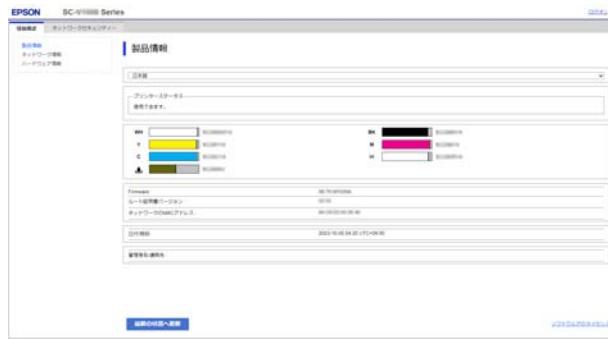
- 3 本機の **[間隔]** の欄で更新の確認を行う間隔を選択して **[OK]** をクリックします。

Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

機能概要

Web Config の主な機能を紹介します。

**一般ユーザーができること**

以下の情報は、本機の IP アドレスを入力するだけで誰でも確認できます。

- ・インク残量などの本機の状態
- ・ネットワーク設定の内容（設定変更はできません）
- ・本機のファームウェアのバージョンを確認できます。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

!重要

- ・「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- ・管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ・他のアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。
- ・Epson 通信ドライバーを削除後に再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Windows

ここでは、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。本機の電源を切ってコンピューターと接続しているケーブルを外した状態で作業することをお勧めします。

Windows 11

- 1 スタートボタン - [設定] の順にクリックします。

[設定] 画面が表示されます。

- 2 画面左側のメニューから [アプリ] をクリックします。

- 3 [アプリと機能]（または [インストールされているアプリ]）をクリックします。

- 4 一覧から [SC-V1000 Series Comm Driver] のメニュー ボタンをクリックして、メニューから [アンインストール] を選択します。

この後は、画面の指示に従ってください。
確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

Windows 11 以外

- 1 コントロールパネルを表示して、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

- 2 一覧から [SC-V1000 Series Comm Driver] を選択して、[アンインストール] をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってください。

確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

Mac OS

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 [Epson Edge Dashboard] を終了します。

- 2 [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard アンインストーラー] をダブルクリックします。

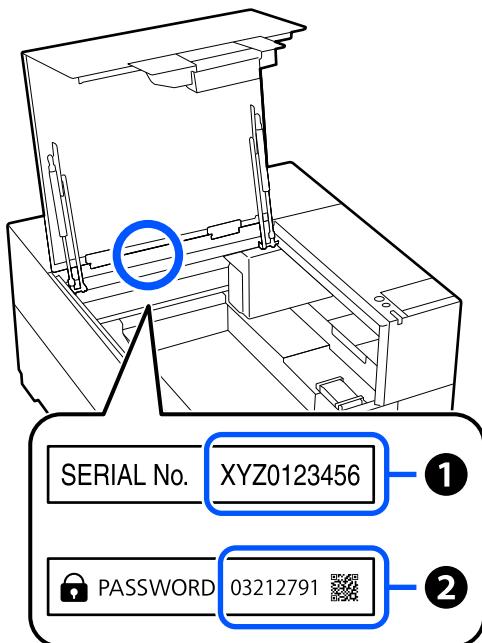
以降は画面の指示に従ってください。

管理者パスワードに関するご注意

本機は工場出荷時に機体ごとに異なる初期パスワードが設定されています。使用開始後は初期パスワードのまま使用し続けず、任意のパスワードに変更することをお勧めします。

初期パスワードの確認方法

管理者用パスワードの初期値は、本機のプリンターカバー内部の左端に貼られているラベルに記載されています。



!重要

パスワードを忘れたときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。
[「お問い合わせ先」114 ページ](#)

- ・ラベルが1枚だけのとき：①のラベルに記載されている SERIAL No. の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「XYZ0123456」です。）
- ・ラベルが2枚あるとき：②のラベルに記載されている PASSWORD の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「03212791」です。）

パスワードの変更方法

1 **Web Config** を起動して管理者としてログオンします。

[「起動方法」28 ページ](#)

2 [本体セキュリティー] タブ- [管理者パスワード変更] の順にクリックします。

3 [現在のパスワード] と [新しいパスワード] を入力して [設定] をクリックします。

[ユーザー名] は、必要に応じて設定してください。

ネットワークの接続方法の変更

本機は有線 LAN または無線 LAN に接続することができます。また、有線 LAN や無線 LAN の環境がなくてもコンピューターと無線で直接接続する Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続にも対応しています。

有線 LAN と無線 LAN への同時接続はできません。Wi-Fi Direct 接続は、本機がネットワークに接続されているかいないかに関わらず可能です。

ここでは接続方法を切り替えるときの手順を説明します。

有線 LAN に変更する

1 ホーム画面で  を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
☞ 「画面の見方と操作」12ページ

2 [接続方法の説明] を押します。

3 [有線 LAN の接続方法] を押します。

4 [設定を開始する] を押します。

5 アクセスポイントとの無線 LAN 接続を無効にする処理が開始されます。【無線 LAN 接続を無効にしました。】というメッセージが表示されるまで待ちます。

6 お使いのルーターと本機を LAN ケーブルで接続します。

本機の LAN ポートの場所は以下をご覧ください。

☞ 「正面・背面」7ページ

無線 LAN に変更する

接続したいアクセスポイントの SSID (ネットワークの名前) とパスワードの情報が必要です。事前に確認してください。なお、LAN ケーブルは接続したままでも無線 LAN に接続できます。

参考

お使いのアクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応していると、SSID やパスワードを使わずに【プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)】や【PIN コード自動設定(WPS)】で接続できます。

1 ホーム画面で  を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
☞ 「画面の見方と操作」12ページ

2 [ルーター] を押します。

3 [無線 LAN 接続に変更する] を押します。

有線 LAN 接続状態の詳細が表示されます。

4 表示されたメッセージを確認して [はい] を押します。

5 [無線 LAN ルーターを検索] を押します。

6 接続したい SSID を選択します。

接続したい SSID が表示されないときは、[再検索] を押して一覧を更新してください。それでも表示されないときは、[手動入力] を押して SSID を直接入力します。

7 [パスワード入力] を押して、パスワードを入力します。

参考

- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- SSID を直接入力したときは、[パスワード] を [あり] にしてからパスワードを入力してください。

8 入力が終わったら [OK] を押します。

9 設定内容を確認して [設定を開始する] を押します。

設定が完了したメッセージが表示され、設定が終了します。

接続に失敗したときは、[接続診断] を選択してください。画面で対処方法を確認できます。

「ネットワーク接続状態を確認する」 32 ページ

10 ネットワーク接続設定画面を閉じます。

無線で直接接続する (Wi-Fi Direct)

本機がネットワークに接続されていないときや、本機が接続されているネットワークにログオン権限がないときなどに一時的に本機と直接接続することができます。

メーカー設定では、Wi-Fi Direct は無効になっています。有効にして接続するまでの手順を説明します。

参考

本機は、同時に 8 台までのコンピューターと接続することができます。8 台接続済みのときに新たに別の機器から接続したいときは、接続済みの機器側で本機との接続を切断してください。

1 ホーム画面で を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
 「画面の見方と操作」 12 ページ

2 [Wi-Fi Direct] を押します。

既に Wi-Fi Direct が有効になっているときは、ネットワーク (SSID) やパスワード、接続済み台数などが表示されます。手順 5 に進みます。

参考

表示されたネットワーク (SSID) やデバイス名などが画面右端で切れて一部見えなくなっているときは、その項目を押すと設定値全体が表示されます。

3 [設定に進む] を押します。

4 [コンピューターとつなぐ] を押します。

Wi-Fi Direct が有効になり、ネットワーク (SSID) とパスワードが表示されます。

5 本機と接続したい機器で Wi-Fi 設定画面を開き、本機の画面に表示された SSID を選択して、同じく画面に表示されたパスワードを入力します。

6 接続ができたら、本機の画面で [完了] を押して終了します。

7 本機の画面で [閉じる] を押して、ネットワーク接続設定画面を閉じます。

参考

本機の電源を切ると、接続済みの機器との接続が全て切断されます。本機の電源を入れて再度接続をするときは、手順 1 からやり直してください。

ネットワーク接続状態を確認する

プリンターと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の接続状態をプリンターの画面に表示します。

1 ホーム画面で を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
 「画面の見方と操作」 12 ページ

2 [接続方法の説明] - [ネットワークにつながらないときは] - [接続診断] の順に押します。

診断が始まります。

エラーがある場合は次項を確認して対処してください。

エラー番号と対処方法

プリンターの画面に表示されたエラー番号 (E-XX) を確認して対処してください。

「E-1」 33 ページ

「E-2, E-3, E-7」 33 ページ

- ☞ 「E-5」 33 ページ
- ☞ 「E-6」 34 ページ
- ☞ 「E-8」 34 ページ
- ☞ 「E-9」 34 ページ
- ☞ 「E-10」 34 ページ
- ☞ 「E-11」 34 ページ
- ☞ 「E-12」 34 ページ
- ☞ 「E-13」 35 ページ

E-1

対処方法 :

- LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線 LAN (Wi-Fi) で使用したい場合は、プリンターの無線 LAN が有効になっていないため、無線 LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法 :

- 無線 LAN ルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線 LAN ルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線 LAN ルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSID を直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はプリンターの画面の [有線・無線接続状態] で確認できます。
- 1 つの無線 LAN ルーターに複数の SSID が存在する場合、表示された SSID から選択してください。SSID が非対応の周波数を使用していると、SSID は表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線 LAN ルーターが WPS に対応しているか確認してください。WPS に対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。

• SSID に ASCII 文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII 文字以外の文字列が含まれた SSID は表示できません。

• 無線 LAN ルーターに接続する場合は、SSID とパスワードを事前に確認してください。無線 LAN ルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれている SSID とパスワードが設定されています。SSID とパスワードがわからない場合は無線 LAN ルーターを設定した人に確認するか、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。

• デバイスのテザリング機能で生成した SSID に接続したい場合は、デバイスのマニュアルなどで SSID とパスワードを確認してください。

• 無線 LAN (Wi-Fi) で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<https://epson.sn-> [セットアップ]

• お使いのネットワーク環境に、新たに別のデバイスからプッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) で設定したか

• この無線 LAN (Wi-Fi) ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか

• 株式会社バッファロー製の無線 LAN ルーターで、プッシュボタンで設定 (AOSS) できるタイプを使っているか

E-5

対処方法 :

無線 LAN ルーターが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するよう無線 LAN ルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

• WEP-64 bit (40 bit)

• WEP-128 bit (104 bit)

• WPA PSK (TKIP/AES) *

• WPA2 PSK (TKIP/AES) *

• WPA3-SAE (AES)

• WPA2/WPA3-Enterprise

* WPA PSK は WPA Personal、WPA2 PSK は WPA2 Personal とも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MAC アドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターの MAC アドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターの MAC アドレスはプリンターの画面の [有線・無線接続状態] で確認できます。
- 無線 LAN ルーターの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線 LAN ルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線 LAN ルーターの DHCP を有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Config から設定してください。

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<https://epson.sn-> [セットアップ]

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはプリンターの画面の [有線・無線接続状態] で確認できます。

DHCP を有効にしているときは、プリンターの TCP/IP 設定で IP アドレスを自動にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、プリンターの画面の [有線・無線接続状態] でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線 LAN ルーターの電源を切れます。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはプリンターの画面の [有線・無線接続状態] で確認できます。

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

- 他の機器のネットワークアドレス(サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- 無線 LAN ルーターの電源を切れます。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn-> [セットアップ]
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線 LAN ルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線 LAN ルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか。（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまい可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- 無線 LAN ルーターの電源を切れます。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn-> [セットアップ]
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線 LAN ルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

バニッシュインク を使用した印刷の紹 介

本機は UV インクを使用して、厚みのあるメディアや様々な材質のメディアに印刷できます。

対応メディアの例：

アクリル板、アルミパネル、ゴルフボール

また透明インク（バニッシュ）を搭載しており、以下の印刷ができます。

テクスチャー印刷

バニッシュインクを表面に印刷することで、透明な模様をつけて質感を出すテクスチャー印刷ができます。

エプソンでは、模様のサンプルをテクスチャーファイルとして提供しています。

テクスチャーファイルを使用した印刷方法は以下をご覧ください。

☞ 「テクスチャーファイルを使用する」 41 ページ

また、YouTube から動画でもご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

点字印刷

バニッシュインクを何層も重ねて印刷することで、点字印刷が可能です。

点字印刷の方法は『点字印刷ガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。

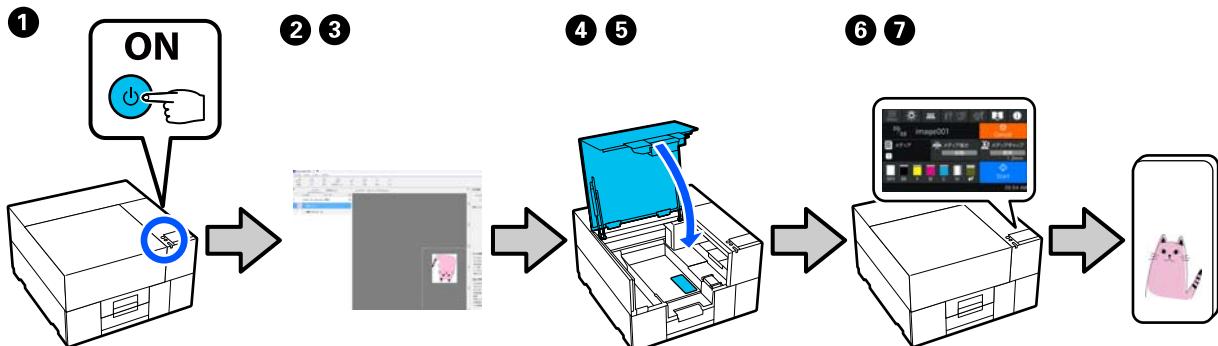
基本的な印刷方法は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

基本の印刷

印刷までの作業の流れ

業務開始から本機にメディアをセットして印刷するまでの基本的な流れは以下の通りです。



作業項目		概要
①	業務開始前の点検	本機の電源を入れて、印刷業務を開始する前の点検をします。 ☞ 「業務開始前の点検」 38 ページ
②	画像・イラストファイルの作成	Adobe Illustrator や Adobe Photoshop などのグラフィックソフトウェアで印刷する画像を作成して PDF で保存します。 ☞ 「画像・イラストファイルの作成」 39 ページ
③	印刷データ（ジョブ）の作成	Epson Edge Print PRO または市販の RIP で上記で作成した PDF を読み込み、印刷設定を行います。 詳細は各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
④	メディアの確認と準備	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できるメディアを確認します。 ☞ 「使用可能なメディア」 21 ページ メディアを本機にセットする際の注意事項を確認します。メディアによっては治具や、貼り付けるためのテープが必要です。 ☞ 「メディアセット時のご注意」 53 ページ
⑤	メディアのセット	メディアをテーブルにセットします。 ☞ 「メディアのセット」 53 ページ
⑥	セットしたメディアの設定	プリントヘッドの高さを印刷するメディアの高さに応じて設定します。正しい高さに設定しないと故障や印刷品質低下の原因となります。 ☞ 「セットしたメディアの設定（適切なメディア高さに設定する）」 58 ページ
⑦	印刷の開始	Epson Edge Print PRO または市販の RIP から印刷ジョブを本機に送信し、本機で受信完了したら印刷を開始できます。 ☞ 「開始」 60 ページ

！重要

本機を使用しないときは 2 週間に 1 度電源を入れてください。本機を 2 週間以上使用しないときは、以下をご覧になり、保管をしてください。

☞ 「使用しないときのご注意」 19 ページ

業務開始前の点検

印刷品質を維持するために日常、印刷業務を開始するに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

インク残量の確認

画面でインク残量を確認して、インク残量が限界値以下のときは新しいインクパックと交換してください。インクが残り少ないとときは、できるだけ早く交換することをお勧めします。

印刷途中でインクが切れたときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。

[☞ 「インクパックの交換」 69 ページ](#)

ノズルの目詰まりチェック

ノズルチェックパターンを印刷してノズルが目詰まりしていないか確認することをお勧めします。

印刷したノズルチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、[プリントヘッドのクリーニング]を行ってください。

なお、本機の電源を入れた直後はヒーターのウォームアップ^{*}が行われます。ヒーターのウォームアップ中に印刷をすると正しい印刷結果が得られません。画面のヒータウォームアップ中を示すプログレスバーが消えてからノズルチェックパターンを印刷してください。

[☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 73 ページ](#)

[☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 74 ページ](#)

* UV インクの温度を上げるための内部のヒーターを適正温度まで温めます。

ホワイトインクのかくはん

ホワイトのインクパックを取り出してかくはんします。ホワイトインクは、他の色よりも沈降(成分が液の底に沈んでたまる)しやすい特性があります。沈降すると、印刷品質の低下やノズル目詰りの要因となります。

[☞ 「インクパックの定期かくはん」 72 ページ](#)

保守クリーニングの実施時期の確認

画面で保守クリーニングの実施時期予告を確認します。実施時期が迫っているときは、表示エリアを押して事前にクリーニングを実施します。これにより、以降は作業が中断されません。

画像・イラストファイルの作成

データの作り方

本機は多層印刷ができます。

印刷したいものによって、データの作り方が違います。ここでは、いくつか例を紹介します。

データの作成方法の詳細は Epson Edge Print PRO のマニュアルの多層印刷の項目や各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

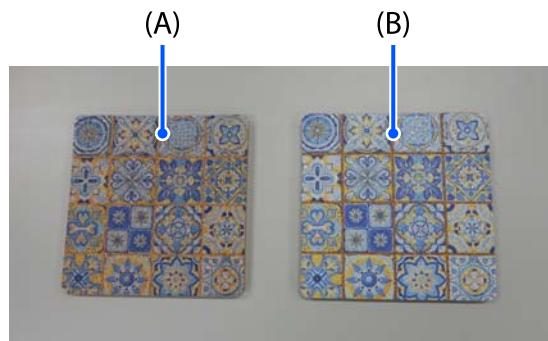
メディア自体の色の影響をなくしたい

メディア自体の色の影響をなくしたいときはホワイトインクを下地にします。(A)はホワイトなし、(B)はホワイトを下地にしたときの印刷物の例です。

また、透明なフィルムの裏側から見た画像を見せたくない（裏側を白くしたい）ときもホワイトインクを下地にします。

1層目をホワイト、2層目をカラーに設定します。

<印刷物の例>



透明なメディアで反対側から画像を見せたい

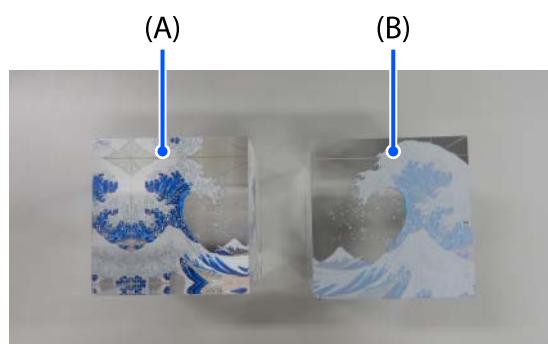
透明なメディアに印刷するときに、画像を反対側から見せたいときは画像を印刷した上にホワイトインクを印刷します。

印刷物の例の(A)は反対側から画像を見たとき、(B)は印刷した側から見たときです。

1層目をカラー、2層目をホワイトに設定します。

裏面から見たときに正しい向きになるように画像を配置して印刷します。

<印刷物の例>

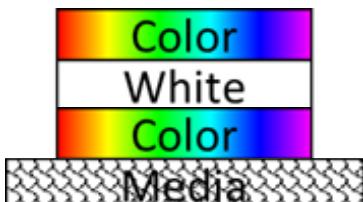


透明なメディアで両側から画像を見せたい

透明なメディアに印刷するときに、両側から画像を見せたいときは画像と画像の間にホワイトインクを挟んで印刷します。

1層目をカラー、2層目をホワイト、3層目をカラーに設定します。

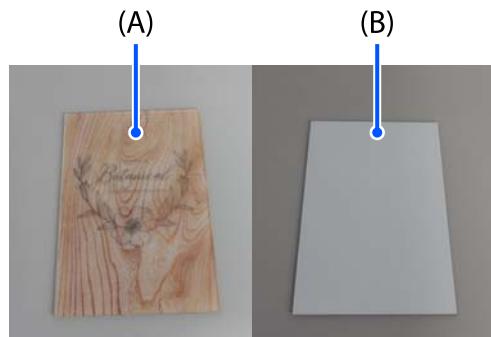
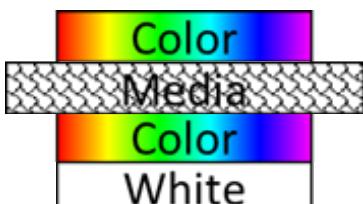
1層目は裏面から見たとき、3層目は表面から見たときに正しい向きになるように画像を配置して印刷します。



透明なメディアで手前の画像を浮かび上がっているように見せたい

両側に印刷することで、様々な見せ方ができます。印刷物の例は透明なメディアの表面（A）にカラーを、裏面（B）は1層目をカラー、2層目をホワイト印刷しています。このとき、裏面は、表面から見たときに正しい向きになるように画像を配置して印刷します。

<印刷物の例>



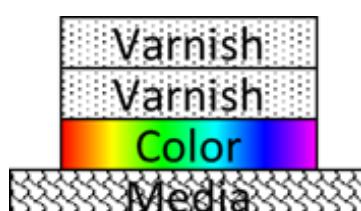
メディア面に質感を出したい

表面に質感を持たせたいときや、透明な模様を印刷したいときはバニッシュインクを使用します。

Epson Edge Print PRO を使用すると、バニッシュインクの質感をグロス調やマット調にできます。

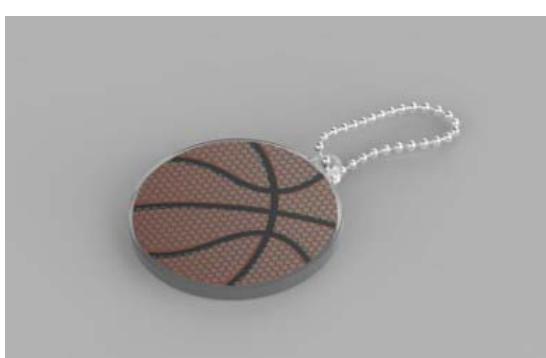
バニッシュインクを重ね印刷したり、テクスチャー（表面の凹凸模様）を使用して印刷したりします。

[☞ 「テクスチャーファイルを使用する」41ページ](#)



<印刷物の例>

バスケットボールの絵に水玉の模様をバニッシュインクで印刷したときの例です。



テクスチャーファイルを使用する

テクスチャーファイルとは

エプソンは、バーニッシュインクで印刷面に質感をもたせたり、透明な模様を印刷したりするためのパターンをテクスチャーファイルとして提供しています。このテクスチャーファイルを使うと、例えば以下の写真のようにバスケットボールの表面にツヅツの模様を表現できます。



テクスチャーファイルの入手方法

テクスチャーファイルは epson.sn (ウェブサイト) で提供しています。以下をご覧になりダウンロードしてください。

☞ 「テクスチャーファイルのダウンロード」42 ページ

また、マットバーニッシュ用、グロスバーニッシュ用の 2 種類のテクスチャーファイルを提供しています。テクスチャーパターンの質感などを確認するために、テクスチャーファイルを見本として印刷できます。見本からお好みのパターンを選んでください。印刷方法は以下をご覧ください。

☞ 「全テクスチャーパターンの見本印刷の方法」43 ページ

準備するもの

Adobe Illustrator

テクスチャーファイルは、Adobe Illustrator のスウォッチライブラリに読み込んで使います。Adobe Illustrator は最新版に対応しています。テクスチャーライブラリーが使用できないときは、Adobe Illustrator を最新版に更新してください。

印刷時のご注意

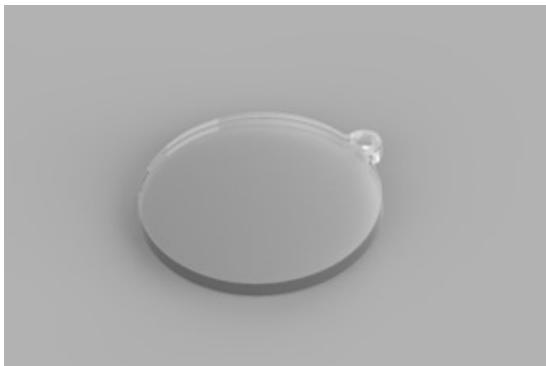
本番前に試し印刷をして、テクスチャーの仕上がりを確認をしてください。

テクスチャーの仕上がりが期待通りではないときは、以下のようなことを試してください。

- メディアの材質を変える
- 下地を追加する
- テクスチャーを別のパターンに変える

テクスチャーファイルの印刷例

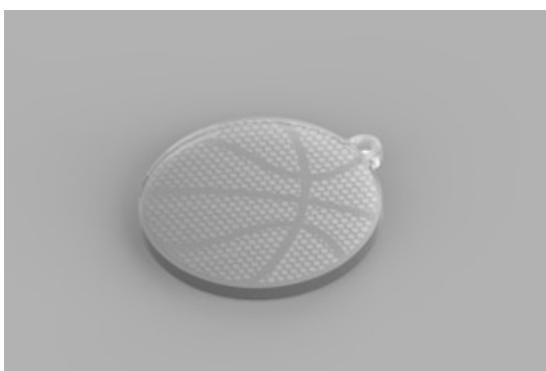
- 印刷前



- ホワイトインク→カラーインク→バニッシュインクの順に印刷したとき



- バニッシュインクのみを印刷したとき



テクスチャーファイルのダウンロード

- 1 インターネットブラウザーで **epson.sn** と入力してから、お使いの製品名を入力して をクリックします。

The screenshot shows the EPSON Setup Navi website. At the top, there are links for 'EPSON', 'Setup Navi', and 'Gallery'. The main heading is 'Setup Navi'. Below it, there is a search bar with the placeholder text '製品名を入力してください。' and a search icon. The search term 'EP-300A' is entered in the search bar. Below the search bar, there is a section titled '製品ラインナップ' (Product Lineup) with four categories: 'インクジェットプリンター' (Inkjet Printer), 'プロジェクター' (Projector), 'スキャナー' (Scanner), and '大型プリンター' (Large Printer). The entire search bar area is highlighted with a blue box.

2 [サポート] をクリックします。



3 [ダウンロード] をクリックします。

ダウンロードフォルダーにファイル (Epson_Texture_Library_vx.zip) がダウンロードされます。



Zip ファイルを解凍すると以下の 2 つのファイルがあり、マットバーニッシュ用のテクスチャーファイルとグロスバーニッシュ用のテクスチャーファイルに分かれています。

- Epson_Texture_Library_Matte_vx.pdf : マットバーニッシュ用
- Epson_Texture_Library_Gloss_vx.pdf : グロスバーニッシュ用

テクスチャーの質感などを確認するために、テクスチャーファイルを見本として印刷したいときは以下をご覧ください。

[☞ 「全テクスチャーパターンの見本印刷の方法」43 ページ](#)

参考

テクスチャーファイルのファイル名 (Epson_Texture_Library_vx.zip など) の vx はバージョンを示しています。

全テクスチャーパターンの見本印刷の方法

全テクスチャーパターンの見本を印刷しておくと、以下の場合にパターンを選択するときに便利です。

- テクスチャーのマットバーニッシュ、グロスバーニッシュの質感を確認したいとき
 - Adobe Illustrator のスウォッチライブラリでパターンが小さすぎて判別がしにくいとき
- 見本印刷の際にはインクジェット対応の透明なシート状のメディアを使用することをお勧めします。
- ここでは Epson Edge Print PRO を使用して、マットバーニッシュ用のテクスチャーファイル (Epson_Texture_Library_Matte_vx.pdf) をA4 サイズのシート状のメディア 2 枚に印刷するときの手順を説明しています。

！重要

テクスチャーファイル (PDF) の原寸は A3 サイズです。見本用に印刷する時はサイズを縮小しないでください。
縮小すると、テクスチャーの図柄がつぶれたり崩れたりするおそれがあります。

基本の印刷

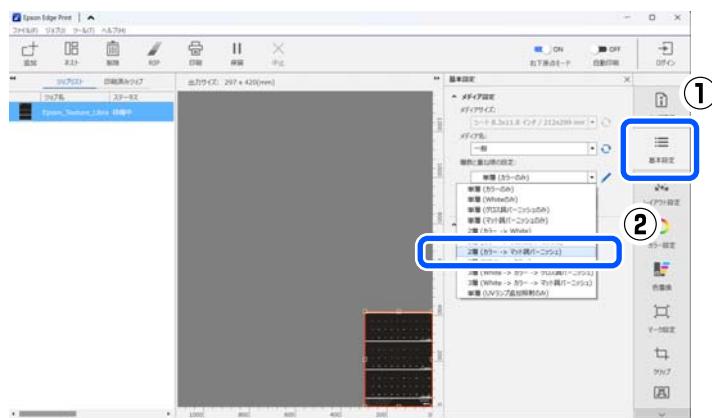
1 Epson Edge Print PRO を起動し、テクスチャーを読み込みます。

ジョブツールバーの (追加) をクリックしてテクスチャーファイル (Epson_Texture_Library_Matte_vx.pdf) をジョブリストに追加します。

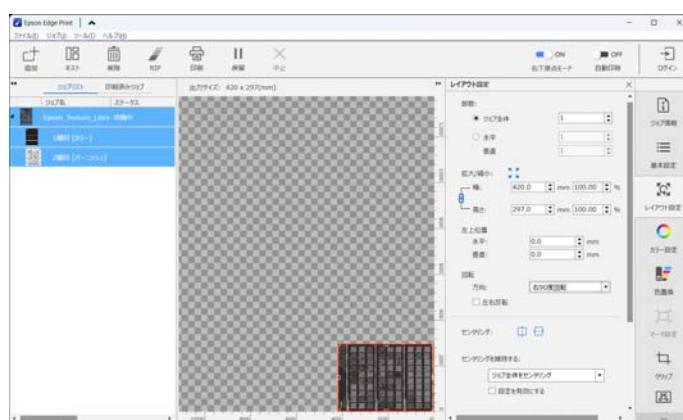
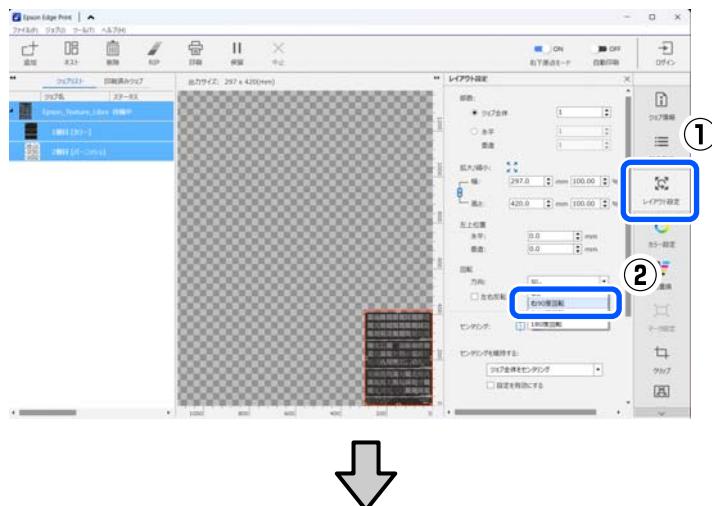
2 [基本設定] - [層数と重ね順の設定] から [2 層 (カラー -> マット調バーニッシュ)] を選択します。

参考

グロスバーニッシュ用のテクスチャーファイルの見本を印刷するときは [2 層 (カラー -> グロス調バーニッシュ)] を選択します。

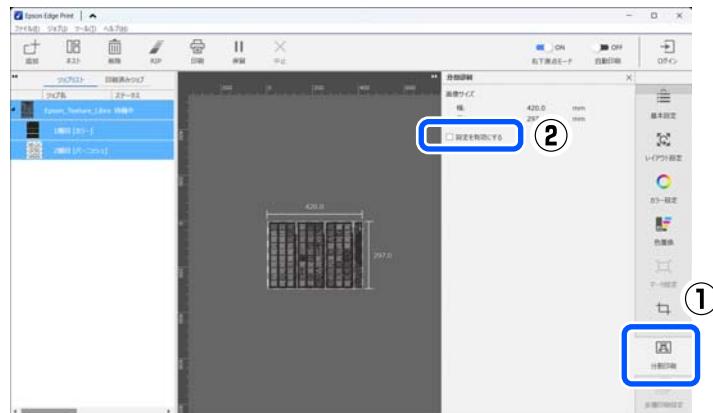


3 [レイアウト設定] - [回転] - [方向] で [右 90 度回転] を選択します。

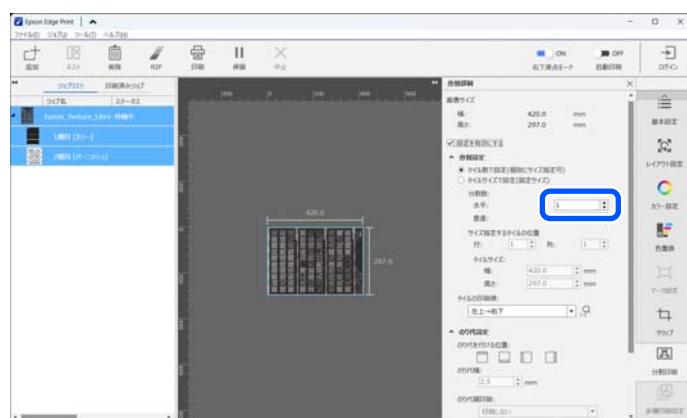


基本の印刷

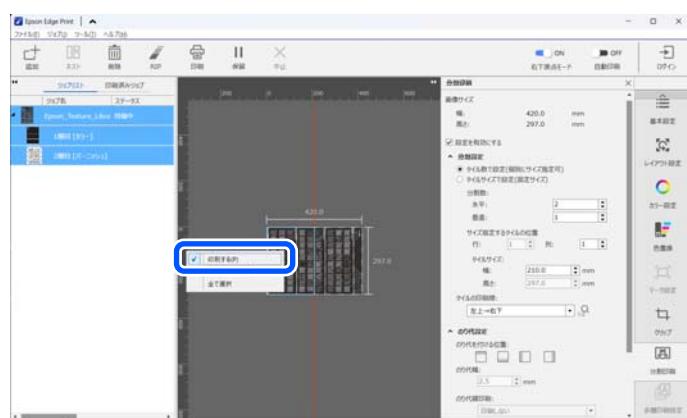
- 4 [分割印刷] をクリックし、[設定を有効にする] にチェックします。



- 5 [分割設定] - [分割数] - [水平] で [2] を選択します。

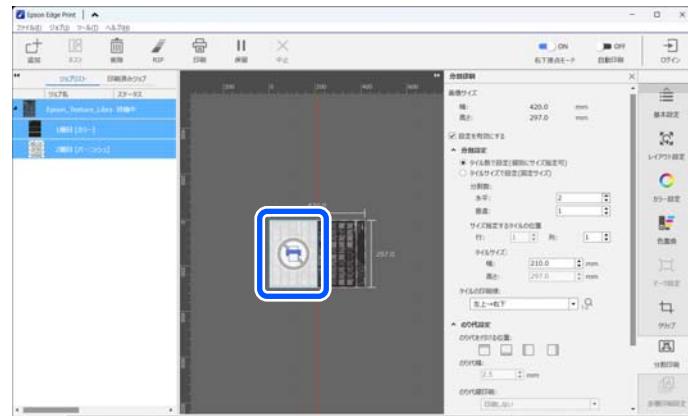


- 6 画像の左側を選択し、右クリックして [印刷する] のチェックを外します。



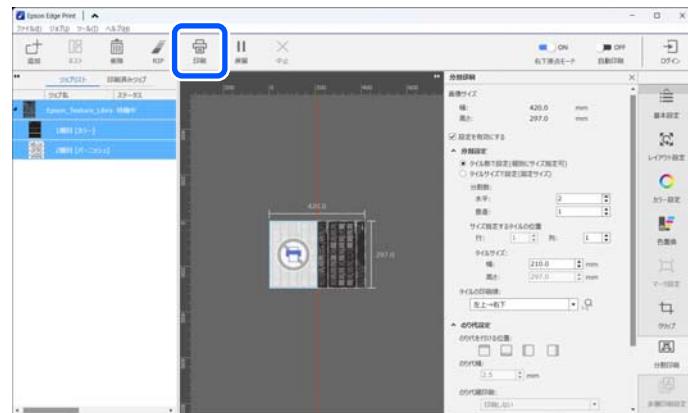
基本の印刷

左側の画像が印刷対象外になります。右側を先に印刷します。



7 本機にメディアがセットされていることを確認し、 (印刷) をクリックします。

☞ 「メディアをテーブルにセットする」 54 ページ



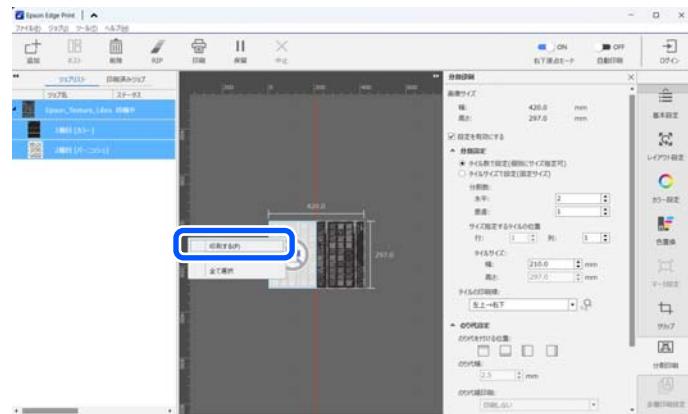
8 印刷が完了したら、メディアを取り外し新しいメディアをセットします。

☞ 「メディアの取り外し」 60 ページ

☞ 「メディアをテーブルにセットする」 54 ページ

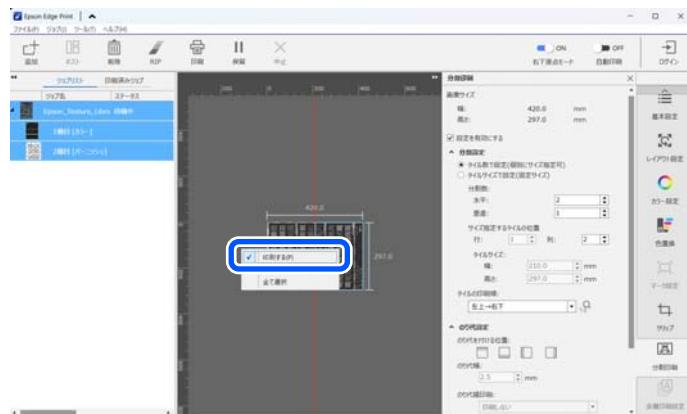
9 画像の左側を選択し、右クリックして [印刷する] にチェックをします。

画像全体が印刷対象になります。



10 画像の右側を選択し、右クリックして【印刷する】のチェックを外します。

右側の画像が印刷対象外になります。



11 本機にメディアがセットされていることを確認し、 (印刷) をクリックします。

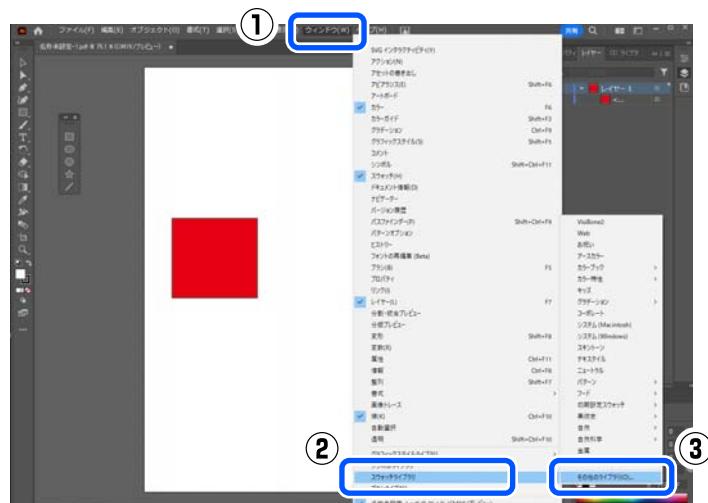
テクスチャーファイルを使った画像データの作り方

ここでは Adobe Illustrator で作成したデータにテクスチャーパターンを適用し、Epson Edge Print PRO を使用して印刷するときの手順を説明しています。

1 Adobe Illustrator を起動し、テクスチャーパターンを適用する画像ファイルを開きます。

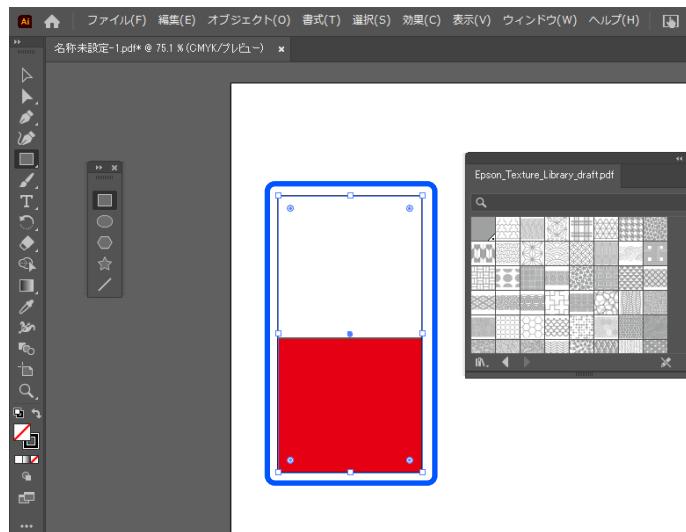
2 「テクスチャーファイルのダウンロード」でダウンロードしたテクスチャーファイルを読み込みます。

[ウィンドウ] - [スウォッチライブラリ] - [その他のライブラリ] をクリックし、ダウンロードしたファイルを選択します。

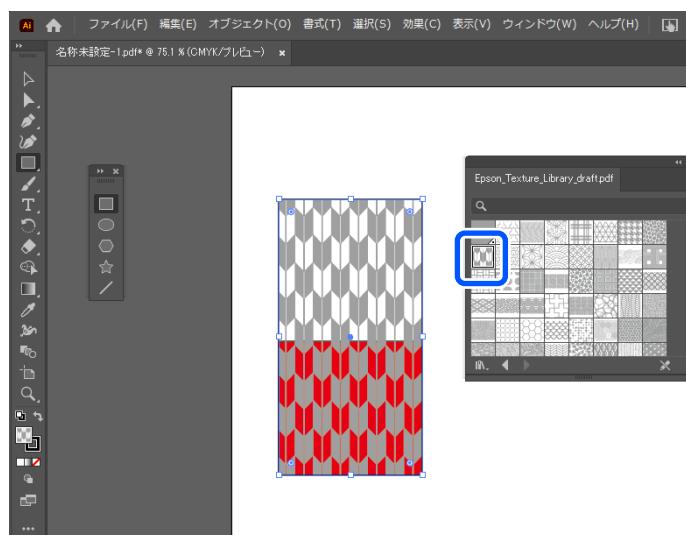


基本の印刷

- 3 画像の上に重なるようにテクスチャーパターンを適用する範囲（オブジェクト）を作成します。

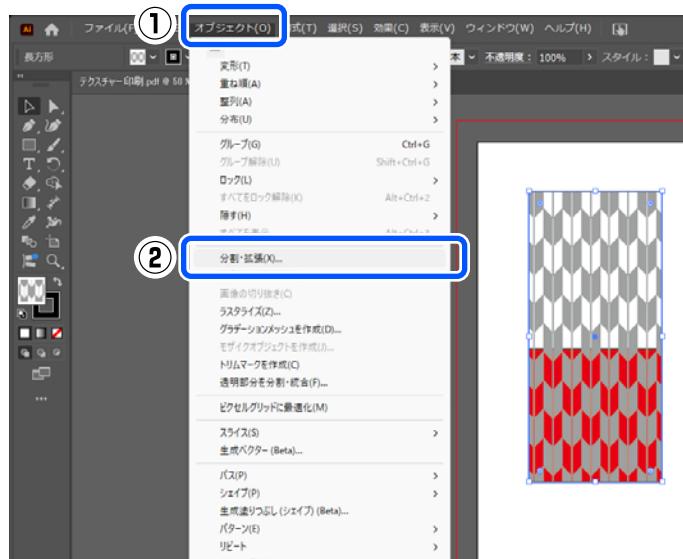


- 4 手順3で作成したオブジェクトに適用するテクスチャーパターンを選択します。

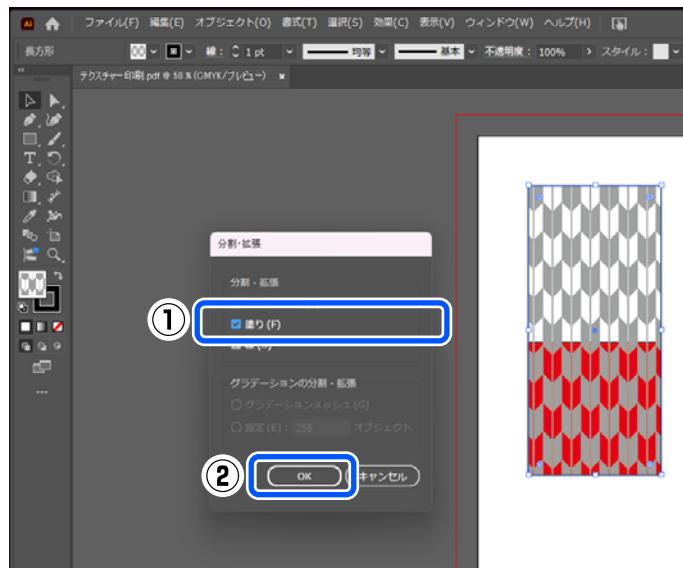


基本の印刷

5 テクスチャーパターンを選択し、【オブジェクト】 - 【分割・拡張】の順にクリックします。

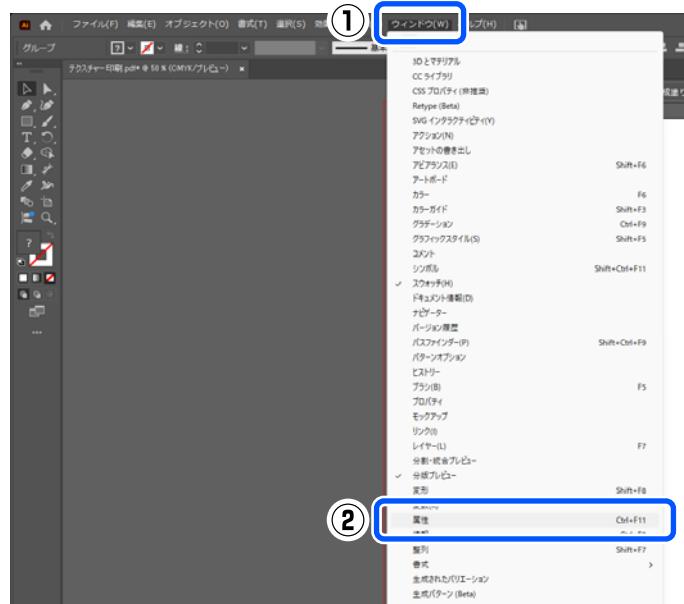


6 【塗り】にチェックが付いていることを確認し、【OK】をクリックします。

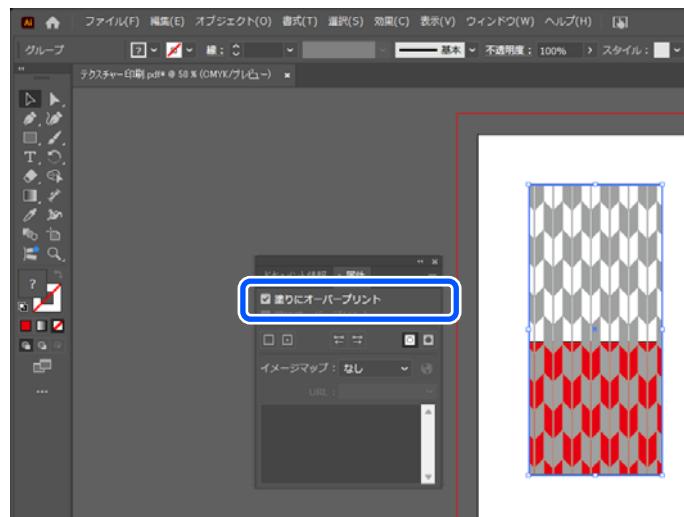


基本の印刷

7 テクスチャーパターンを選択し、[ウィンドウ] - [属性] の順にクリックします。



8 [塗りにオーバープリント] にチェックを付けます。



9 編集したファイルを PDF 形式で保存します。

10 Epson Edge Print PRO を起動します。

11 ジョブツールバーの (追加) をクリックして、手順 9 で作成したデータを追加します。

- 12** [基本設定] - [層数と重ね順の設定] で作成したデータに応じた層数とマットバーニッシュを使用したか、グロスバーニッシュを使用したかを選択します。

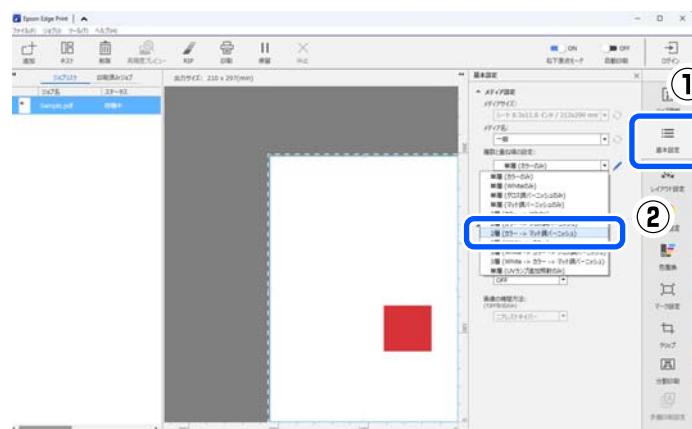
例えば1層目がカラー、2層目をマットバーニッシュ用のテクスチャーファイルを使用したときは、[2層（カラー→マット調バーニッシュ）]を選択します。

！重要

マットバーニッシュとグロスバーニッシュの選択を間違えないように注意してください。

マットバーニッシュのテクスチャーを使用したときにグロス調バーニッシュを選択すると、印刷結果のテクスチャーの模様が潰れることができます。

グロスバーニッシュのテクスチャーを使用したときにマット調バーニッシュを選択すると、印刷結果のテクスチャーがマット調になります。



- 13** [印刷品質] で印刷品質を選択します。

手順12の[層数と重ね順の設定]での設定に応じて選択できる印刷品質が異なります。

- 14** その他の設定を確認し、ジョブツールバーの (印刷) をクリックします。

メディア高さ設定の種類と概要

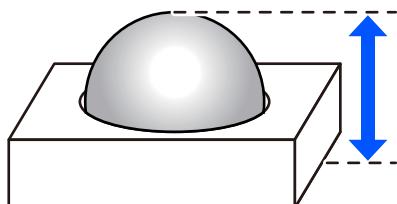
印刷するメディアの高さを適切に設定しないと、プリントヘッドとメディアが接触して故障の原因となったり、印刷結果の文字や画像がぼやけて印刷品質が低下したりします。このため、初めて印刷するときや厚みが異なるメディアに変えて印刷するたびにメディアの高さを【メディア高さ】設定で適切に設定する必要があります。

【メディア高さ】設定には、【自動】と【手動】の2通りあります。それぞれの概要は、以降で説明します。メディア高さの実際の測定方法は、以下をご覧ください。

☞ 「[「セットしたメディアの設定（適切なメディア高さに設定する）」58ページ](#)

自動設定の概要

本機は、標準装備のセンサーでテーブルにセットされたメディアの最も高い位置を測定してプリントヘッドを適切な高さに自動で設定できます。



【メディア高さ】を【自動】に設定すると印刷開始前に自動で測定して【メディア高さ】を決定します。薄くて手動ではメディアの高さが正確に測定できないときや使用するメディアの厚さが毎回異なるときに便利な設定です。ただし、△ボタンを押した後にテーブル全体をセンサーで確認するので実際の印刷が始まるまで時間がかかります。この確認は印刷開始のたびに毎回行われます。また、自動設定はメディアの材質・形状により正しく測定できないことがあります。詳細は以降をご覧ください。

自動設定に適さないメディア

以下のような材質・形状のメディアは高さを【手動】で設定してください。

表面に傷がつきやすいもの

高さを測定するときにメディア表面をセンサーで傷つけるおそれがあります。

質量の軽いものや転がりやすい形状のもの

センサーで測定する際にメディアが動くと正しい高さを測定できません。

柔らかいもの

センサーが触れて凹むものは正しいメディア高さが測定されません。

手動設定の概要

【メディア高さ】を【手動】に設定すると、入力したメディア高さに応じてプリントヘッドが適切な高さに調整されます。センサーによる測定がなくすぐに印刷が開始されます。

入力した値は、次回メディア高さを入力するまで保持されます。このため同じ仕様のメディアを続けて使うときには、2回目以降はメディア高さ設定が不要で効率よく印刷を開始できます。

メディアの高さは、本機のメディア設定メニューの【登録メディア管理】に30個まで登録できます。

よく使うメディア種類は決まっているが、メディア種類を頻繁に変えて印刷するときは、使用するメディアごとの高さを【登録メディア管理】に登録します。次回以降は登録したメディア高さから目的のものを選択するだけで高さの測定や登録の手間なくすぐに印刷を開始できます。

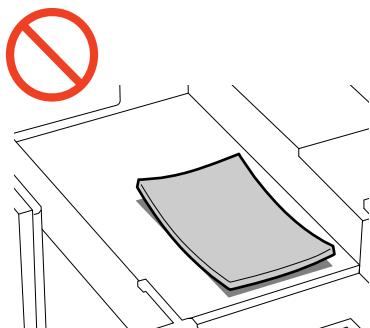
メディアのセット

メディアセット時のご注意

メディアをセットする前に以下をご覧ください。

[「使用可能なメディア」21ページ](#)

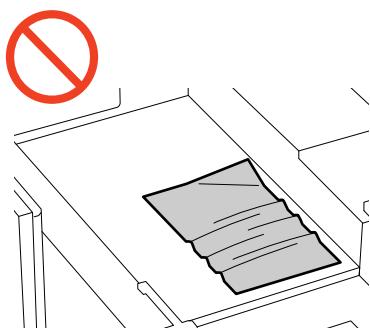
- 薄手（0.5 mm 以下）のシート状のメディアは、必ず  (吸着オン) を押してメディアをテーブル上に密着させてください。
メディアの固定方法は以下をご覧ください。
[「メディアをテーブルにセットする」54ページ](#)
- 板状の平らなメディアやシート状のメディアは、端部が浮き上がっていないことを確認してください。



 (吸着オン) を押してもメディアの端部が浮き上がるときは、マスキングテープなどでテーブル上に密着させてください。メディアの固定方法は以下をご覧ください。

[「シート状のメディアが反っているときの固定方法」57ページ](#)

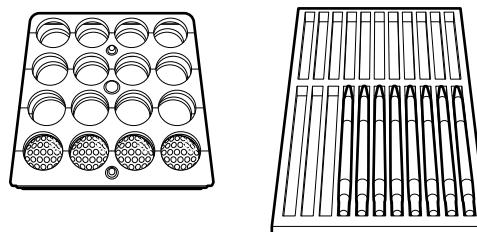
- メディアにしわや折れがないことを確認してください。しわや折れがあるメディアは使用できません。



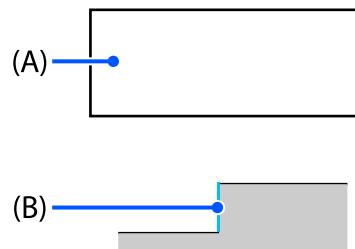
- 厚さ 3 mm 程度までのメディアで熱によってシワや反りが発生しやすいときは、メディアの外周をマスキングテープなどでテーブル上に固定してください。
- フチなし印刷やメディアからはみ出して印刷をするときは、テーブルを汚さないように工夫してください。例えば、テーブルに治具や用紙や布など敷いてください。

- 軽いメディア、球体・ペン・おもちゃのミニカーのように転がりやすく不安定なメディアは、メディアの高さを確認する際にセンサーが当たって移動するおそれがあります。動かないように治具で固定することをお勧めします。

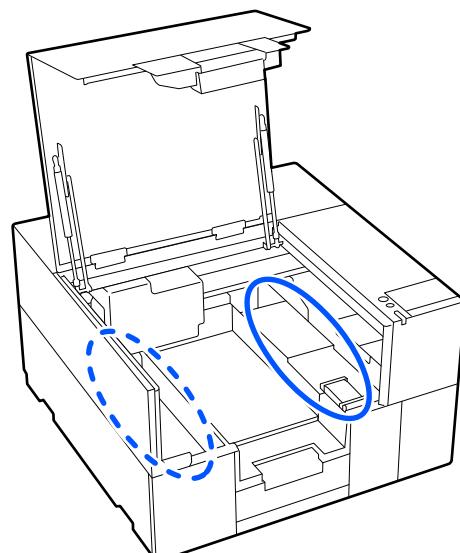
治具の例：



- 下図は本機を真横から見た簡略図です。図のようにプリントヘッド(A)に対して垂直な面(B)には印刷できません。



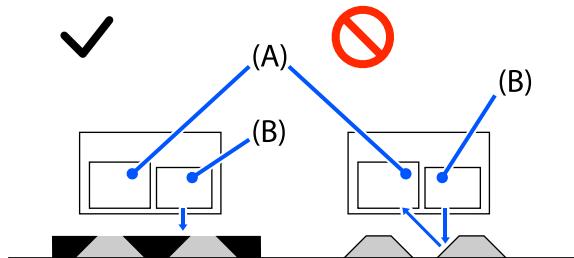
- 図で囲った部分を含め、テーブル以外に物を置かないようにしてください。使用後の剥がしたテープなども忘れず取り除いてください。また、物を置いたまま、印刷しないようにしてください。物を置いたまま印刷すると故障の原因になります。



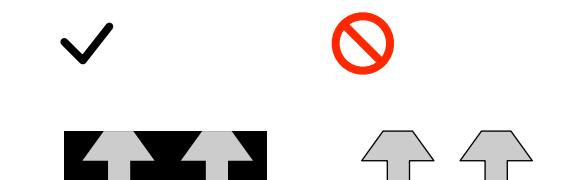
- 印刷面が平らになるようにメディアをセットしてください。
メディアを複数セットするときは、メディアがない部分（メディアとメディアの隙間）も同じ高さになっている

ことをお勧めします。治具を使用するときは以下の点に注意してください。

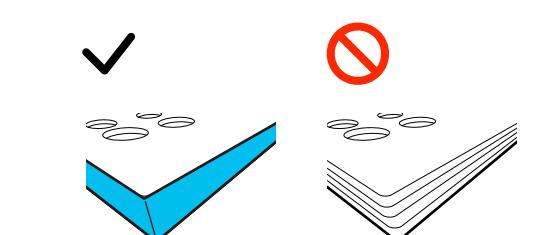
- 下図は本機を正面から見た図です。右側のようにメディア（グレー部分）とメディアの間に隙間があると、UVランプ（B）からの光が反射してプリントヘッド（A）のノズルの目詰まりが発生しやすくなります。左側のように治具（黒塗り部分）などで隙間を埋めてください。



- 下図は本機を正面から見た図です。メディア（グレー部分）の側面に突起があるときは、左下の図のように治具（黒塗り部分）などで隙間を埋めてください。センサーが突起に引っかかって故障するおそれがあります。治具自体にも突起がないものを使用してください。



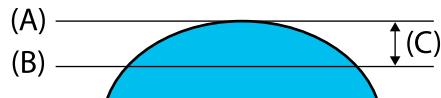
- 治具が層状になっているときはテープなどを貼って段差を軽減してください。センサーが段差にひっかかり壊れることがあります。
テープは治具の高さをはみ出さないようにしてください。メディア高さの検出が正しくできません。



- 治具は透明な素材、光を反射しやすい素材で作らないでください。
- テーブルからはみ出すサイズの治具は使用できません。
- 治具をセットするときは以下をご覧ください。
[「テーブル仕様」22ページ](#)

- 鏡のように光を強く反射するメディアには印刷しないでください。UV光を反射してノズルの目詰まりが発生することがあります。

- 本機は曲面にも印刷できますが、メディアの最も高い位置（A）と印刷面の最も低い位置（B）の差（C）を1.8 mm以内にすることをお勧めします。



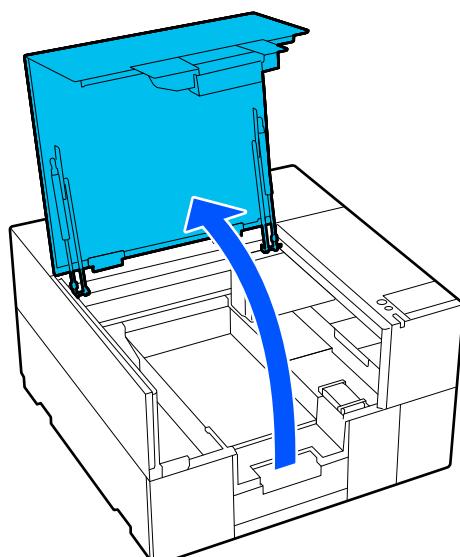
<曲面に印刷したときの例>



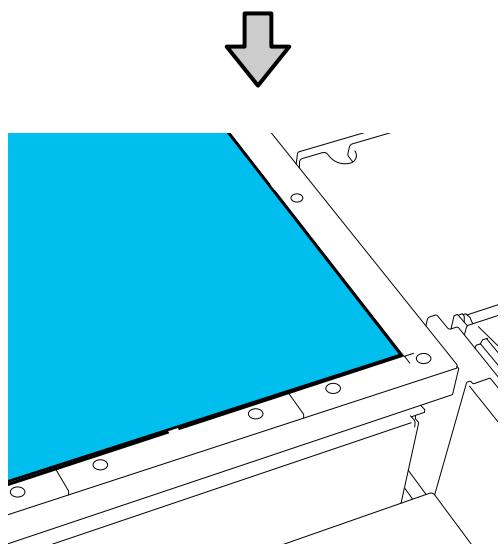
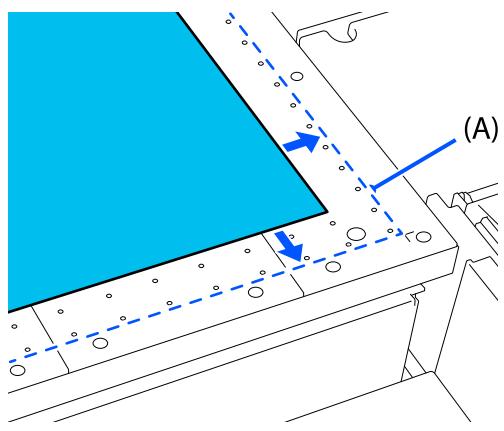
メディアをテーブルにセットする

1 画面に【印刷できます。】と表示されていることを確認します。

2 プリンターカバーを開けます。

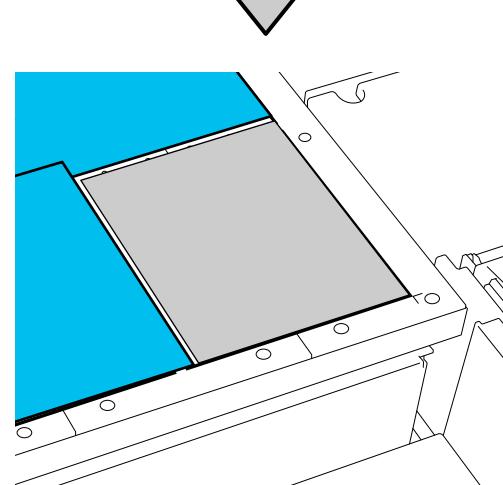
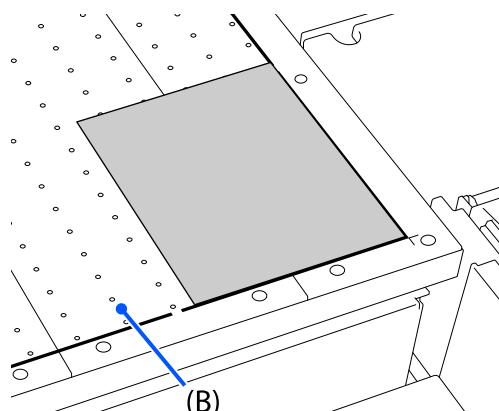


- 3 メディアの角をテーブル右下の溝の内側（A）に合わせてセットします。



！重要

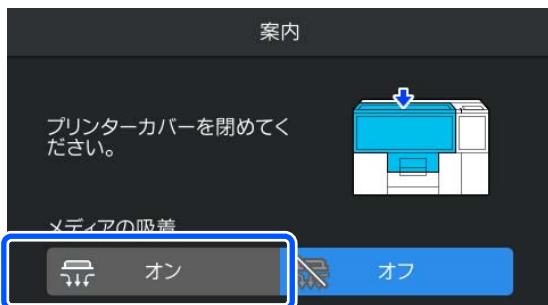
厚さ 0.5 mm 以下のメディアをセットしたときにテーブルの吸着穴（B）を覆えてない部分があるときは、別の用紙などを使ってすべての吸着穴を覆ってください。メディアを吸着させると吸着力が弱くなります。



メディア厚が 0.5 mm 以下のときは、次の手順に進みます。メディア厚が 0.5 mm を超えるときは、手順 5 に進みます。

4 図のボタンを押します。

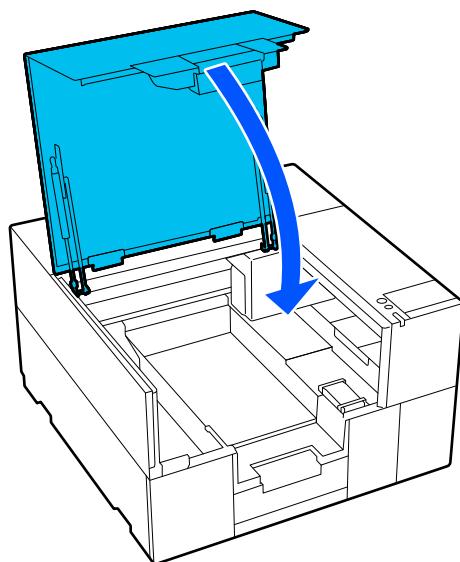
メディアがテーブルに吸着されます。



参考

- スリープモード時はプリンターカバーを開けても操作パネルの画面が消えています。操作パネルの画面をタッチすると、画面が点灯します。
 - 吸着をしてもメディアの端部が浮き上がるときはマスキングテープなどで固定してください。
- [「シート状のメディアが反っているときの固定方法」57 ページ](#)

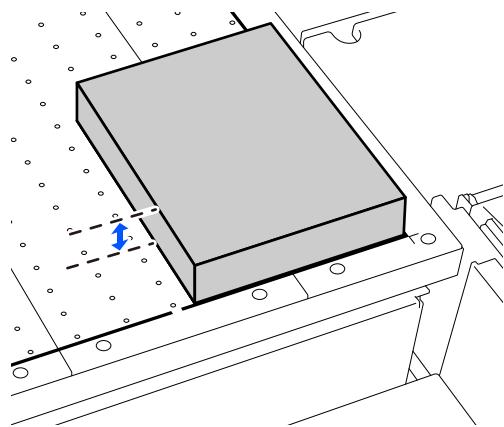
6 プリンターカバーを閉めます。



5 メディアをテーブルに置いた状態で、テーブルからメディアの最も高い位置までの高さを測ります。

治具を使用しているときは、治具の高さを含めてテーブルから最も高い位置の高さを測ってください。

測った高さはメディア高さの設定時に必要となりますので記録してください。



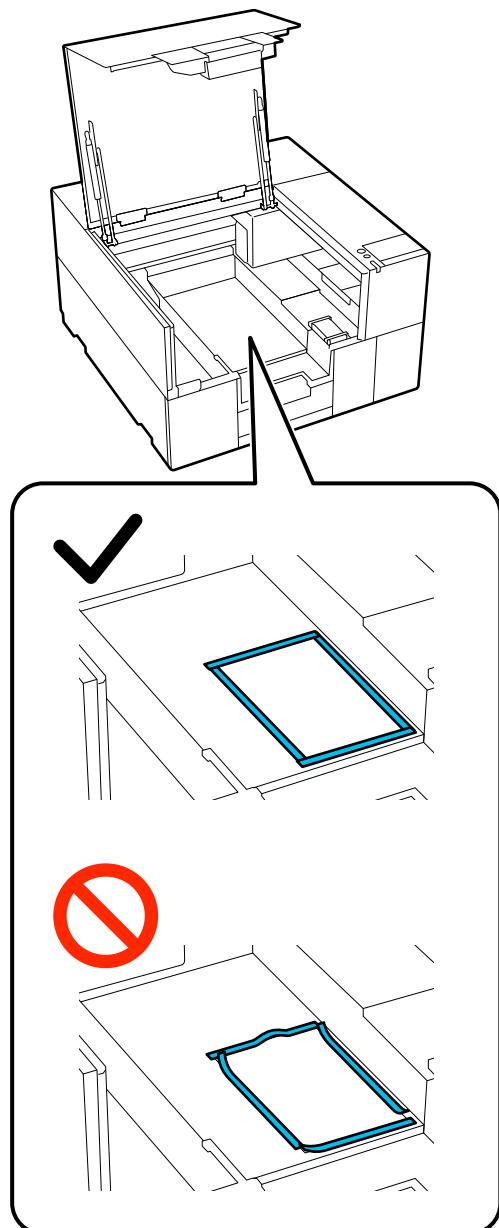
シート状のメディアが反っているときの固定方法

0.5 mmより厚いメディアやメディアに反りがあるとき、本機の吸着機能を使ってもメディアの端部が浮き上がるときは、メディアの外周をマスキングテープなどでテーブル上に固定します。印刷が終わるまで剥がれないようしっかりと固定してください。

マスキングテープなどが剥がれたり、浮き上がっていたり、折れ曲がったりしないようにしてください。

参考

シート状のメディアをテーブルにマスキングテープなどで固定した場合、メディア高さが【自動】のときは、マスキングテープの高さを含んだ高さを検出します。【手動】のときは、マスキングテープの高さ分、メディアギャップが狭くなるので、プリントヘッドとマスキングテープとの擦れでマスキングテープが剥がれる可能性があります。メディア高さに、メディアの厚みとマスキングテープの厚みを足した値を設定してください。



セットしたメディアの設定（適切なメディア高さに設定する）

印刷を開始する前に、必ずメディア高さの設定を行います。

！重要

セットしたメディアの高さを適切に設定しないと、プリントヘッドとメディアが接触して故障の原因となったり、印刷結果の文字や画像がぼやけて印刷品質が低下したりします。

メディア高さの設定方法は、自動と手動の2通りあります。現在、どちらの設定方法を選択しているかはホーム画面の以下の囲みの部分で確認できます。



どちらの設定方法を使うのが効率的かは、作業状況や使用するメディアによります。以下を参考にしてください。

【手動】が適している例

- よく使うメディア種類が決まっていて、時々でメディアを変えて印刷する場合。
 - アクリル板などのようにパッケージに厚みが明記されている場合。
 - 【自動】で測定が難しいメディアを使用する場合。
 - 点字印刷をする場合。
- [「メディア高さ設定の種類と概要」52ページ](#)

【手動】の【自動測定して取得】が適している例

- 同じメディア形状の印刷を数回続けて行う印刷作業の場合。
- シート状の薄いメディアで、スケールを見て高さを確認しにくい場合。
- 【自動】で測定できるメディアの場合。

【自動】が適している例

- 1回の印刷ごとにメディア形状が異なるような小ロットで多彩な印刷作業の場合。

- 【自動】で測定できるメディアの場合。

以降で、次の操作手順を説明します。

- 手動設定で新規にメディア高さを設定する

[「手動設定の操作（新規にメディア高さを設定する）」58ページ](#)

- すでに登録しているメディア番号を選んでメディア高さを設定する

[「すでに登録しているメディア番号を選んで設定する」59ページ](#)

- 自動でメディア高さを測定する

[「自動でメディア高さを測定するとき」59ページ](#)

手動設定の操作（新規にメディア高さを設定する）

手動でメディアの高さを設定した値は、本機のメディア設定メニューの【登録メディア管理】に登録されます。一度登録すれば、次回以降は、高さの測定や登録の手間なく、呼び出してすぐに印刷の工程に進むことができます。30個まで登録できますので、よく使うメディア別に登録すれば効率よく印刷前の設定ができます。

- 1 [【メニュー】 - 【メディア設定】 - 【登録メディア管理】の順に押します。](#)



- 2 メディア高さを登録する登録メディア番号を押します。

未登録の番号を選択します。



3 [登録名称の変更] を押して名称を入力し、[OK] を押します。

4 [メディア高さ] - [手動] の順に押して、メディアの高さを入力して [OK] を押します。

入力する値は、「メディアをテーブルにセットする」の手順 5 で測ったメディアの高さです。

5 ホーム画面に戻ります。メディア情報エリアに選択したメディア番号と入力した名称、「[メディア高さ]」のエリアに設定した高さの値が表示されたことを確認します。



!重要

メディアギャップは 1.2 mm のまま使用します。

- メディアギャップをむやみに広げるとプリントヘッドのノズルが目詰まりしたり、本機外装の内側がインクで汚れたりします。
印刷時にプリントヘッドがこすれて汚れる、印刷時にUVランプの熱でメディアが温められて変形するときに限り値が大きくなるように変更します。

☞ 「[メディア設定メニュー](#)」89ページ

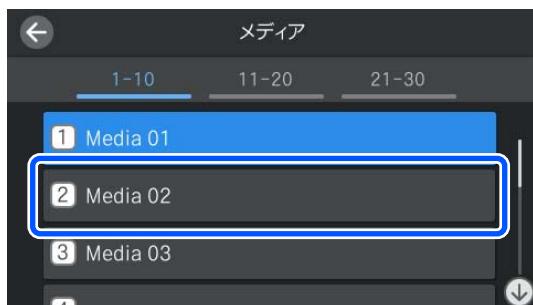
- 点字印刷をするときは、[メディアギャップ] を 2.0 mm に設定してください。メディアギャップを適切に設定しないと、印刷時にプリンターが故障するおそれがあります。
- メディア高さが 68.6 mm 以上のときは、メディアギャップは 1.2 mm 固定になります。

すでに登録しているメディア番号を選んで設定する

1 ホーム画面で、以下の囲みの部分を押します。

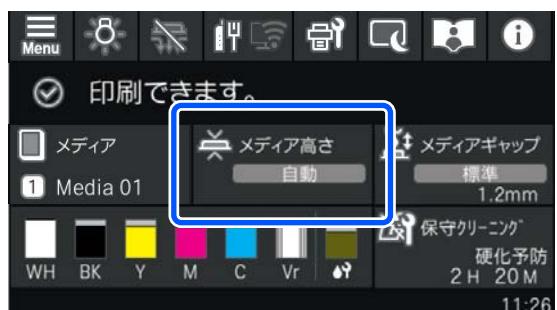


2 登録した設定を使用したい登録したメディア番号を選択します。



自動でメディア高さを測定するとき

ホーム画面の以下の囲みの部分を確認します。 [自動] と表示されていないときは、囲みの部分を押して [自動] を選択します。



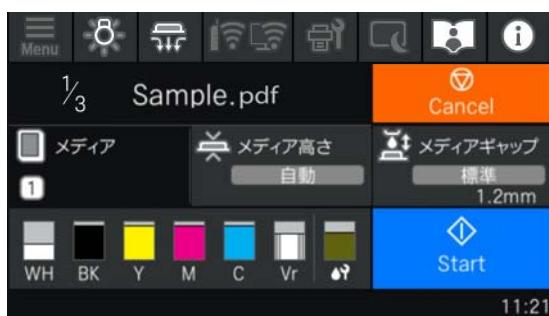
以降は、次項をご覧になり印刷を開始すると、メディアの高さを自動測定してから印刷が始まります。

印刷の開始と中止

開始

アプリケーションから印刷ジョブを送信した後の手順を説明します。

- 1 ジョブの受信が完了すると、以下のように画面に  が表示されます。



!重要

本機は電源投入後やスリープモード復帰後はヒーターのウォームアップが必要なため、印刷開始までに時間がかかります。ヒーターのウォームアップ中は以下のように画面にヒーターのウォームアップのカウントダウンが表示されます。カウントダウン中は印刷を開始しないでください。カウントダウンの完了を待たずに、印刷を開始すると、印刷品質が低下する可能性があります。



- 2 メディアがセットされていることを確認し、 を押します。

中止

印刷を中止したい場合、または本機で受信中、受信済みのジョブをキャンセルしたい場合に実施します。

- 1 画面の状態表示エリアの右端にある  (ボーズ) を押します。

- 2 [中止] を選択します。

印刷またはジョブの受信が止まり、ジョブが削除されます。

メディアの取り外し

- 1 印刷完了画面が表示されたら、プリンターカバーを開けます。

- 2 メディアの吸着をオンにしているときは、図のボタンを押します。

吸着が終了します。



- 3 メディアを取り外します。

- 4 プリンターカバーを閉めます。

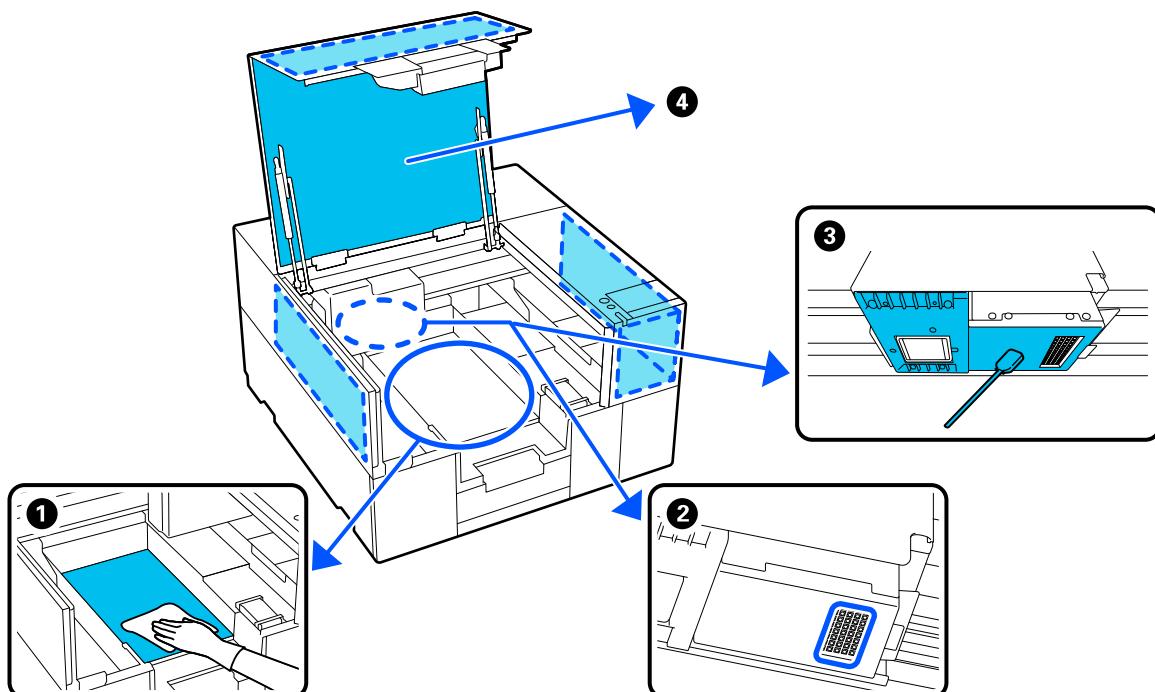
メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

本機の印刷品質を維持するためには、清掃や消耗品の交換が必要です。

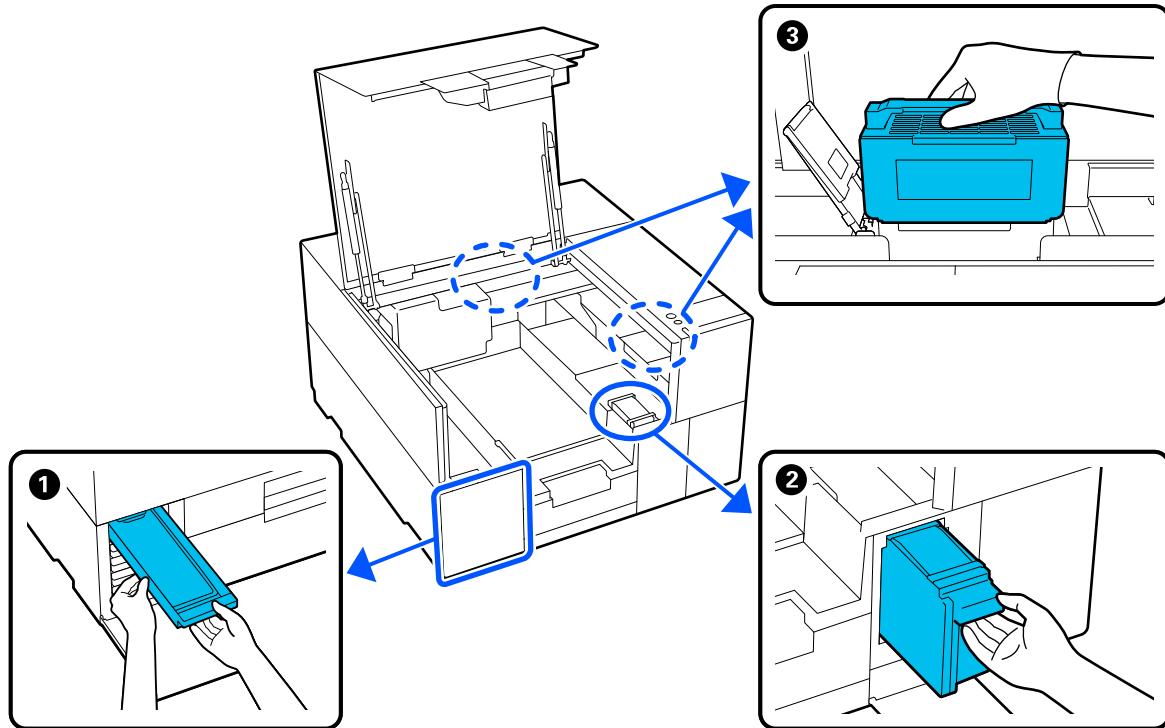
適切なメンテナンスを怠ると、印刷品質の低下や製品が早期に寿命にいたる原因になったり、修理が必要の際に有償になることがあります。画面にメッセージが表示されたら必ずメンテナンスを実施してください。

清掃箇所と実施時期



実施時期	清掃箇所
<ul style="list-style-type: none"> 毎日 テーブルにインクの汚れが付いたとき 	<p>① テーブルの清掃 ☞ 「テーブルの清掃」 66 ページ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1カ月に 1 回 印刷された部分が硬化していないとき 	<p>② UV ランプカバーの清掃 ☞ 「UV ランプカバーの清掃」 67 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル</p>
プリントヘッドのクリーニングをしても印刷面が汚れるとき	<p>③ プリントヘッド周辺の清掃 ☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 65 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル</p>
本機の内部に汚れが付着したとき	<p>④ プリンターカバーや外装カバーの内側 ☞ 「本機内部の清掃」 68 ページ</p>

消耗品の箇所と交換時期



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面にインク残量が限界値以下のエラーが表示されたとき	① インクパック ☞ 「インクパックの交換」69 ページ
操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき	② ワイバーユニット ☞ 「ワイバーユニットの交換」70 ページ
本機の UV インクから出る臭いが気になるとき	③ エアフィルターの交換 ☞ 「エアフィルターの交換」71 ページ

その他のメンテナンス

実施時期	実施事項
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の印刷業務開始前（WH のみ） 操作パネルの画面にかくはんを促すメッセージが表示されたとき 	インクパックのかくはん ☞ 「インクパックの定期かくはん」72 ページ
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の印刷業務開始前 ノズルが目詰まりしているか確認したいとき 目詰まりしている色を確認したいとき 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき 	ノズルの目詰まりチェック ☞ 「ノズルの目詰まりチェック」73 ページ
<ul style="list-style-type: none"> 印刷物にかすれや欠けがあるとき ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき 	プリントヘッドのクリーニング ☞ 「プリントヘッドのクリーニング」74 ページ

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

インクパックやメンテナンス用の交換パーツ、クリーニング棒、クリーニング液は、本機用のものをご用意ください。

 「消耗品とオプション」 103 ページ

保護メガネ（市販品）

インクやクリーニング液が目に入らないように保護します。以下の作業時に使用します。

- テーブルの清掃
- UV ランプカバーの清掃
- プリントヘッド周辺の清掃

マスク（市販品）

以下の作業時に使用します。

- テーブルの清掃
- UV ランプカバーの清掃
- プリントヘッド周辺の清掃

手袋（市販品）

以下の作業時に使用します。

- テーブルの清掃
- UV ランプカバーの清掃
- プリントヘッド周辺の清掃
- エアフィルターの交換（消耗品に手袋が付属されています）

柔らかい布（市販品）

以下の作業時に使用します。

- テーブルの清掃
- 本機内部の清掃
- UV ランプカバーの清掃

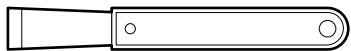
ペーパータオル（市販品）

以下の作業時に使用します。

- テーブルの清掃
- 本機内部の清掃

スクレーパー（本体付属）

UV ランプカバーの清掃時に使います。



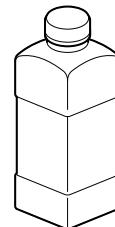
クリーニング棒（消耗品）

プリントヘッド周辺の清掃時に使用します。



クリーニング液（消耗品）

プリントヘッド周辺の清掃時に使用します。



カップ（市販品）

プリントヘッド周辺の清掃時に使用します。

金属製のトレイ（市販品）

使用済みのクリーニング棒を置いたり、プリントヘッド周辺の清掃時にインク汚れを防いだりするのに使います。

作業時のご注意

⚠ 注意

- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスク、保護衣などを着用してください。インク、クリーニング液が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
 - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
 - インクパック、クリーニング液は子どもの手の届かない場所に保管してください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。

- ・清掃の対象箇所以外の部品や基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- ・クリーニング棒は、常に新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- ・クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、機能が損なわれることがあります。
- ・作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。
- ・メンテナンス時にプリントヘッドやプリントヘッド周辺に水やアルコールが付かないように注意してください。UVインクは水やアルコールと混ざると異物が発生するため、ノズル詰まりの原因になります。
- ・インクで画面が汚れるおそれがあるため、インクが付着したままの手袋で画面を操作しないでください。
画面が汚れたときは水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭いてください。

清掃

クリーニング液の使い方

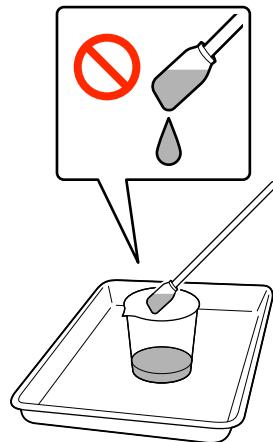
クリーニング液は、プリントヘッド周辺の清掃時に、クリーニング棒に染み込ませて使用します。

！重要

- ・使用箇所で指定された箇所以外の清掃には使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。
 - ・開封後の使用、保管状況によっては、クリーニング液が変色することがあります。
 - ・クリーニング液に変色や異臭があるときは、使用を中止して新しいクリーニング液をお使いください。
 - ・使用後は蓋をしっかりと閉め、高温多湿、直射日光を避けて保管してください。
 - ・一度清掃に使ったクリーニング液は、次回清掃時に使わないでください。汚れたクリーニング液を使うと、かえって汚れが付着します。
 - ・使用済みのクリーニング液は、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
- 使用済み消耗品の処分 ↪ 「廃棄」 75 ページ

- 3** クリーニング棒にクリーニング液を染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からクリーニング液が垂れないように注意してください。

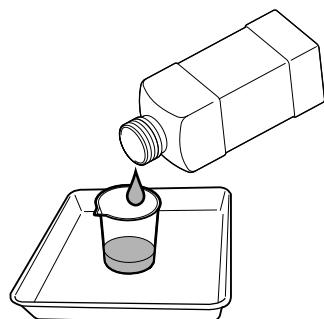


プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッドのクリーニングをしても印刷面が汚れるときは、プリントヘッドの周辺にインクや糸くずが堆積している可能性があります。以下の手順で清掃してください。

- 1** クリーニング液の蓋を外します。

- 2** カップをトレイに載せてクリーニング液を 10ml 程度注ぎます。

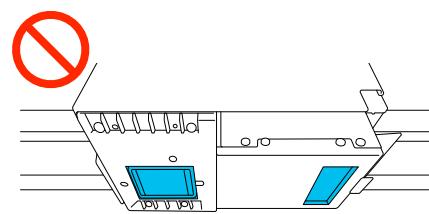


清掃時のご注意

！重要

以下を守らないと、故障の原因になります。

- ・プリントヘッドを手で動かさない。
- ・クリーニング棒で図の **■** 部分には触らない。



作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

↪ 「作業時のご注意」 63 ページ

- ・プリントヘッド周辺の汚れが取れにくいときは、汚れたクリーニング棒をクリーニング液ですすいで清掃し直してください。クリーニング棒がひどく汚れているときは新品に交換してください。

清掃方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。
- 2  (プリンターのお手入れ) - [部品清掃] - [ヘッド周辺] を押します。
- 3 メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。
- 4 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。
以降、画面の手順に従って作業してください。
- 5 清掃が終了したらプリンターカバーを閉め、操作パネルの画面で [終了] を押します。
プリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。
清掃終了後はノズルの目詰まりチェックの実施をお勧めします。
 [「ノズルの目詰まりチェック」73 ページ](#)

使用済み消耗品の処分  [「廃棄」75 ページ](#)

テーブルの清掃

毎日実施する清掃とテーブルにインクの汚れがついたときの清掃手順を説明します。状況に応じて以下をご覧ください。

-  [「毎日の清掃」66 ページ](#)
-  [「インクの汚れがついたときの清掃」66 ページ](#)
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
-  [「作業時のご注意」63 ページ](#)

毎日の清掃

テーブルにホコリが付着していると、ノズルの目詰まりの原因になります。毎日、以下の手順で清掃してください。

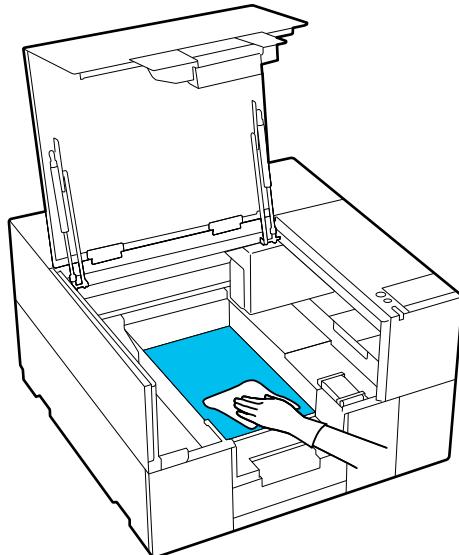
- 1 プリンターカバーを開けます。

- 2 柔らかい布またはペーパータオルを使って、ホコリや汚れを拭き取ります。

汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布またはペーパータオルを浸し、よく絞ってから拭いてください。その後、乾いた柔らかい布またはペーパータオルで水気を拭いてください。

！重要

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。



- 3 プリンターカバーを閉めます。

インクの汚れがついたときの清掃

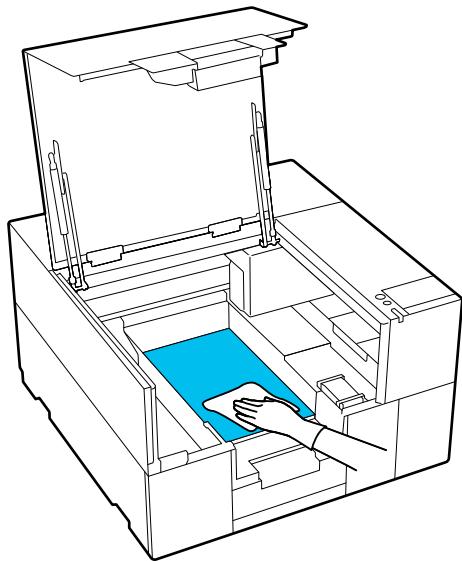
テーブルにインクの汚れがついたときは、インクが硬化する前に以下の手順で清掃してください。インクが硬化するとインクの汚れが取れにくくなります。

- 1 プリンターカバーを開けます。

- 2** 中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布またはペーパータオルを浸し、よく絞ってから拭きます。その後、乾いた柔らかい布またはペーパータオルで水気を拭いてください。

!重要

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。



- 3** プリンターカバーを閉めます。

使用済み消耗品の処分 「廃棄」 75 ページ

UV ランプカバーの清掃

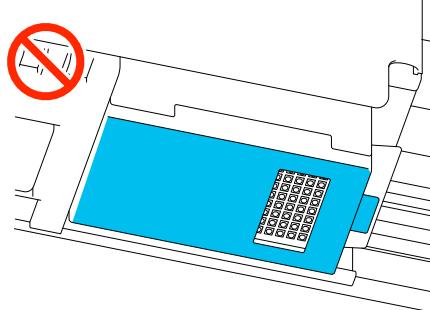
UV ランプカバーに付着したインクを取りるために、1ヵ月に1回、付属のスクレーパーを使用して清掃をしてください。

また、印刷された部分が硬化しなくなったときにも UV ランプカバーの清掃をしてください。メディアによっては UV ランプカバーを清掃しても、硬化しにくいことがあります。

!重要

以下を守らないと、故障の原因になります。

- ・プリントヘッドを手で動かさない。
- ・ガントリーに触らない。
- ・図の 部分は触らない。



作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

「作業時のご注意」 63 ページ

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

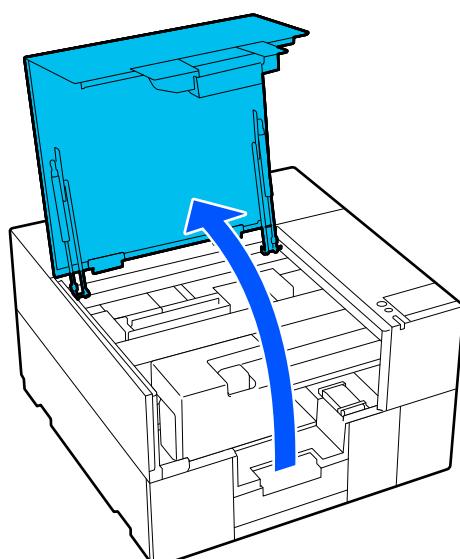
[動画マニュアル](#)

- 1** (プリンターのお手入れ) - [部品清掃] - [UV ランプ] の順に押します。

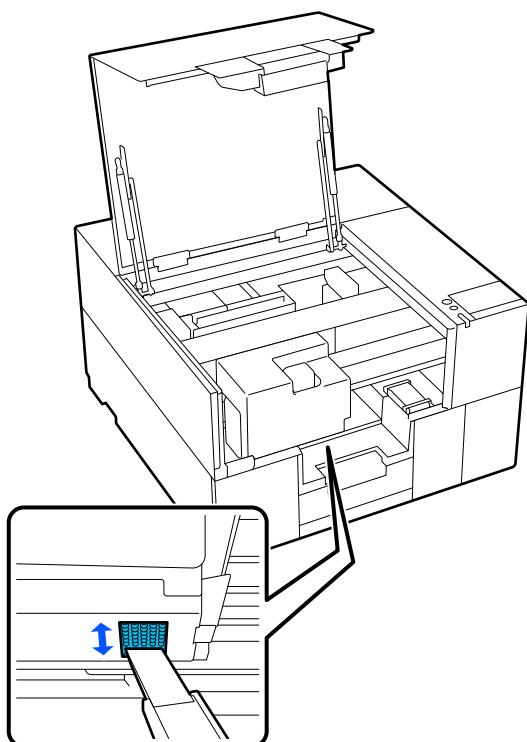
- 2** メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

プリントヘッドがメンテナンス位置まで移動します。

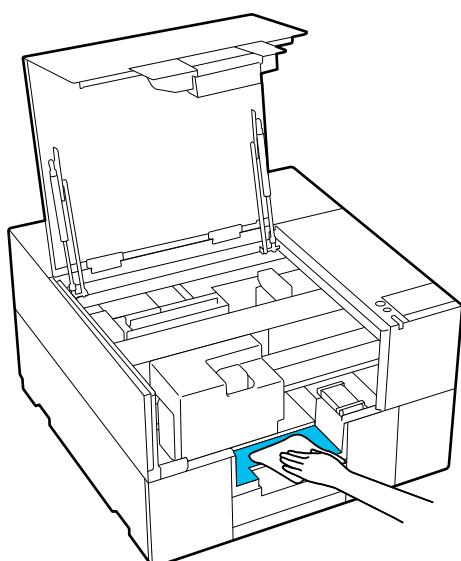
- 3** プリンターカバーを開けます。



- 4 プリントヘッドを底面からのぞき込んで清掃します。UVランプカバーのガラス面にスクレーパーを押し当て、付着したインクをかき取ります。



- 5 かき取ったインクの粉が本機に落ちているときは、柔らかい布を使って拭き取ります。



- 6 プリントカバーを閉め、操作パネルの画面で【終了】を押します。

プリントヘッドが元の位置に戻ります。

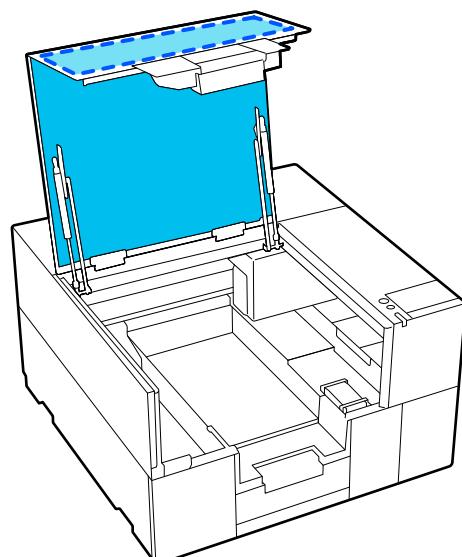
本機内部の清掃

プリンターカバーや外装カバーの内側にインクの汚れなどが付着して機内が見えにくくなったときは、以下の手順で清掃してください。

- 1 プリントカバーを開けます。

- 2 水に浸してよく絞った柔らかい布またはペーパータオルでプリンターカバー内側の汚れを拭き取ります。

水拭きだけで落ちない汚れは、薄めた中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布またはペーパータオルで拭き取ってください。

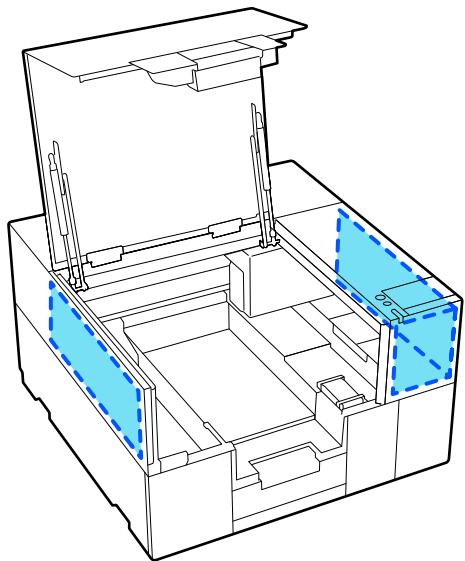


- 3 外装カバーの透明部分の内側（図の■部分）の汚れも拭き取ります。

！重要

図の用に模様が入っている部分まで清掃しないでください。本機の奥側に手を入れるとけがをするおそれがあります。





4 プリンターカバーを閉めます。

使用済み消耗品の処分 [「廃棄」75 ページ](#)

消耗品の交換

インクパックの交換

!重要

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

交換時のご注意

!重要

[インク量が限界値以下ためインクパック交換が必要です。]と表示されたら、速やかに新しいインクパックと交換してください。
インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

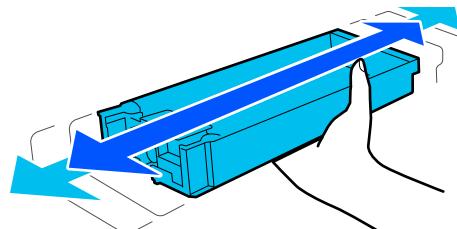
- 1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

インクパックの交換は、以降の手順で行います。

- 全インクパクトレイにインクパックをセットしてください。インクパックがセットされていないインクパクトレイが1色でもあると印刷できない、または故障の原因となります。
- インクパックを振るときは、インクパクトレイにセットした状態のまま下図の通り、色ごとに以下の回数、水平方向によく振ってください。
 - ホワイトインク（WH）：17秒間に50回程度
 - その他のインク：7秒間に20回程度

バニッシュインクはかくはん不要です。



- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、インク供給孔部に触らないようご注意ください。

交換方法

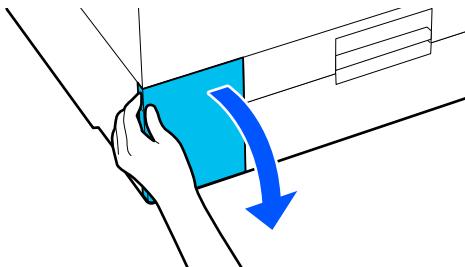
交換を促すメッセージが表示されたとき

[操作方法を見る] を押します。作業手順を見ながらインクパックの交換ができます。



印刷量に対してインクの残量が少ないので交換したいとき

1 インクパックカバーを開けます。



2 操作パネルの画面で【操作方法を見る】を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。



使用済み消耗品の処分 ↗ 「廃棄」 75 ページ

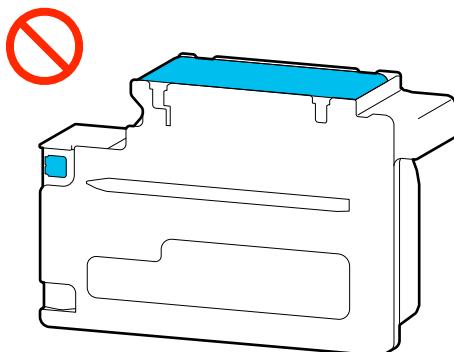
ワイパーエリートの交換

交換時のご注意

⚠ 注意

- ・ワイパーエリートを分解しないでください。
分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- ・子どもの手の届かない場所に保管してください。

- ・ワイパーエリートを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・ワイパーエリートの図の 部分は触らないでください。



- ・直射日光を避けてください。
 - ・高温下、および凍結状態での保存は避けてください。
 - ・使用後のワイパーエリートは新品のワイパーエリートに付属しているカバーを必ず付けて、廃棄用の袋に入れて、保管・廃棄してください。
- ↗ 「使用済みワイパーエリートの廃棄」 77 ページ
- ・使用後のワイパーエリートは廃棄用の袋に入る前は布部を下にしないでください。
 - ・ワイパーエリートの布部を手で巻かないでください。正常に動作しない、もしくは破損するおそれがあります。
 - ・ワイパーエリートをむやみに抜き差ししないでください。状況によりワイパーエリートが使用できなくなることがあります。

交換方法

[ワイパーエリートの交換時期です。] と表示されたら以下をご覧になり、本機専用のワイパーエリートを交換してください。交換しないと印刷できません。

↗ 「消耗品とオプション」 103 ページ

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[☞ 「作業時のご注意」 63 ページ](#)

- 1 [ワイヤーユニットの交換時期です。] の画面で [操作方法を見る] を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (プリンターのお手入れ) - [メンテナンスパーツ交換] - [ワイヤーユニット] の順に押します。

- 2 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

使用済みワイヤーユニットは以下の手順で袋に入れて廃棄してください。袋は新品のワイヤーユニットに付属されています。

[☞ 「使用済みワイヤーユニットの廃棄」 77 ページ](#)

エアフィルターの交換

UV インクから出る臭いが気になるようになったらエアフィルターを交換してください。交換の目安は 6 カ月です。エアフィルターは手前側と奥側にあります。2 つとも交換してください。

以下をご覧になり、本機専用のエアフィルターと交換してください。

[☞ 「消耗品とオプション」 103 ページ](#)

！重要

- エアフィルターのカバーを強く押し込まないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 奥側のエアフィルターを交換する際に、ガントリーが手前に動きます。ガントリーの天板部分に荷重をかけないでください。天板が曲がったり破損したりすると正常に印刷ができなくなります。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[☞ 「作業時のご注意」 63 ページ](#)

以下の手順で交換しないと、エアフィルターを取り外したときにエラーが発生します。

- 1  (プリンターのお手入れ) - [メンテナンスパーツ交換] - [エアフィルター] の順に押します。

- 2 手前側のエアフィルターを交換します。メッセージの内容を確認し、開始を押します。

- 3 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

- 4 手前側のエアフィルターの交換が完了すると、画面に奥側のエアフィルターを交換する案内が表示されます。[操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

使用済みエアフィルターは以下の手順で袋に入れて廃棄してください。袋は新品のエアフィルターに付属されています。

[☞ 「使用済みエアフィルターの廃棄」 78 ページ](#)

その他のメンテナンス

インクパックの定期かくはん

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、速やかにインクパックをかくはんしてください。

！重要

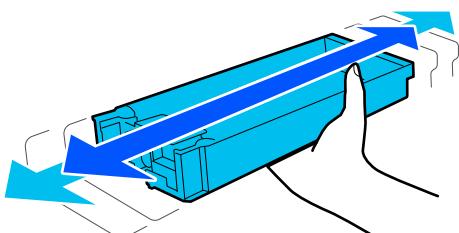
本機のインクパックは、インクの特性上、徐々に沈降（成分が液の底に沈んでたまる）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの詰まりの原因となります。インクパックの装着後は定期的にインクパックをかくはんしてください。

インクパックを本機に装着後は、以下の頻度でかくはん時期をお知らせするメッセージが表示されます。

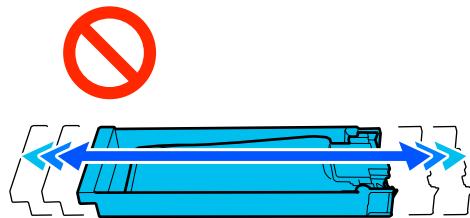
- ホワイトインク (WH) : 24 時間に 1 度
- その他のインク : 2 週間に 1 度
バニッシュインクはかくはん不要です。

かくはん時のご注意

- インクパックトレイを取り出すときは、トレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、トレイを引き抜いたときに重さでトレイが落下し破損するおそれがあります。
- インクパックを振るときは、インクパックトレイにセットした状態のまま下図の通り、色ごとに以下の回数、水平方向によく振ってください。
 - ホワイトインク (WH) : 10 秒間に 30 回程度
 - その他のインク : 3 秒間に 10 回程度
 バニッシュインクはかくはん不要です。



- インクパックがセットされたインクパックトレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、インク供給孔部に触らないようご注意ください。

かくはん方法

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、操作パネルの画面で手順を見ながらインクパックのかくはんができます。

画面全体にメッセージが表示されたとき

[操作方法を見る] を押すと、作業手順を確認できます。



参考

画面左上に「閉じる」が表示されているときは、一度画面を閉じて後でかくはんすることもできます。図のように閉じるが表示されていないときは、インクパックをかくはんするまで印刷など他の操作は何もできません。

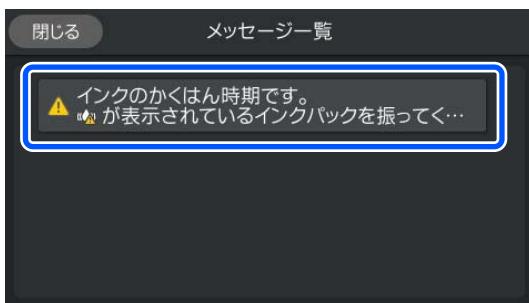
状態表示エリアにメッセージが表示されたとき

以下の手順で作業手順を確認できます。

- 1 画面の状態表示エリアを押します。



- 2 【メッセージ一覧】でインクかくはん時期をお知らせするメッセージを押します。



- 3 【操作方法を見る】を押すと手順を確認できます。以降、画面の手順に従って、作業してください。



ノズルの目詰まりチェック

印刷の前に目詰まりがないか確認したいときや印刷結果にスジやムラが見られるときにチェックパターンを印刷します。印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。チェックパターンの印刷方法は、以降をご覧ください。

使用可能なメディア

チェックパターンの印刷には、以下のメディアが必要です。

サイズ

A4

メディアの種類

インクジェット対応の透明なシート状のメディア

ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1 インクジェット対応の透明なメディアをテーブルにセットします。

メディアを縦長にして、印刷領域内の原点にメディアの右角を合わせてセットします。

☞ 「[メディアをテーブルにセットする](#)」 54 ページ

- 2 本機画面の【メディアギャップ】が 1.2 mm になっていることを確認します。

【メディアギャップ】が 1.2 mm になっていないときは、【メディアギャップ】を押して、1.2 mm に設定します。

参考

よく使うメディアの設定は、【登録メディア管理】に30個まで登録できます。ノズルチェックパターン印刷用に一度登録しておけば、次回以降はメディア情報エリアを押して登録したメディア No.を選択するだけで設定を呼び出すことができて便利です。

☞ 「[メディアに合わせてメディア高さやメディアギャップを登録したいとき](#)」 101 ページ

- 3 (プリンターのお手入れ) - [プリントヘッドのノズルチェック] の順に押します。

- 4 チェックパターンを印刷する位置を確認します。

画面に現在設定されている印刷位置が表示されます。

【印刷位置】は【手前側】、【中央】、【奥側】から選択できます。通常は【手前側】が選択されています。印刷位置を変更することでA4サイズに最大3回チェックパターンを印刷できます。印刷位置を変更したいときは、【印刷設定】を押すと設定を変更できます。

- 5** テーブルにメディアがセットされていることを確認し、【開始】を押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

- 6** 印刷が完了したら、プリンターカバーを開けます。

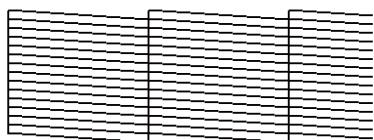
- 7** 図のボタンを押して、吸着を終了し、メディアを取り外します。



- 8** プリンターカバーを閉めます。

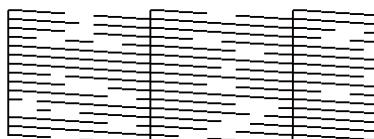
- 9** 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例



ノズルチェックパターンが欠けているときは、プリントヘッドのクリーニングをしてください。

☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 74 ページ

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのクリーニングには、【クリーニング（推奨）】、および【クリーニング（弱）】、【クリーニング（強）】の2段階のクリーニング、【インク循環クリーニング（ホワイト）】があります。

【クリーニング（推奨）】は最適な強度のクリーニングを行います。一度のクリーニングでノズルの目詰まりが解消されないときも、【クリーニング（推奨）】を続けて実施すると、強度を選ばなくとも最適な強度のクリーニングが実施されます。クリーニングの強度を選んでクリーニングしたいときは、【クリーニング（弱）】または【クリーニング（強）】を行います。手順は次項をご覧ください。

【インク循環クリーニング（ホワイト）】は印刷結果の白が元の白さより薄いときや、白がムラになるときに実施します。手順は以下をご覧ください。

☞ 「白が元の白さより薄くなった/白がムラになる」 100 ページ

- 1** 電源が入っていることを確認し、 (プリンターのお手入れ) - 【プリントヘッドのクリーニング】の順に押します。

- 2** クリーニング方法を選択します。

- 3** 【全色】または【クリーニングする色を選択】を選択します。

全色のとき

手順 5 に進みます。

クリーニングする色を選択のとき

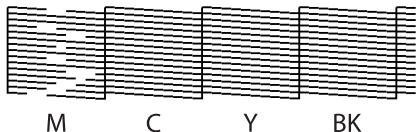
手順 4 に進みます。

- 4** ノズルチェックパターンを確認し、クリーニングする色を選択して【OK】を押します。

ノズルチェックパターンの下に印字されている文字列は、インク色とノズル列の組み合わせを示しています。

ノズルチェックパターンが欠けている列を確認し、クリーニングする色を【カラー】、【ホワイト】、【バニッシュ】から選択します。M、C、Y、BK のいずれかに欠けがあるときは【カラー】を選択します。

下図のような場合は、M が欠けているので、 [カラー] を選択します。



5 メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

クリーニングが開始されます。クリーニングが終了したら確認画面で [はい] を選択し、ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりが解消されたか確認することをお勧めします。

目詰まりが解消されたとき

通常の作業を再開してください。

目詰まりが解消されないとき

- クリーニング（推奨）を行ったとき

手順 1 に戻って [クリーニング（推奨）] を実施します。 [クリーニング（推奨）] を複数回実施しても、目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 12 時間放置した後、ノズルチェックパターンを印刷します。目詰まりが解消しないときは [クリーニング（推奨）] を実施してください。

それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

「お問い合わせ先」 114 ページ

- クリーニング（弱）を行ったとき

手順 1 に戻って [クリーニング（強）] を実施します。複数回 [クリーニング（強）] を実施しても、目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 12 時間放置した後、ノズルチェックパターンを印刷します。目詰まりが解消しないときは [クリーニング（弱）] を実施してください。

それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

「お問い合わせ先」 114 ページ

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

回収

使用済みのインクパックは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

エプソンは使用済み純正インクパックの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。便利でお得な「引取り回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

廃棄

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- ワイパーユニット
- エアフィルター
- インク充填キット
- 柔らかい布
- ペーパータオル
- クリーニング棒
- クリーニング液

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

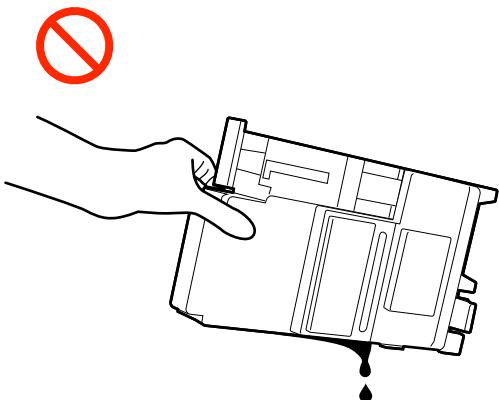
製品安全データシートは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

使用済みインク充填キットの廃棄

セットアップ時に使用したインク充填キットは以下の手順で付属の袋に入れて、廃棄してください。

廃棄時のご注意

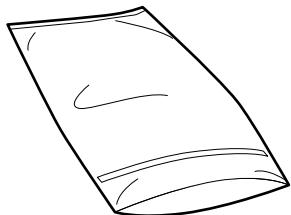
- 使用済みインク充填キットをプリンターから取り外した後は、廃棄用袋に入れるまで傾けないでください。



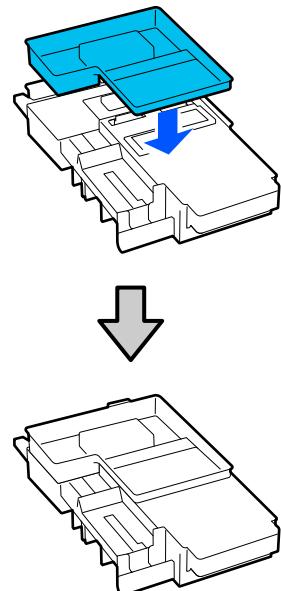
- 使用済みインク充填キットを袋に入れた後は袋の口を下に向けないでください。インクが漏れるおそれがあります。

廃棄方法

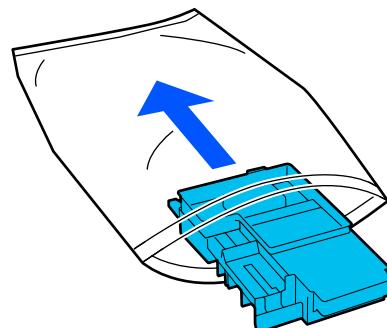
- 付属の廃棄用袋を準備します。



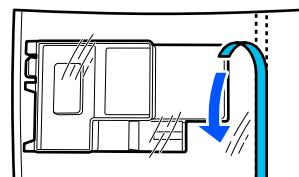
- 初期充填時に取り外したインク充填キットのカバーを使用済みインク充填キットに付けます。



- 使用済みのインク充填キットを袋に入れます。

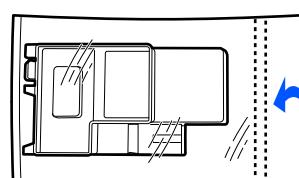


- テープの剥離紙を剥がします。

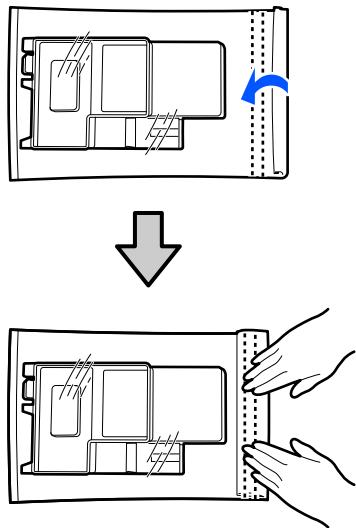


- テープの手前に袋の口がくるように袋を折ります。

テープには袋の口を貼り付けないでください。



- 6** 袋の口をもう1回折って、テープに貼り付けて封をします。



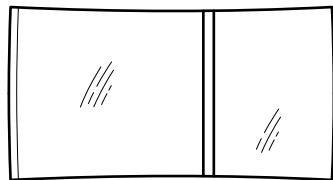
以降は、以下をご覧になり廃棄してください。

☞ 「廃棄」75ページ

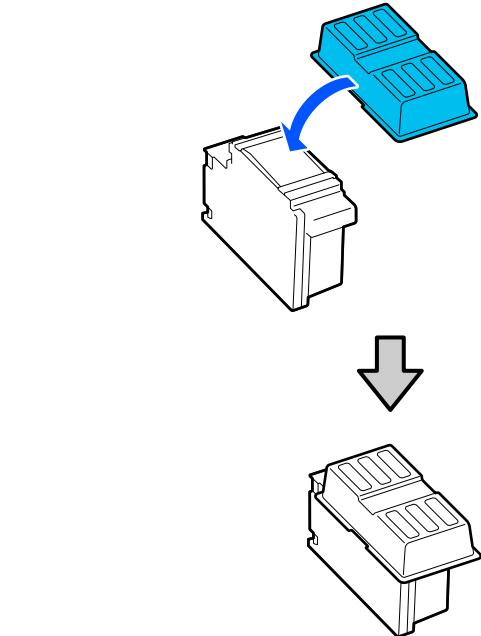
使用済みワイパーエレメントの廃棄

使用済みワイパーエレメントは以下の手順で新品のワイパーエレメントに付属している袋に入れて、廃棄してください。

- 1** 新品のワイパーエレメントに付属している袋を準備します。

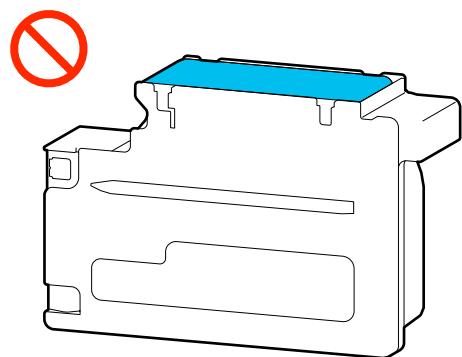


- 2** 新品のワイパーエレメントに付属していたカバーを使用済みのワイパーエレメントに付けます。

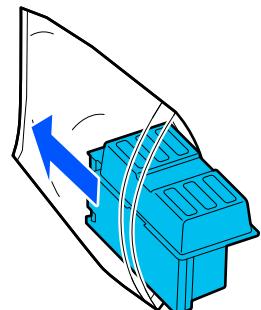


！重要

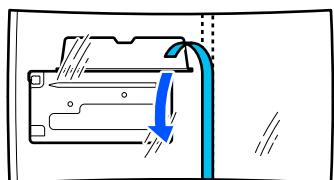
ワイパーエレメントの図の 部分は触らないでください。



- 3** 使用済みのワイパーエレメントを袋に入れます。

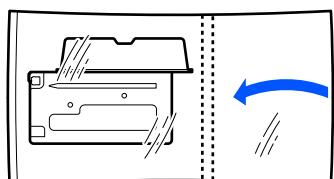


4 テープの剥離紙を剥がします。

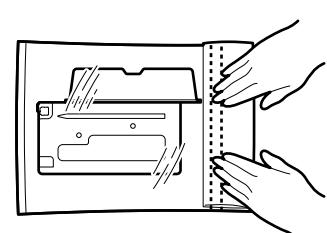
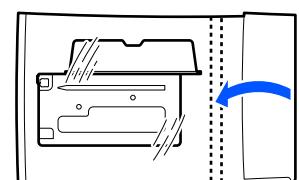


5 テープの手前に袋の口がくるように袋を折ります。

テープには袋の口を貼り付けないでください。



6 袋の口をもう1回折って、テープに貼り付けて封をします。



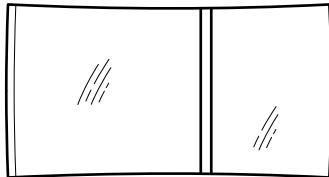
以降は、以下をご覧になり廃棄してください。

「廃棄」 75 ページ

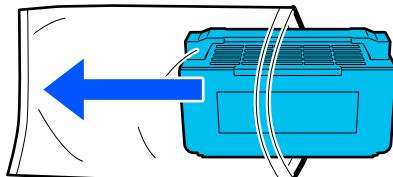
使用済みエアフィルターの廃棄

使用済みエアフィルターは以下の手順で新品のエアフィルターに付属している袋に入れて、廃棄してください。

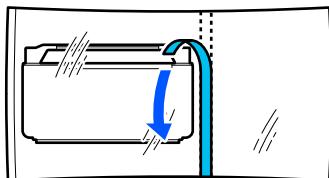
1 新品のエアフィルターに付属している袋を準備します。



2 使用済みのエアフィルターを袋に入れます。

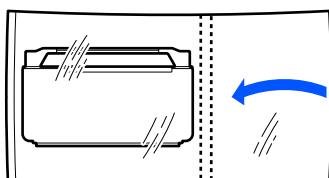


3 テープの剥離紙を剥がします。

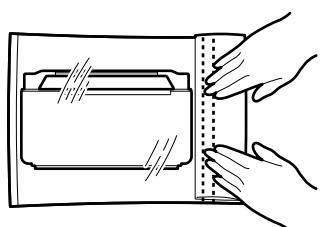
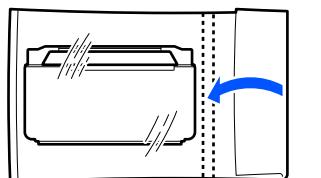


4 テープの手前に袋の口がくるように袋を折ります。

テープには袋の口を貼り付けないでください。



- 5 袋の口をもう1回折って、テープに貼り付けて封をします。



以降は、以下をご覧になり廃棄してください。

[「廃棄」75ページ](#)

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

本体設定

各項目の詳細 [「本体設定メニュー」 84 ページ](#)

設定項目	設定値
基本設定	
画面の明るさ設定	1~9
音の設定	
操作音	0~3
正常終了音	0~3
準備完了音	0~3
注意音	
音量	0~3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
エラー音	
音量	0~3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
音の種類	パターン1、パターン2
スリープ移行時間設定	
設定	オン、オフ
スリープ移行時間設定	60~240分
ブレーカー連動起動	オン、オフ
日付/時刻設定	
日付/時刻	
時差	-12:45~+13:45
言語選択/Language	Dutch、English、French、German、Italian、日本語、Korean、Portuguese、Russian、Simplified Chinese、Spanish、Traditional Chinese
背景色	グレー、ブラック、ホワイト
キーボード	QWERTY、AZERTY、QWERTZ
長さ単位	m、ft/in

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
プリンター設定	
ヘッド移動量	データ幅、プリンター幅
UV ランプ	オン、オフ
内部照明	自動、手動
脱臭ファン	オン、オフ
自動ノズルリフレッシュ	オン、オフ
初期設定に戻す	ネットワーク設定、全て初期化
ネットワーク設定	
無線 LAN 接続設定	
ルーター	
無線 LAN ルーターを検索	無線 LAN 未接続のとき: 【設定に進む】押下で左記の設定項目が表示されます。 無線 LAN 接続済みのとき: 接続状態や設定情報が表示されます。
プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS)	
その他	
PIN コード自動設定(WPS)	
カンタン自動設定	
無線 LAN を無効にする	
Wi-Fi Direct	
コンピューターとつなぐ	Wi-Fi Direct 未接続のとき: 【設定に進む】押下で左記の設定項目が表示されます。 Wi-Fi Direct 接続済みのとき: 接続状態や設定情報が表示されます。
設定を変更する	
接続名を変更する	
パスワードを変更する	
周波数帯を変更する	
Wi-Fi Direct を無効にする	
初期設定に戻す	
有線 LAN 接続設定	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
ネットワーク情報	有線・無線接続状態、Wi-Fi Direct 接続状態、ステータスシート印刷
接続診断	
詳細設定	
デバイス名	
TCP/IP	
プロキシサーバー	
IPv6 アドレス	有効、無効
Link Speed & Duplex	自動、100BASE-TX Auto、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化	
IEEE802.1X の無効化	

メディア設定

各項目の詳細 「メディア設定メニュー」 89 ページ

設定項目	設定値
現在の設定	
メディア	01~30
メディア高さ	
メディアギャップ	
登録メディア管理	
01 XXXXXXXXXX~30 XXXXXXXXXX	
登録名称の変更	
メディア高さ	
自動	
手動	設定値、自動測定して取得
メディアギャップ	1.2~3.0 mm

操作パネルのメニュー

プリンターのお手入れ

各項目の詳細 [「プリンターのお手入れメニュー」90 ページ](#)

設定項目	設定値
プリントヘッドのノズルチェック	
印刷位置	奥側、中央、手前側
プリントヘッドのクリーニング	
クリーニング（推奨）	
全色	
クリーニングする色を選択	カラー、ホワイト、バニッシュ
クリーニング（弱）	
全色	
クリーニングする色を選択	カラー、ホワイト、バニッシュ
クリーニング（強）	
全色	
クリーニングする色を選択	カラー、ホワイト、バニッシュ
インク循環クリーニング（ホワイト）	
メンテナンスパーツ交換	ワイパユニット、エアフィルター
部品清掃	ヘッド周辺、UV ランプ
印刷調整	
プリントヘッドの位置調整	
ガントリーずれ調整	
原点調整	

消耗品情報

メニューの詳細 [「消耗品情報メニュー」92 ページ](#)

交換部品情報

選択すると、プリントヘッドなどの交換部品の消耗度が表示されます。交換部品の寿命が近づくと、[メンテナスコール] が表示されます。

[「メンテナスコール/プリンターエラーが発生したときは」94 ページ](#)

情報確認

メニューの詳細 [「情報確認メニュー」92 ページ](#)

設定メニューの説明

本体設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
基本設定		
画面の明るさ設定	1~9 (9*)	操作パネルの画面の明るさを調整します。
音の設定		
操作音	0~3 (1*)	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音の大きさを設定します。
正常終了音	0~3 (3*)	ジョブの印刷やメンテナンス動作が終了したときの音の大きさを設定します。
準備完了音	0~3 (3*)	本機が、印刷準備ができる状態になったときの音の大きさを設定します。
注意音		
音量	0~3 (2*)	消耗品の交換時期や部品清掃時期などを知らせる音の大きさと繰り返しを設定します。 [停止されるまで] を選択したときは、画面を押したりいずれかのカバーを開けたりすると音が止まります。
繰り返し鳴動	しない*	
	停止されるまで	
エラー音		
音量	0~3 (3*)	印刷を継続できないエラーが発生したときの音の大きさと繰り返しを設定します。 [停止されるまで] を選択したときは、画面を押したりいずれかのカバーを開けたりすると音が止まります。
繰り返し鳴動	しない	
	停止されるまで*	
音の種類		
	パターン1*	音の種類を設定します。本機の設置環境に合わせて聞き取りやすい音に設定できます。
	パターン2	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
スリープ移行時間設定		
設定	オン*	エラーが発生していない状態で印刷ジョブの受信がない状態が、設定時間経過するとスリープモードに移行します。 スリープモードになると、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。
スリープ移行時間設定	オフ	以下の動作を行うと、スリープモードから復帰します。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷ジョブを受信 • ノズルチェックパターンを印刷 • プリントヘッドのクリーニング • 保守クリーニング
スリープ移行時間設定	60~240 (60*)	スリープモードからの復帰時には画面に【復帰処理中】が表示されます。復帰処理にはメンテナンス動作やヒーターのウォームアップが入るため復帰に時間がかかります。 なお、操作パネルの画面にタッチしたときは、画面は点灯しますが、スリープモードからは復帰していません。
ブレーカー運動起動	オン*	ブレーカーのスイッチを入れたときに運動して本機の電源を入れる（【オン】）、入れない（【オフ】）を選択します
オフ		
日付/時刻設定		
日付/時刻		内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時刻はホーム画面に表示されます。また、ジョブ履歴や Epson Edge Dashboard でプリンターステータスを表示させるときにも使用されます。
時差	-12:45~+13:45	協定世界時（UTC）との時差を 15 分刻みで設定します。時差があるネットワーク環境で本機を管理するときなどに必要に応じて設定します。
言語選択/Language	Dutch	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	German	
	Italian	
	日本語*	
	Korean	
	Portuguese	
	Russian	
	Simplified Chinese	
	Spanish	
	Traditional Chinese	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
背景色	グレー	操作パネルの画面の配色を設定します。本機を設置している環境に応じて見やすい配色に設定できます。
	ブラック*	
	ホワイト	
キーボード	QWERTY*	メディア設定の登録名称を入力するときなどに表示される文字入力画面のキー配列を選択します。
	AZERTY	
	QWERTZ	
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
プリンター設定		
ヘッド移動量	データ幅*	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 [データ幅] は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 [プリンター幅] は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、こちらに設定します。
	プリンター幅	
UV ランプ	オン*	UV ランプを使用する（[オン]）/使用しない（[オフ]）かを選択します。 [オン] のときは、印刷中に UV 光を照射し、インクを硬化させます。通常は [オン] のままお使いください。 [オフ] のときは、印刷中に UV 光は照射されません。印刷後はインクが硬化されていないため、インクが皮膚に触れないようにしてください。アレルギー性皮膚反応を起こすなど人体に有害な影響を与えるおそれがあります。 本機能を [オフ] にしていると、Epson Edge Print PRO から印刷ジョブを送信したり、印刷後に [層数と重ね順の設定] で [単層（UV ランプ追加照射のみ）] を設定したりしても、UV 光は照射されません。
	オフ	
内部照明	自動*	本機内部にある照明の点灯/消灯を自動で行うか選択します。 [自動] は、印刷中など照明が必要な動作時に自動で点灯し、動作が終了すると消灯します。 [手動] は、操作パネルの  を押したときにのみ照明が点灯/消灯します。点灯不可の動作中に  を押したときは、点灯可能になってから点灯します。
	手動	
脱臭ファン	オン*	脱臭ファンを使用する（[オン]）/使用しない（[オフ]）を選択します。 通常は [オン] のままお使いください。 スリープ中は脱臭ファンは [オフ] になります。脱臭ファンを使用し続けたいときは、[スリープ移行時間設定] を [オフ] のままにしてください。
	オフ	
自動ノズルリフレッシュ	オン*	ノズルの目詰まりを防止するために、自動でクリーニングが実施されます。 通常は [オン] のままお使いください。 インク消費量を抑えたいときは [オフ] にします。 [オフ] にした状態で使い続けると、ノズルの目詰まりが発生するおそれがあります。 ノズルが目詰まりしたときは [プリントヘッドのクリーニング] をご使用ください。 ☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 74 ページ
	オフ	
初期設定に戻す	ネットワーク設定	[ネットワーク設定] を選択すると、[本体設定] - [ネットワーク設定] の設定値のみをメーカー設定値に戻します。 [全て初期化] を選択すると、本機のメニューの全設定をメーカー設定値に戻します。
	全て初期化	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
無線 LAN 接続設定		
ルーター	<p>未接続・無効のとき 本設定を選択し、次画面で【設定に進む】を押すと、【無線 LAN ルーターを検索】などのメニューが表示され接続操作が行えます。</p> <p>接続済みのとき 押すと、接続状態や設定情報が表示されます。【設定を変更する】を押すと、【無線 LAN ルーターを検索】などのメニューが表示され、アクセスポイントの切り替えができます。</p> <p>「無線 LAN に変更する」31 ページ</p>	
無線 LAN ルーターを検索	検知されたアクセスポイントの SSID の一覧が表示されます。一覧から接続したい SSID を選択して接続します。	
プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS)	お使いの無線 LAN ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応していると、このメニューで接続操作が行えます。SSID やパスワードは不要です。本メニュー選択後に無線 LAN ルーターのプッシュボタンを点滅するまで押し続け、再び本機の画面で【設定を開始する】を押すと接続されます。	
その他		
PIN コード自動設定(WPS)	お使いの無線 LAN ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応していると、このメニューで接続操作が行えます。押すと、PIN コードと【設定を開始する】が表示されます。表示された PIN コードを 2 分以内にコンピューターから入力し、【設定を開始する】を押すと接続されます。	
カンタン自動設定	epson.sn からソフトウェアをダウンロード・インストールする際に、画面の指示に従って本機との接続をするときに使用するメニューです。	
無線 LAN を無効にする	実行すると無線 LAN 接続が初期化され切断されます。無線 LAN で接続トラブルが発生したときに、このメニューを実行して再度接続することで問題が解決することがあります。 また、Wi-Fi を利用しないときに本設定を行うとプリンターから電波が発されないため消費電力を抑えられます。	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
Wi-Fi Direct	コンピューターとつなぐ	<p>未接続・無効のとき 本設定を選択し、次画面で【設定に進む】を押すと、【コンピューターとつなぐ】が表示されます。【コンピューターとつなぐ】を押すと、Wi-Fi Direct が有効になり本機の SSID とパスワードが表示されます。</p> <p>接続済みのとき 押すと、本機の SSID とパスワード、接続済み台数などが表示されます。【設定を変更する】を押すと、【パスワードを変更する】などのメニューが表示されます。</p> <p>☞ 「無線で直接接続する (Wi-Fi Direct)」32 ページ</p>
設定を変更する		
接続名を変更する		プリンターに接続する Wi-Fi Direct の接続(SSID)を任意の値に変更します。接続名 (SSID) を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名 (SSID) で接続し直してください。
パスワードを変更する		Wi-Fi Direct のパスワードを変更できます。パスワードを変更すると接続中のコンピューターとの接続が全て切斷されます。
周波数帯を変更する	2.4GHz*	お使いの機器に応じて周波数帯の切り替えが必要な場合にのみ設定変更してください。
	5GHz	
Wi-Fi Direct を無効にする		実行すると、Wi-Fi Direct で接続中のコンピューターとの接続が全て切斷されます。特定の機器だけ切断したいときは、対象の機器で本機との接続を切斷してください。
初期設定に戻す		Wi-Fi Direct 設定の全てをメーカー設定値に戻します。 また、プリンターが保持しているコンピューターの Wi-Fi Direct 機能を使った接続情報の登録を削除します。
有線 LAN 接続設定		
ネットワーク情報	有線・無線接続状態 Wi-Fi Direct 接続状態 ステータスシート印刷	無線 LAN 接続を有線 LAN 接続に変更したいときに押します。【設定を開始する】を押すと、無線 LAN 接続を無効にします。 ☞ 「有線 LAN に変更する」31 ページ
接続診断		ネットワーク接続状況を確認して、診断結果を画面に表示します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。 ☞ 「エラー番号と対処方法」32 ページ

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
詳細設定		
デバイス名		ネットワーク上で使用する本機の名称を設定します。
TCP/IP	自動設定*	本機の IP アドレスをルーターなどの DHCP 機能で自動設定します。
	手動設定	本機に固定 IP アドレスを割り当てるときに選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどの必要情報を入力して設定します。
プロキシサーバー	使用する	インターネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用して、ファームウェアの更新など、本機が直接インターネットにアクセスする機能を使うときは、【使用する】にして、サーバー名やポート番号を設定します。
	使用しない*	
IPv6 アドレス	有効*	IPv6 機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	1000BASE-T Full Duplex をお使いのときは、【自動】に設定してください。
	100BASE-TX Auto	
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
	100BASE-TX Full Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	HTTP の HTTPS への自動リダイレクト機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化		ここでは設定を無効に切り替えることができます。 設定の有効化は、内蔵ソフトウェアの Web Config で行います。 Web Config の起動方法は以下をご覧ください。 「Web Config の使い方」28 ページ
IEEE802.1X の無効化		

メディア設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
現在の設定		
メディア	01~30	現在選択中のメディア設定の設定値が一覧表示されます。各設定項目を押すと、設定値を変更できます。
メディア高さ		
メディアギャップ		

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
登録メディア管理		
01 XXXXXXXXXX~30 XXXXXXXXXX (登録名称が表示される)		
登録名称の変更		保存するメディア設定に、20 文字以内で名前を付けられます。（全角・半角どちらも使用可能）区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディア高さ		
自動*		印刷前にメディアの高さを自動で検出して印刷します。メディアの高さがわからない、高さが測りにくいものなどのときに選択します。【自動】を使用するときはメディアが動かないようにメディアを固定する必要があります。 やわらかいメディアは検出できないため、【手動】で設定してください。
手動		
設定値	0.0~70.0 mm (0.0*)	メディアの高さがわかっているときに、値を入力します。 例) <ul style="list-style-type: none">• メディアの高さを測ったとき• アクリル板などの商品パッケージなどに厚さが記載されているとき
自動測定して取得		1回だけ自動で高さを測定し、測定した値を使い続けます。 同じメディアを何回も印刷したいが、メディアの高さがわからないときに選択すると、毎回自動で測定する時間が短縮できます。
メディアギャップ	1.2 ~ 3.0 mm (1.2 mm*)	【メディア高さ】で【手動】を選択したときのみ、使用できます。 プリントヘッドとメディアの間隔を設定します。メディアギャップは 1.2 mm での使用をお勧めします。 曲面へ印刷するときは間隔を広くします。メディアギャップが広くなるとプリントヘッドのノズルの目詰まり、機内汚れの原因になります。曲面へ印刷する際でもメディアギャップは 2 mm 以下で使用することをお勧めします。 【メディア高さ】が 68.6 mm 以上のときは【メディアギャップ】は 1.2 mm 固定になります。

プリンターのお手入れメニュー

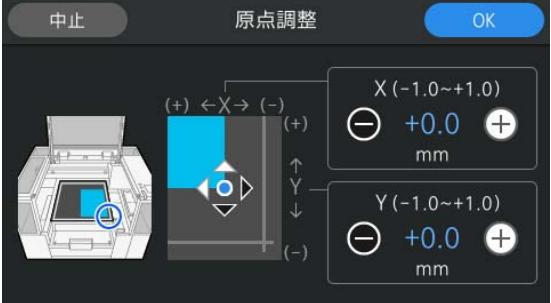
*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
プリントヘッドのノズルチェック		
印刷位置	奥側	プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認するためのチェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときは【プリントヘッドのクリーニング】を行います。
	中央	
	手前側*	印刷したい位置を【手前側】、【中央】、【奥側】から選択します。【印刷位置】を変更すると A4 サイズに最大 3 回チェックパターンを印刷できます。 ☞「ノズルの目詰まりチェック」73 ページ

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
プリントヘッドのクリーニング		
クリーニング（推奨）		
全色		最適な強度のクリーニングを行います。 印刷されたチェックパターンでかすれや欠けがあるパターンを確認し、全色またはホワイト、カラー、バニッシュのノズル列を指定してクリーニングできます。
クリーニングする色を選択	カラー ホワイト バニッシュ	☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 74 ページ
クリーニング（弱）		プリントヘッドのクリーニングのレベルを、2 種類から設定できます。 最初は、[クリーニング（弱）] を行います。実施後も、目詰まりが解消されないときは、[クリーニング（強）] を実施してください。 印刷されたチェックパターンでかすれや欠けがあるパターンを確認し、全色またはホワイト、カラー、バニッシュのノズル列を指定してクリーニングできます。
全色		☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 74 ページ
クリーニングする色を選択	カラー ホワイト バニッシュ	
クリーニング（強）		
全色		
クリーニングする色を選択	カラー ホワイト バニッシュ	
インク循環クリーニング（ホワイト）		ホワイトインクはインクの特性上、沈降しやすくなっています。 インクチューブ内のインク成分の沈降により、ホワイトインクの濃度が薄くなってくることがあります。インク循環クリーニング（ホワイト）では、チューブ内のインクを循環させることでホワイトインクの沈降を解消し、ホワイトインクの濃度を回復させます。 手順は以下をご覧ください。 ☞ 「白が元の白さより薄くなった/白がムラになる」 100 ページ ホワイトインクのみクリーニングされます。
メンテナンスパーツ交換	ワイパユニット エアフィルター	画面で交換手順を確認できます。 [操作方法を見る] を押してください。 エアフィルターの交換を開始します。 [操作方法を見る] を押すと、画面で交換手順を確認しながら交換できます。
部品清掃	ヘッド周辺 UVランプ	選択した部品の清掃を開始します。清掃方法の詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 65 ページ ☞ 「UVランプカバーの清掃」 67 ページ
印刷調整		
プリントヘッドの位置調整		平らなメディアに印刷したとき、印刷結果に文字や色が重なる部分の輪郭がぼやけるときに実施します。 詳細は以下をご覧ください。 ☞ 「[プリントヘッドの位置調整] の実施」 98 ページ
ガントリーずれ調整		印刷位置にズレが生じて横方向のスジ（バンディング）が見られるときに実施します。 詳細は以下をご覧ください。 ☞ 「ガントリーずれ調整の手順」 97 ページ

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
原点調整		<p>テーブルの右下溝の内側が印刷の原点です。印刷結果が毎回、一定の位置ずれているときは、原点がずれている可能性があります。原点がずれているときは、横方向のずれ(X)と縦方向のずれ(Y)をそれぞれ調整します。</p> <p>横方向にずれているとき: Xの[⊖]/[+]を押して調整をします。調整範囲は-1.0~+1.0 mmです。設定は0.1 mm単位で行えます。</p> <p>縦方向にずれているとき: Yの[⊖]/[+]を押して調整をします。調整範囲は-1.0~+1.0 mmです。設定は0.2 mm単位で行えます。</p>  <p>調整後は印刷をし、調整結果が適切か確認してください。</p>

消耗品情報メニュー

設定項目	設定値	説明
インク/ワイパユニット		
インク	インク残量とインク型番を表示	
ワイパユニット	ワイパユニットの消耗度と型番を表示	

情報確認メニュー

設定項目	設定値	説明
ファームウェアバージョン		選択した情報を表示します。 [プリンター名]はEpson Edge Dashboardで設定された名称です。
プリンター名		
フェータルエラー履歴		
稼働実績	総印刷枚数*	
	総キャリッジパス数	

* 多層印刷のときは1層を1枚とカウントします。

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
無線 LAN 接続できませんでした。 エラー番号:XXX 詳細はマニュアルをご覧ください。	以下をご覧になり、表示されたエラー番号から対処方法を確認・実施してください。 ☞ 「エラー番号と対処方法」 32 ページ
正常に接続されていません。 エラー番号:XXX 詳細はマニュアルをご覧ください。 ネットワーク情報を確認しますか？	以下をご覧になり、表示されたエラー番号から対処方法を確認・実施してください。 ☞ 「エラー番号と対処方法」 32 ページ 必要に応じて、操作パネルの画面でネットワーク情報を確認してください。
UV ランプが使用できません。 電源を入れ直してもこのメッセージが表示されるときはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 ☞ 「お問い合わせ先」 114 ページ
安全のため、マニュアルを参照し、保護具を着用してください。	以下をご覧になり、保護具を確認・着用してください。 ☞ 「準備するもの」 63 ページ
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からぬ場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
ご利用のネットワークとプリンターの接続環境が不安定です。 IEEE802.3az(省電力イーサネット)機能を【オフ】にすると解決できる可能性があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	IEEE802.3az の機能が【オン】の時、お客様環境とのマッチングでネットワーク接続状態が不安定になり印刷ができなくなることがあります。 [OK] を押して印刷を終了します。 以下をご覧になり、Web Config を使って IEEE802.3az の機能を【オフ】にしてください。 ☞ 「設定手順」 95 ページ
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。 以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. 本機とコンピューターを USB 接続します。（リカバリーモード中は、有線 LAN 接続でのアップデートができません。） 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「ソフトウェア詳細情報」をご覧ください。

メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは

メッセージ	対処方法
メンテナンスコール:部品寿命間近 XXXXXXXXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXXXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。
メンテナンスコール:部品寿命到達 XXXXXXXXXXXXXX	エプソンソリューションコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」114 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、プリンターエラーが発生します。
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	プリンターエラーは以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき プリンターエラーが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のプリンターエラーが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」（プリンターエラー番号）を必ず伝えてください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」114 ページ

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになつてないかを確認し、しっかりと差し込んでください。
- **コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のポートとコンピューター側のコネクターにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。
- **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
[「システム条件」108 ページ](#)
- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクターに USB ケーブルを直接接続してください。
- **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができる

- **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。
- **ネットワーク接続状態が不安定ではありませんか？**
ルーターの電源を切り、10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- **IEEE802.3az (省電力イーサネット) に対応した機器を使って有線 LAN 接続していませんか？**
IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット) に対応した機器で有線 LAN 接続していると、接続が不安定になったり、接続が切れたり、通信速度が遅くなったりすることがあります。
以降の手順で、プリンターの IEEE802.3az を無効にして接続してください。

設定手順

- 1 コンピューターとプリンターそれぞれにつながっている LAN ケーブルを外します。
- 2 コンピューターの IEEE802.3az が有効になっている場合は、無効にします。
- 3 LAN ケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
- 4  を押し、[本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に押して本機の IP アドレスを確認します。
- 5 コンピューターで、Web Config を起動します。Web ブラウザを起動し、プリンターの IP アドレスを入力してください。

6 管理者権限でログオンします。

ログオン方法 [「Web Config の使い方」28 ページ](#)

7 [ネットワーク設定] タブ - [有線 LAN] の順に選択します。

8 [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。

9 [次へ] をクリックします。

10 [設定] をクリックします。

11 コンピューターとプリンターを直接接続した LAN ケーブルを外します。

12 手順 2 でコンピューターの IEEE802.3az を無効にした場合は、有効にします。

13 手順 1 で外した LAN ケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

プリンター側でエラーが発生している

■ 操作パネルの画面のメッセージを確認してください。

[「操作パネル」11 ページ](#)

[「メッセージが表示されたとき」93 ページ](#)

<p>■ 本機を直射日光の当たらない場所に設置していますか？</p> <p>直射日光の当たらない場所に設置してください。プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生することがあります。</p>	<p>■ 操作パネルの画面に【インクが少なくなりました。】と表示されていますか？</p> <p>インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクパックに交換することをお勧めします。インクパックを交換しても色味が合わないときは、プリントヘッドのクリーニングを数回実施してください。</p>
<p>■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？</p> <p>プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。</p> <p>☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 73 ページ</p>	<p>■ ガントリーずれ調整を実施してください。</p> <p>印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生するときにはガントリーずれ調整を実施してください。</p> <p>☞ 「ガントリーずれ調整の手順」 97 ページ</p>
<p>■ インクパックは推奨品（当社純正品）を使用していますか？</p> <p>本機は、純正インクパックの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。また、正常にインクが硬化できなくなることがあります。必ず正しいインクパックを使用してください。</p>	<p>■ ガントリーずれ調整の手順</p> <p>[ガントリーずれ調整] を実施すると、調整パターンが印刷されます。調整パターンをスケールで測り、測った値を入力します。スケールは 0.5 mm まで測れるものを使ってください。</p>
<p>■ 古くなったインクパックを使用していますか？</p> <p>古くなったインクパックを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクパックに交換してください。インクパックは、個装箱に記載されている有効期限内（本機に装着後は 1 年以内）に使い切ることをお勧めします。</p>	<p>使用可能メディア A4 サイズのインクジェット対応の透明なシート状のメディア</p>
<p>■ インクパックを振りましたか？</p> <p>本機のインクパックは、UV インクを使用しています。本機に装着する前によく振ってください。また、良好な印刷品質を得るために、装着したインクパックは、ホワイトインクは始業時および 24 時間（メッセージ表示時）に 1 度、その他のインクは 2 週間に 1 度取り出して、よく振ることをお勧めします。バニッシュはかくはん不要です。</p> <p>☞ 「インクパックの定期かくはん」 72 ページ</p>	<p>調整手順</p>
<p>■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していますか？</p> <p>ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。</p>	<p>1 インクジェット対応の透明なシート状のメディアをセットします。</p> <p>☞ 「メディアをテーブルにセットする」 54 ページ 印刷領域内の原点にメディアの右角を合わせてセットします。</p>
<p>■ 印刷中にプリンターカバーを開けませんでしたか？</p> <p>印刷中にプリンターカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はプリンターカバーを開けないでください。</p>	<p>2 本機画面の【メディアギャップ】が 1.2 mm になっていることを確認します。</p> <p>[メディアギャップ] が 1.2 mm になっていないときは、[メディアギャップ] を押して、1.2 mm に設定します。</p>

- 3  (プリンターのお手入れ) - [印刷調整] - [ガントリーずれ調整] の順に押します。
- 4 [開始] を押します。
- 5 [印刷開始] を押します。
調整パターンの印刷が開始されます。

6 印刷が完了し脱臭が終了したら、プリンターカバーを開けます。

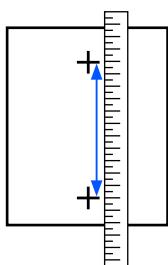
7 図のボタンを押して、吸着を終了し、メディアを取り外します。



8 プリンターカバーを閉めます。

9 印刷された調整パターンを平らな面に置き、スケールで測ります。

パターンの+記号の間をスケールで測ります。



10 調整パターンの結果を入力する画面が表示されます。手順**9**で測った値を設定して【OK】を押します。

文字や色が重なる部分の輪郭がぼやける

■ **プリントヘッドの位置調整を実施してください。**

平らなメディアで印刷したときの印刷結果に文字や色が重なる部分の輪郭がぼやけるときはプリントヘッドの位置調整の実施をしてください。

☞ 「[プリントヘッドの位置調整] の実施」98ページ

■ **メディアギャップを広くして印刷していませんか?**

メディアギャップを広げて印刷しているときは、Epson Edge Print PRO の印刷品質で「WG」という表記が含まれているものを選択してください。
印刷結果が改善しないときは、プリントヘッドの位置調整の実施をしてください。

☞ 「[プリントヘッドの位置調整] の実施」98ページ

[プリントヘッドの位置調整] の実施

[プリントヘッドの位置調整] を実施すると、調整パターンが印刷されます。調整パターンを目視で確認して調整します。ホワイトインクやバーニッシュインクは見えにくいため拡大鏡などを使用して確認することをお勧めします。

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。
ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。
チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じて [プリントヘッドのクリーニング] を行ってください。

☞ 「ノズルの目詰まりチェック」73ページ

使用可能メディア

A4 サイズのインクジェット対応の透明なシート状のメディア

調整手順

1 インクジェット対応の透明なシート状のメディアをセットします。

☞ 「メディアをテーブルにセットする」54ページ
印刷領域内の原点にメディアの右角を合わせてセットします。

2 本機画面の【メディアギャップ】が **1.2 mm** になっていることを確認します。

【メディアギャップ】が 1.2 mm になっていないときは、【メディアギャップ】を押して、1.2 mm に設定します。

3 (プリンターのお手入れ) - [印刷調整] - [プリントヘッドの位置調整] の順に押します。

4 【開始】を押します。

調整パターンの印刷が開始されます。パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されますので次の手順に進みます。

困ったときは

5 印刷が完了し脱臭が終了したら、プリンターカバーを開けます。

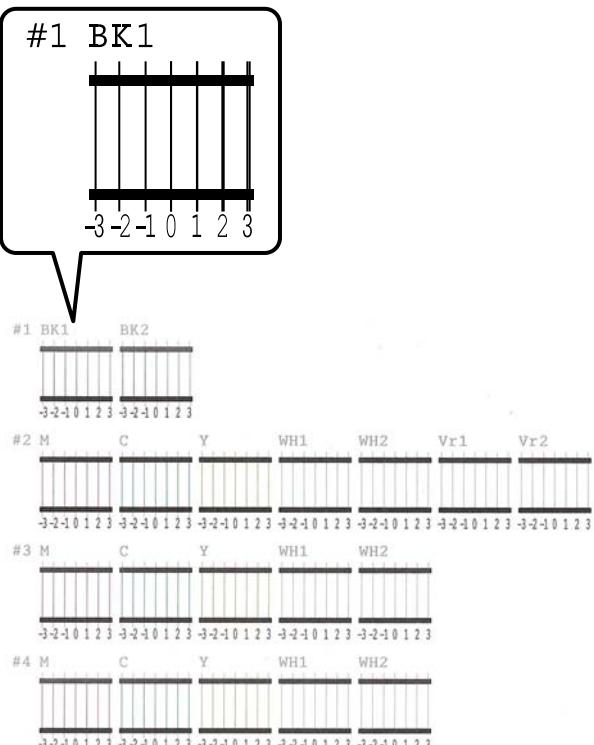
6 図のボタンを押して、吸着を終了し、メディアを取り外します。



7 プリンターカバーを閉めます。

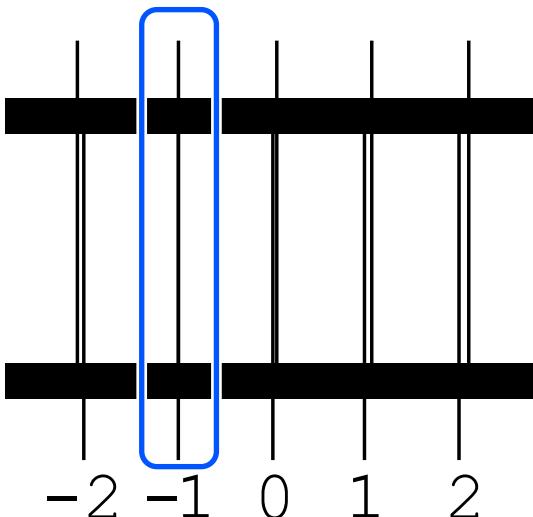
8 印刷された調整パターンを確認します。

図のような調整パターンが印刷されます。



それぞれのパターンを確認し、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを-3～3の中から選びます。

下図の場合は、「-1」を選びます。



全てのブロックのパターンを確認し、次の手順に進みます。

9 調整値を入力します。

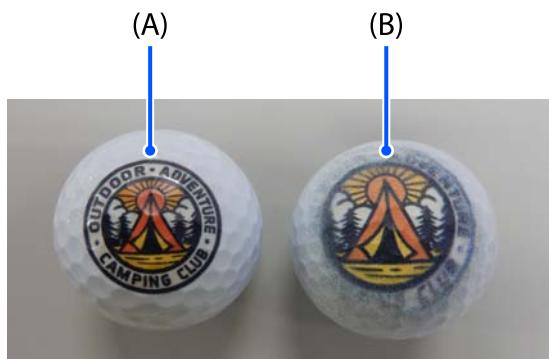
#1 BK1～#4 WH2 の全てについて手順 8 で選択した調整値を順に入力します。全ての調整値を入力し、[OK] を押すと、調整値を確認する画面が表示されます。

調整結果を確認して [OK] を押すとメディア設定に調整結果が反映されます。

球体や曲面に印刷した文字や画像がぼやける

3mm 程度までの高低差があるメディア（ボールやペンの表面のような曲面など）に印刷すると、メディア高さが低い部分で文字や画像がぼやけた状態になることがあります。

(A) は成功例、(B) は失敗例です。



このようなときは、Epson Edge Print PRO の [印刷品質] で「WG」（WG: Wide Gap）という表記が含まれているモードを選択することをお勧めします。

印刷モードの例：

- 通常モード：720×720dpi – 12 Pass
- WG モード：720×720dpi – 12 Pass WG

参考

WG モードで印刷すると画質は改善されますが、通常モードで印刷するときよりも印字速度が低下します。

印刷面が汚れる

■ プリントヘッドのクリーニングをしてみてください。

印刷面が汚れているときは、以下の手順でプリントヘッドのクリーニングを実施してください。
[電源] (プリンターのお手入れ) - [プリントヘッドのクリーニング] - [クリーニング (弱)] の順に押して、[バニッシュ] を選択してください。

■ プリントヘッド周辺の清掃をしてみてください。

プリントヘッドのクリーニングをしても印刷面が汚れるときは、プリントヘッドの周辺にインクや糸くずが堆積している可能性があります。
プリントヘッド周辺の清掃を実施してください。

[「プリントヘッド周辺の清掃」65 ページ](#)

白が元の白さより薄くなった/白がムラになる

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、色が出なくなったり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

[「ノズルの目詰まりチェック」73 ページ](#)

■ ホワイトインクをかくはんしていますか？

ホワイトインクはインク成分が沈降しやすいため、始業時および 24 時間（メッセージ表示時）ごとにかくはんが必要です。インクパックを取り出してよく振ってください。

[「インクパックの定期かくはん」72 ページ](#)

■ 印刷解像度を上げてみてください。

Epson Edge Print PRO で印刷品質の印刷解像度を 1 つ上げてみてください。

■ 白を重ねて印刷してみてください。

多層印刷で白を何層か重ねて印刷することで、白さを補うこともできます。

上記の対処を行っても以前の白さに戻らないときや当てはまる項目がないときは以下の対処を行ってください。

【インク循環クリーニング（ホワイト）】の実施

1 本機の電源が入っていることを確認し、[電源] (プリンターのお手入れ) - [プリントヘッドのクリーニング] - [インク循環クリーニング(ホワイト)] の順に押します。

2 メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

[インク循環クリーニング (ホワイト)] を 2 回以上実施しても以前の白さに戻らないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

[「お問い合わせ先」114 ページ](#)

その他

印刷された部分が硬化しない

■ UV ランプの照射を追加で実施してみてください。

Epson Edge Print PRO では印刷後に [層数と重ね順の設定] で [単層 (UV ランプ追加照射のみ)] を設定すると印刷せずに追加で UV ランプ照射ができます。詳細は Epson Edge Print PRO のマニュアルをご覧ください。

■ 印刷後のメディアを太陽光などに当ててみてください。

硬化不足や臭いが気になるときは、印刷後のメディアを太陽光などに当てるときが改善します。

■ UV ランプカバーを清掃しましたか？

UV ランプカバーにインクが付着すると UV ランプの照射がさえぎられるため、印刷された部分が硬化しにくくなります。

UV ランプカバーは 1 カ月に 1 度清掃してください。

[「UV ランプカバーの清掃」67 ページ](#)

印刷物を重ねるとインクが剥がれる/印刷物を包装して輸送すると包装の跡がつく

■ 合紙などで印刷面の保護をしてください。

印刷物を重ねて放置したり、包装して輸送したりするときは、印刷面に傷がつくおそれがあるため、合紙などを使って印刷面の保護をしてください。合紙などは事前に印刷面に傷がつかないことを確認してから使用してください。

UV インクから出る臭いが気になるようになった

■ [スリープ移行時間設定] を [オフ] にしてみてください。

スリープ中は脱臭ファンが停止するため、脱臭ファンを使いたいときは、[スリープ移行時間設定] を [オフ] してください。

■ エアフィルターを交換してください。

エアフィルターの交換目安は 6 カ月です。
[☞ 「エアフィルターの交換」 71 ページ](#)

メディアを正しく検出できない

■ メディアはテーブルに固定されていますか？

メディアをセットする際は事前に以下の注意事項をご覧ください。
[☞ 「メディアセット時のご注意」 53 ページ](#)

■ 柔らかいメディアをセットしていませんか？

メディアをセットする際は事前に以下の注意事項をご覧ください。
[☞ 「メディア高さ設定の種類と概要」 52 ページ](#)

メディアに合わせてメディア高さやメディアギャップを登録したいとき

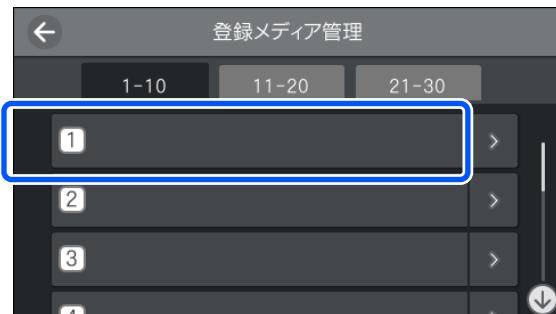
頻繁に使う複数種類のメディアの設定を [登録メディア管理] で登録しておけば設定を呼び出すだけで [メディア高さ] ・ [メディアギャップ] が最適値になるので便利です。

操作パネルの登録メディア管理でメディアの登録をします。

以下の手順でメディア設定に名前を付けて登録します。

1 本機の電源が入っていることを確認し、 (メニュー) - [メディア設定] - [登録メディア管理] の順に押します。

2 設定を登録するメディア設定を選択します。



3 [登録名称の変更] を押します。

4 任意の名称を入力して [OK] を押します。

5 必要に応じて [メディア高さ] と [メディアギャップ] を設定します。

参考

メディア設定の右端にある  部分を押すと、以下の画面が表示されます。



ここでは、選択中のメディア設定の設定内容が一覧表示されます。①～④のボタンを押すと、以下のようなことができます。

- ① (複製) : 選択中の設定内容を別のメディア設定番号にコピーできます。ボタンを押すとコピー先のメディア設定番号の選択画面が表示されます。
- ② (編集) : 設定内容を変更できる画面が表示されます。
- ③ (削除) : 設定内容が全て初期化されます。
- ④ (この設定を使用する) : 選択中のメディア設定が、以降の印刷に使用されます。

ワイヤレスユニットの消費量を節約したい

■ 使用条件に合わせて設定を変更してください。

本機は、プリントヘッドのノズルを良好な状態に保つために使用状況に応じて自動メンテナンス（定期かくはんや硬化予防）を実施します。以下の設定を変更すると自動メンテナンスによるワイヤレスユニットの消費を節約できる場合があります。

- ・ [スリープ移行時間設定] を [オフ] にする
スリープモードからの復帰動作で消費されるワイヤレスユニットの消費が抑えられます。
- ・ [自動ノズルリフレッシュ] を [オフ] にする
ノズルの目詰まりを防止するための自動クリーニングを実施しません。印刷開始前には、ノズルの目詰まりがないことを目視で確認することをお勧めします。

スリープモード後に印刷開始のボタンを押したら、[復帰処理中] が表示され、印刷開始までに時間がかかる

■ [スリープ移行時間設定] を [オフ] 、または長い時間に設定してみてください。

スリープモードからの復帰処理にはメンテナンス動作やヒーターのウォームアップが入るため復帰に時間がかかります。

操作パネルの画面表示が消える

■ スリープモードになってしまいませんか？

操作パネルのボタンを押して画面表示を復帰させたあとでプリンターカバーを開けるまたは印刷ジョブを受信するなど、ハードウェア動作を伴う操作をすると通常の状態に復帰します。スリープモードに移行する時間は  (メニュー) - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ移行時間設定] から変更できます。

 「設定メニュー一覧」 80 ページ

本体内部が赤く光っている

■ この状態は故障ではありません。

プリンター内部のランプです。

ネットワークのパスワードを忘れた

■ エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

 「お問い合わせ先」 114 ページ

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消することができます。

エプソンのウェブサイトのQ&A

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式で紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

ファームウェアのアップデートは Epson Edge Dashboard で簡単に行えます。詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

 「サービス・サポートのご案内」 112 ページ

付録

消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品、オプションは以下の通りです。（2025年7月現在）
最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

UV Transfer Film（エプソン製専用メディア）

UV Transfer Film は、本機にセットできないサイズのメディアや、円筒形の缶・瓶などの曲面への印刷に対応します。フィルムにパターンを印刷してメディアに転写することで、本機では直接印刷できないメディアへの幅広い UV 印刷に対応できます。

サイズは A3、A4 を用意しています。

メディアのマニュアルは以下のウェブサイトからご覧ください。

<https://support.epson.net/paperinfo/>

また、メディアの使い方は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

インクパック

商品名	型番
ブラック	SC29BK14
シアン	SC29C14
マゼンタ	SC29M14
イエロー	SC29Y14
ホワイト	SC29WW14
バニッシュ	SC29VR14

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

その他

商品名	型番	備考
ワイバーユニット	SC29WU	製品付属のワイバーユニットと同等品です。
エアフィルター	SC29AF	2 個入り。製品付属のエアフィルターと同等品です。
クリーニング棒	SC2CS	ヘッド周辺の清掃時に使用します。 「準備するもの」63 ページ

付録

商品名	型番	備考
クリーニング	SC24CLL	ヘッド周辺の清掃時に使用するクリーニング液です。1000ml 入りです。 ☞ 「準備するもの」 63 ページ
クリーニング(小)	SC24CLLS	ヘッド周辺の清掃時に使用するクリーニング液です。500ml 入りです。 ☞ 「準備するもの」 63 ページ

移動・輸送時

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

本章では、移動・輸送を以下のように定義します。

移動	段差のない同一フロア内で設置場所を変更すること。
輸送	別のフロアや建物に設置場所を変更すること。運送業者に委託する場合も含みます。

移動・輸送時のご注意

⚠ 注意

- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。梱包や移動の際は3人で運んでください。
- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

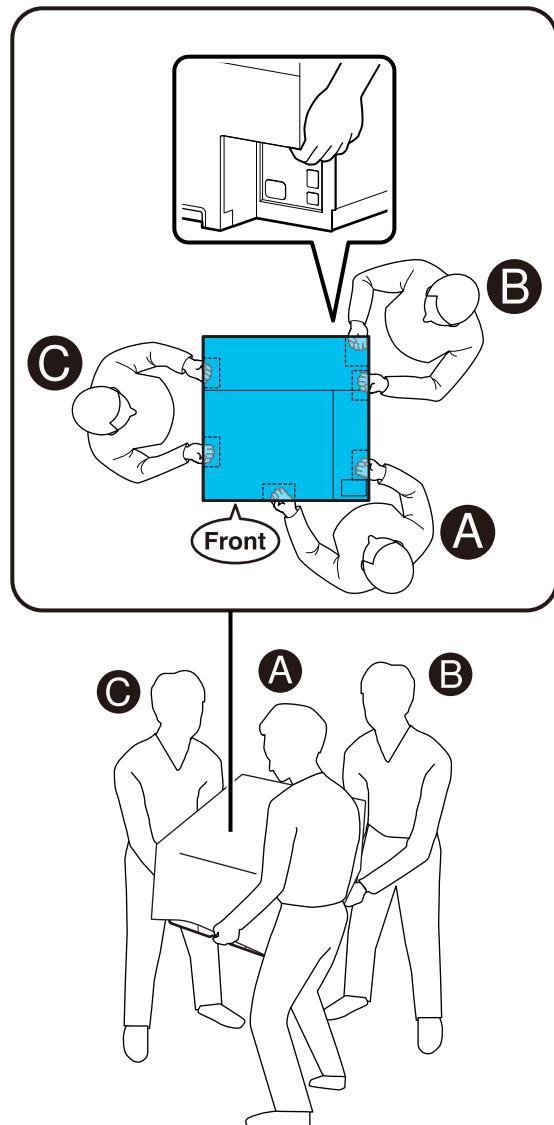
! 重要

移動時には遮光用の布（市販品）でプリンターを覆ってください。日光が当たるとインクが硬化し、プリントヘッドのノズルの目詰まりが発生することがあります。

本機の持ち方

本機を持ち上げる際は、必ず図の箇所に手を掛けてください。それ以外の箇所を持つと、正常に動作しなくなるおそれがあります。

Aの左手の持ち手はカバーで隠れています。以降の「移動の準備」をご覧になり、カバーを取り外してください。



! 重要

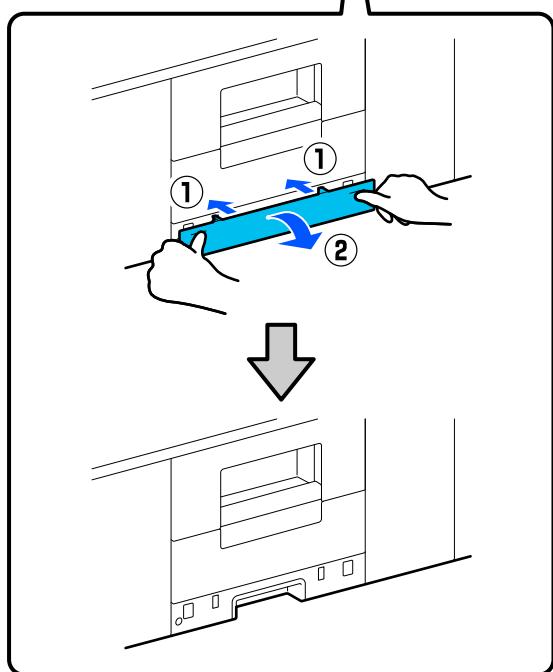
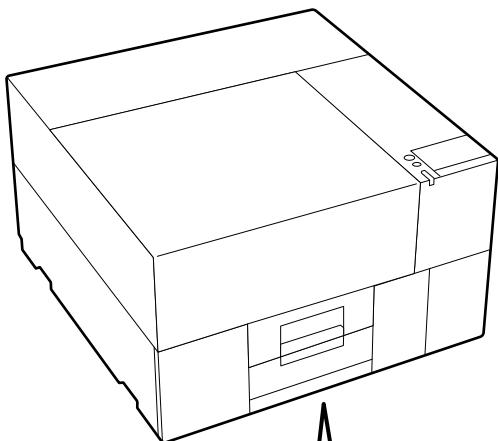
- 必要な部分以外は触らないでください。故障の原因となります。
- インクパックを取り外さないでください。プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

移動の準備

- 1 本機の電源を切り、電源ケーブルなどのケーブル類を全て本機から外します。

2 図の部分を指で押して、カバーを外します。

カバーを外した部分に持ち手があります。



3 遮光用の布（市販品）をプリンターの上に被せます。

持ち運びの際は、持ち手に布が巻き込まれないよう注意してください。

移動後は、以下をご覧になり本機を使用再開できるようにしてください。

[「移動後の本機の設定」106 ページ](#)

移動後の本機の設定

移動後に本機を使用するための準備作業を説明します。

電源コードの接続時は以下の点に注意してください。

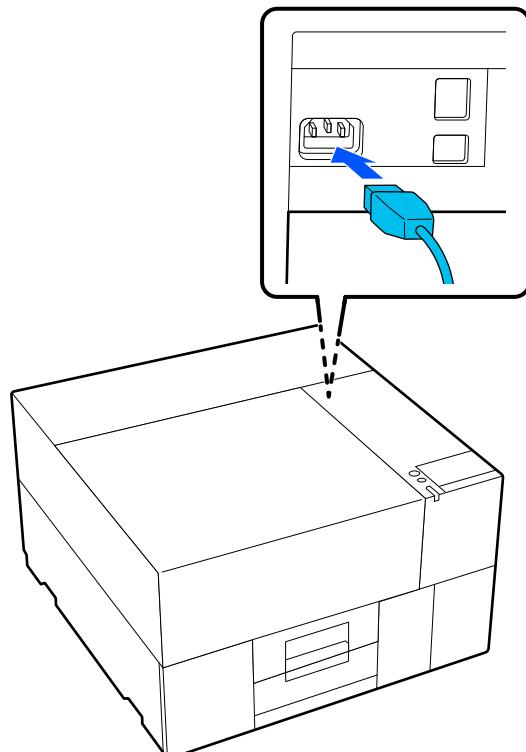
⚠ 警告

- 漏電事故防止のため、接地（アース）極付きコンセントに接続してください。接地極付きコンセント以外に接続すると、感電・火災のおそれがあります。ご使用になる電源コンセントを確認してください。接地極付きコンセントではないときは、販売店に相談してください。
- AC100 V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- テーブルタップへの接続、電源コードのたこ足配線はしないでください。感電・火災のおそれがあります。家庭用電源コンセント（AC100 V）から直接電源を取ってください。

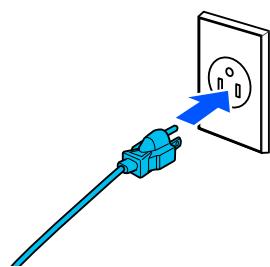
1 設置に適した場所か確認します。

[「設置に適した台・場所」17 ページ](#)

2 本機と電源ケーブルを接続します。



- 3** 電源プラグを接地（アース）極付きコンセントに差し込み、電源を入れます。



！重要

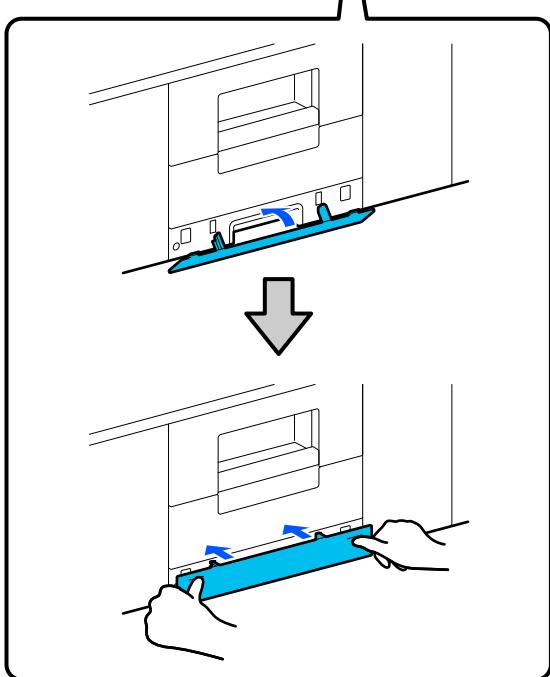
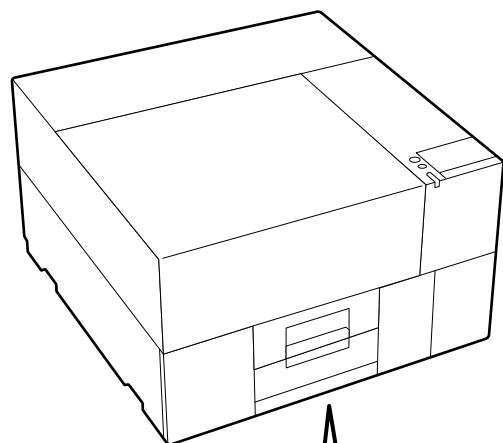
電源プラグの形状は国や地域により異なります。必ず本機に付属の電源ケーブルをお使いください。

- 4** 本機とコンピューターをケーブルで接続します。

本機の USB ポート/LAN ポートの場所は以下をご覧ください。

☞ 「正面・背面」 7 ページ

- 5** 移動時に取り外したカバーを取り付けます。
突起部分を穴に合わせ、図の部分を押してカバーを取り付けます。



- 6** ノズルの目詰まりがないか確認します。
☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 73 ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

☞ 「お問い合わせ先」 114 ページ

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2025年7月現在）

対応OS等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

Epson Edge Dashboard

！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。

条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows PC

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10 x64
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
ブラウザー	Internet Explorer 11 Microsoft Edge

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS 10.9.5 以降
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
ブラウザー	Safari 6 以降

Epson Edge Print PRO

動作環境

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10 x64
CPU	Intel® Core™ i3 3.0 GHz 以上 (2014 年 4 月以降に発表されたもの)
空きメモリー容量	8 GB 以上
ストレージ (インストール時空き容量)	50 GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T

Epson Edge Print PRO をインストールするコンピューターは、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。

また、Epson Edge Print PRO で取り扱うデータは通常でも数 GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十 GB になることがあります。

このため、ストレージの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

Epson Edge Print PRO を使用時に推奨する環境は以下の通りです。

推奨環境

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10 x64
CPU	Intel® Core™ i7-14700 processor 以上
空きメモリー容量	32 GB 以上
ストレージ (インストール時空き容量)	SSD 1 TB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Gigabit Ethernet

Web Config

対応ブラウザーは以下の通りです。ブラウザーは最新バージョンを使用してください。

Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	
ホワイト、バニッシュ以外	180 ノズル×4 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
ホワイト、バニッシュ	180 ノズル×2 列×2 色（ホワイト、バニッシュ）
解像度（最大）	1440×1440 dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
プラテン送り方式	ガントリータイプ
内蔵メモリー	1 GB
インターフェイス	
USB	SuperSpeed USB
有線 LAN *1 準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3ab (1000BASE-T)*2 IEEE 802.3az (省電力型。 IEEE802.3az に対応した接続機器が必要。)
無線 LAN	
準拠規格*3	IEEE802.11b/g/n/ac
周波数範囲	IEEE802.11b/g: 2.4 GHz IEEE802.11n: 2.4 GHz (HT20 のみ) IEEE 802.11a/n/ac : 5GHz (W52(CH36～CH48)、W53 (CH52～CH64):屋内使用限定)
接続モード	インフラストラクチャー Wi-Fi Direct (シンプル AP) (IEEE802.11b は非対応)
無線セキュリティ	WEP (64bit/128bit) WPA-PSK (TKIP) WPA2-PSK (AES)*4 WPA3-SAE WPA2-Enterprise (AES) (EAP-TLS/ PEAPTLS/PEAPMSCHAPv2/EAP-TTLS) WPA3-Enterprise
ネットワーク印刷プロトコル/機能*5	EpsonNet Print (Windows) Standard TCP/IP (Windows) WSD 印刷 (Windows) Bonjour (Mac OS) IPP 印刷 (Windows) IPP 印刷 (Mac OS) IPPS 印刷 (Windows) IPPS 印刷 (Mac OS) FTP 印刷

本体仕様	
セキュリティー規格/プロトコル	SSL/TLS (HTTPS サーバー/ クライアント機能、IPPS) IEEE802.1X IPsec/IP フィルタリング SMTPS (STARTTLS、SSL/TLS) SNMPv3
定格電圧	AC100 V
定格周波数	50 / 60Hz
定格電流	6.4 A
消費電力	
印刷時	約 170 W
レディー時	約 80 W
スリープモード時	約 3.0 W
電源オフ時	約 0.18 W
温度	推奨: 20 ~ 25°C 動作時: 15 ~ 30°C 保管時 (開梱前): -20 °C ~ 60 °C (60°Cの場合 120 時間以内、40 °C の場合 1 カ月以内) 保管時 (開梱後): -20°C ~ 40°C (40°C の場合 1 カ月以内)
湿度 (結露しないこと)	推奨: 40~60% 動作時: 20~80% 保管時: 5~85%
動作温度・湿度範囲 グレー部:動作時 斜線部:推奨	
(%)	85 80 70 60 50 40 30 20
	10 15 20 25 30 35 (°C)
外形サイズ	収納時: 幅 699×奥行き 699×高さ 426 mm 最大時(プリンターカバーを開けた状態): 幅 699×奥行き 699×高さ 942 mm

本体仕様	
質量 (インクパック、エアフィルター、ワイパーユニット含まず)	約 59 kg

- *1 シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。
- *2 印刷時は 1000BASE-T での接続を推奨
- *3 印刷時は IEEE802.11n/ac での接続を推奨
- *4 WPA2 規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal 規格に対応
- *5 EpsonNet Print は、IPv4 のみ対応。他は IPv4 と IPv6 の両方に対応

！重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

インクパック仕様	
形態	専用インクパック
インク種類	UV 硬化インク
有効期限	個装箱、インクパックに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	1 年（プリンター装着後）
温度	動作時：15 ~ 30°C 梱包保管および本機装着時：-20 ~ 40°C (-20°C の場合 4 日以内、40°C の場合 1 力月以内) 梱包輸送時：-20 ~ 60°C (-20°C の場合 4 日以内、40°C の場合 1 力月以内、60°C の場合 72 時間以内)
外形寸法（約）	幅 81 × 長さ 261 × 高さ 25 mm
容量	140 ml

！重要

インクを詰め替えないでください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[☞ 「お問い合わせ先」 114 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 7 年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

[☞ 「お問い合わせ先」 114 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類	概要	修理代金と支払方法	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	<p>出張修理</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができます。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理	<p>お客様からご連絡いただいたて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</p>	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後その都度お支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理など是有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことがあります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と一緒に購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年等）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピード対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単：ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファックスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかげいただきか、各〇印の電話番号に
おかげくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの
おすすめ最新情報を届けたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク2) 2024.10

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付隨的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかつたとしても、そのことから生じた付隨的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただきた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があつても不可）

- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

無線に関するご注意

本製品は、2.4GHz帯の「2.400GHz～2.497GHz」まで使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

- DS-SS/OFDM変調方式採用
- 与干渉距離 40m

2.4 DS/OF 4

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、エプソンソリューションコールセンターまでお問い合わせください。

インターネット回線への接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

* 製品の仕様により、搭載されないネットワークインターフェイスがある場合があります。